

日立過熱水蒸気オーブンレンジ 家庭用

HITACHI
Inspire the Next



ホワイト (W)



レッド (R)

ヘルシーシェフ

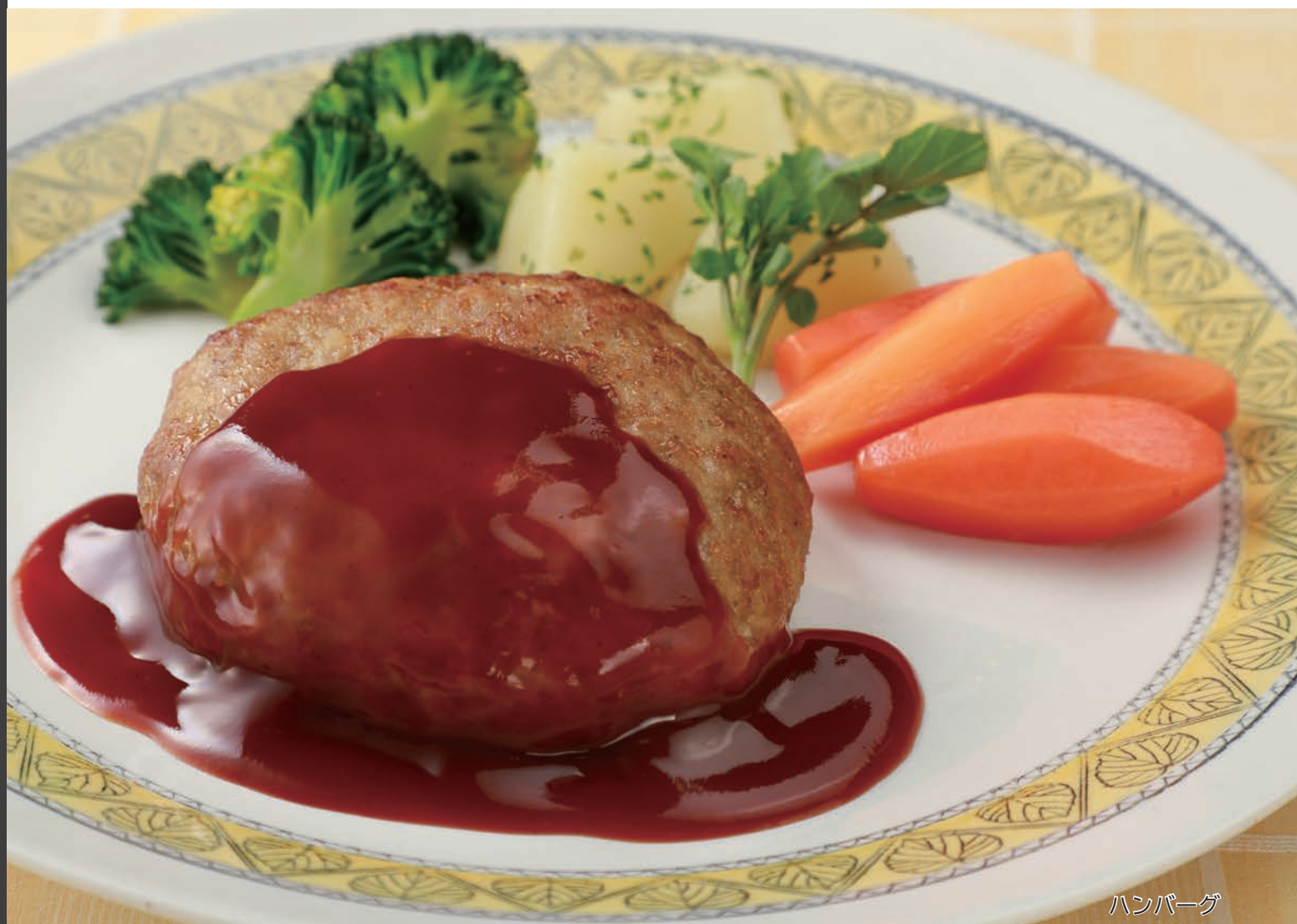
日立過熱水蒸気オーブンレンジ

エム アール オー エス エックス
型式 **MRO-S8X**

取扱説明書

レシピ集

保証書別添付



ハンバーグ

このたびは日立過熱水蒸気オーブンレンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」(→P.7~12)をお読みいただき、正しくお使いください。



「レシピ集」
詳しくは(→P.123)



日立の家電品
お客様サポート

詳しくは(→P.123)

もくじ

確認と準備 ご使用前に必ずお読みください

初めに行ってほしいこと/付属品/操作パネル	4
各部のなまえ	6
安全上のご注意	7
使うときの確認と準備	13
● 据え付けの確認	13
● アース線を取り付ける	13
● 電源を入れる	14
● 終了音(報知音)を変更する	14
● 空焼き(脱臭)をする	15
● 上手に使いこなすコツ	16
加熱前に確認する	16
メニューを選んで調理する	17
調理終了後のコツ	18
お手入れのコツ	18
0点調節をする	18
使える容器・使えない容器	19

使いかた

付属品の使いかた	20
● 付属品イラストの見かた	20
● 手動調理で使う付属品	20
● テーブルプレートの使いかた	21
● 黒皿の使いかた	21
● 給水タンクの使いかた/ つゆ受けカバーの使いかた	22
あたためるワンポイント	24

※本書に掲載の写真やイラストはイメージです。
実物とは異なることがあります。

オートメニュー

オートメニューの選びかた	25
あたためる	26
● お総菜のあたため	26
1 おかずあたため	
● ごはんのあたため	26
2 ごはんあたため	
● 常温や冷蔵で保存した食品の異なる2品の 同時あたため	28
1 おかずあたため	
● 冷凍や冷蔵で保存した食品の異なる2品 (冷凍ごはん・お総菜など)の同時あたため	29
6 冷凍(左)と冷蔵(右)	
● 冷凍保存したごはん・お総菜のあたため	30
3 冷凍ごはん	
5 解凍あたため	
● 飲み物のあたため	32
4 飲み物・牛乳	
● スチームでふっくらあたため	34
7 スチームあたため	
8 中華まんのあたため	
9 揚げ物のあたため	
下ごしらえする	36
● 肉や魚の解凍	36
10 ひき肉	
↓	
16 刺身	
● 野菜の下ゆで	39
17 下ゆで葉・果菜	
18 下ゆで根菜	
調理する	41
● 予熱をしないメニュー	41
● 予熱をするメニュー	42

食品別にあたためメニューを選ぶ

分量が100g未満の場合、市販のおにぎりや

お総菜

お総菜をあたためる

→ 1 おかずあたため (→P.26、27)



常温・冷蔵保存したお総菜を
ふっくらあたためる

→ 7 スチームあたため (→P.34、35)

冷凍保存したお総菜をあたためる

→ 5 解凍あたため (→P.30、31)

飲み物

牛乳・お茶・コーヒー・水をあたためる

→ 4 飲み物・牛乳 (→P.32、33)



ごはん

(常温・冷蔵・
冷凍保存)

ごはんをあたためる

→ 2 ごはんあたため (→P.26、27)



常温・冷蔵保存したごはんを
ふっくらあたためる

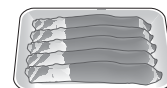
→ 7 スチームあたため (→P.34、35)

冷凍保存したごはんをあたためる

→ 3 冷凍ごはん (→P.30、31)

解凍

肉・魚の解凍



10 ひき肉 (→P.36~38)

→

16 刺身 (→P.36~38)

手動調理

レンジ加熱する	43
● 簡単レンジ(600W、500W)	43
コンビ二弁当のあたためなど	
● 800W～100Wのレンジ加熱	44
加熱時間の決めかた	45
はじけや飛び散りなどを防ぐ加熱のしかた	46
手動調理で設定できる単位時間	46
● リレー加熱(加熱途中で強い加熱から弱い加熱に下げる)	47
グリル加熱する	48
オーブン加熱する	49
● 予熱有	49
● 予熱無	50
スチームを組み合わせる	51
発酵する	52
● スチームオーブン発酵	52
● スチームレンジ発酵	53
途中でスチームを入れる (スチームショット)	54
追加加熱する(オートメニュー・手動調理)	54
手動調理の加熱時間の目安	55
● レンジ調理	55
● スチームレンジ調理	56
● オーブン・グリル調理	56

お手入れ

お手入れする(水滴や汚れをとる)	57
● 本体	57
● 清掃(加熱室の汚れをとる)	58
● 水抜き(本体に残った水を抜く)	58
● 脱臭(加熱室の臭いをとる)	58

うまく仕上がらない・お困りのときは

うまく仕上がらないとき	59
お困りのとき	62
お知らせ表示が出たとき	65
「日立の家電品お客様サポート」の利用	123
保証とアフターサービス	124
ご相談窓口	125

レシピ集

加熱のしくみ	66
レシピ集もくじ	67
さくいん(50音)	122
ホームページからレシピ集を見る	123

調理済み食品、まんじゅう、パン類、冷凍野菜などは、必ず手動調理(レンジ加熱)で調理をしてください。

中華まん

中華まんをあたためる

→ 8 中華まんのあたため (→P.34, 35)



天ぷら・フライ

天ぷら・フライの衣をサクッとあたためる

→ 9 揚げ物のあたため (→P.34, 35)



2品

(ごはんやお総菜)

常温・冷蔵保存した食品を2品同時にあたためる

→ 1 おかずあたため (→P.28)



冷凍保存した食品と冷蔵保存した食品を2品同時にあたためる

→ 6 冷凍(左)と冷蔵(右) (→P.29)

下ゆで



野菜の下ゆで

→ 17 下ゆで葉・果菜 (→P.39, 40)

→ 18 下ゆで根菜 (→P.39, 40)

初めに行ってほしいこと/付属品/操作パネル

1 付属品の確認

下記を参照し、付属品が全て揃っているか確認をしてください。

付属品

付属品の使いかた(→P.20~23)

● テーブルプレート

加熱室底面にセットして使います。
皿受棚にはセットしないでください。一部の手動調理では取り外します。(セラミック製)



● 黒皿

皿受棚にセットして使います。
表面はホーロー加工が施されています。熱による変形を防ぐため、中央が膨らんだ形状をしています。(金属製)



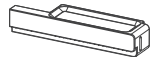
● 給水タンク

スチーム機能などを使う時に水を入れてセットします。
工場出荷時は本体にセットされています。



● つゆ受けカバー

工場出荷時は本体にセットされています。取り外してお手入れすることができます。



操作パネル

手動調理ボタン

手動調理で調理するときに加熱の種類に合わせて選びます。

一部の手動調理の調理中に[スチーム]を押してスチームを追加します。

(スチームショット)(→P.54)

[レンジ]を使用する調理では使用できません。

簡単レンジボタン

よく使う手動調理のレンジ加熱[600W][500W]が簡単に使えます。

液晶表示部

設定内容や運転状況を表示します。

(図の表示は全点灯イメージ図です)

■ あたためいろいろ	5 解凍あたため	■ 解凍/下ゆで	14 厚切り肉	■ ノンフライ	23 えびフライ	■ 過熱水蒸気	41 塩ざけ	■ おかず	50 茶わん蒸し
1 おかずあたため	6 冷凍(左)と冷蔵(右)	10 ひき肉	15 しゃぶしゃぶ用肉	19 鶏のから揚げ	24 あじフライ	37 ハンバーグ	42 塩さば	46 豚のしょうが焼き	51 あさりの酒蒸し
2 ごはんあたため	7 スチームあたため	11 薄切り肉	16 刺身	20 とんカツ	25 えびの天ぷら	38 ローストビーフ	43 ぶりの照り焼き	47 マカロニグラタン	52 肉じゃが
3 冷凍ごはん	8 中華まんのあたため	12 角切り肉	17 下ゆで葉・果菜	21 手羽先のから揚げ	26 チキン南蛮	39 鶏のハーブ焼き	44 あじの開き	48 焼きそば	53 筑前煮
4 飲み物・牛乳	9 揚げ物のあたため	13 ブロック肉	18 下ゆで根菜	22 ポテトコロッケ	27 さつま揚げ	40 鶏の照り焼き	45 焼きいも	49 チンジャオロウスー	54 ぶり大根



追加加熱ボタン

追加加熱を行います。
(→P.54)

時間設定ボタン

手動調理の時間を設定します。

仕上がりボタン

1 おかずあたため、オートメニューの仕上がり(→P.17)調節を行います。

オートメニューボタン

オートメニューの種類を選びます。

2 「安全上のご注意」を読む (→P.7~12)

お客様の安全と、長く使って頂くために必ずお読みください。

3 設置と電源の入れかたの確認 (→ P.13、14)

据え付けの確認・アース線の取り付け・電源の入れかたについて記載しています。

4 空焼き(脱臭)をする (→ P.15)

加熱室壁面に付着している油を焼き切るために必要な作業です。

5 「使える容器・使えない容器」を確認する (→ P.19)

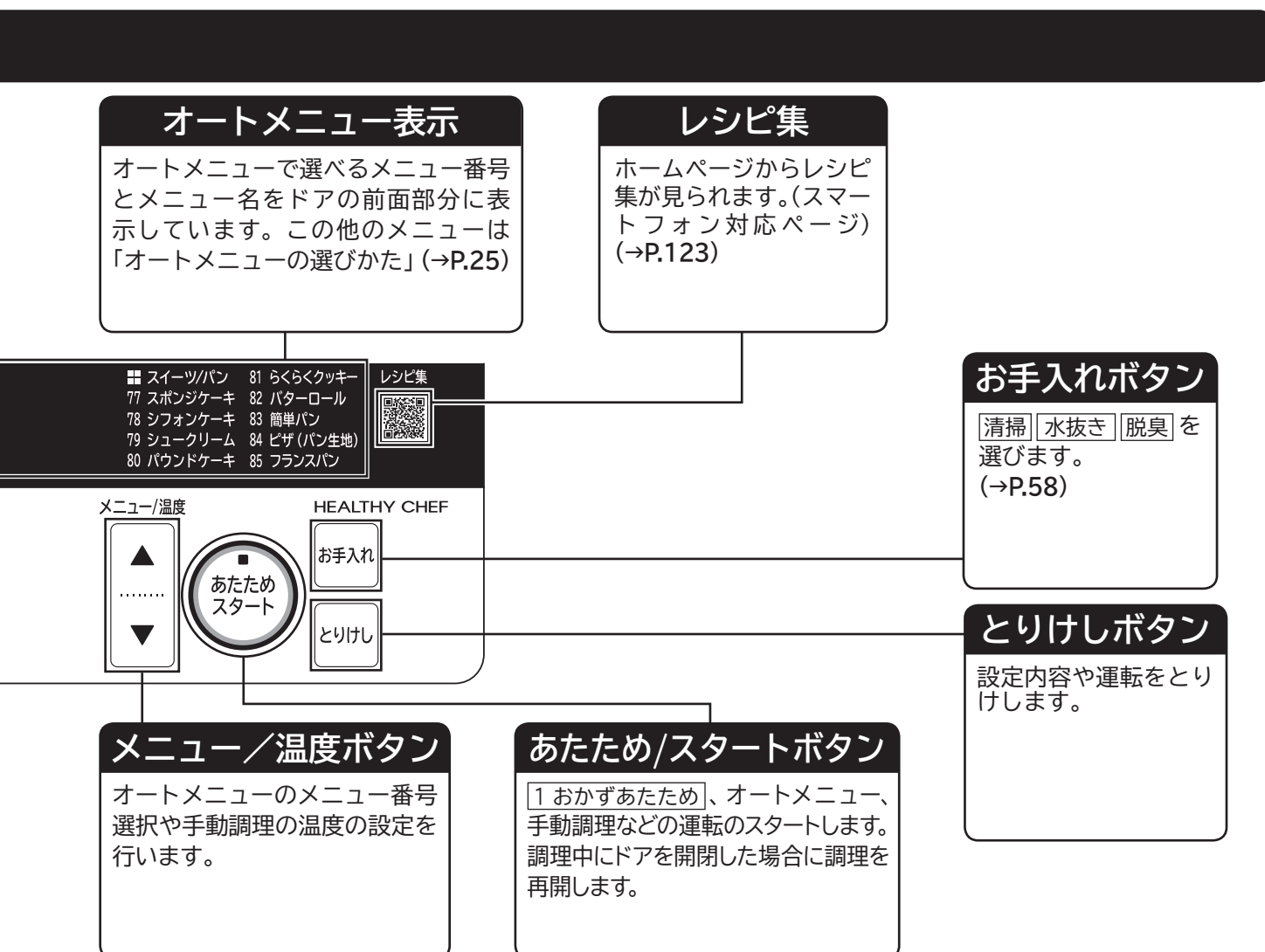
各加熱方法で使える容器と使えない容器が異なります。

加熱の前に使用可能かどうか、確認をしてからご使用ください。

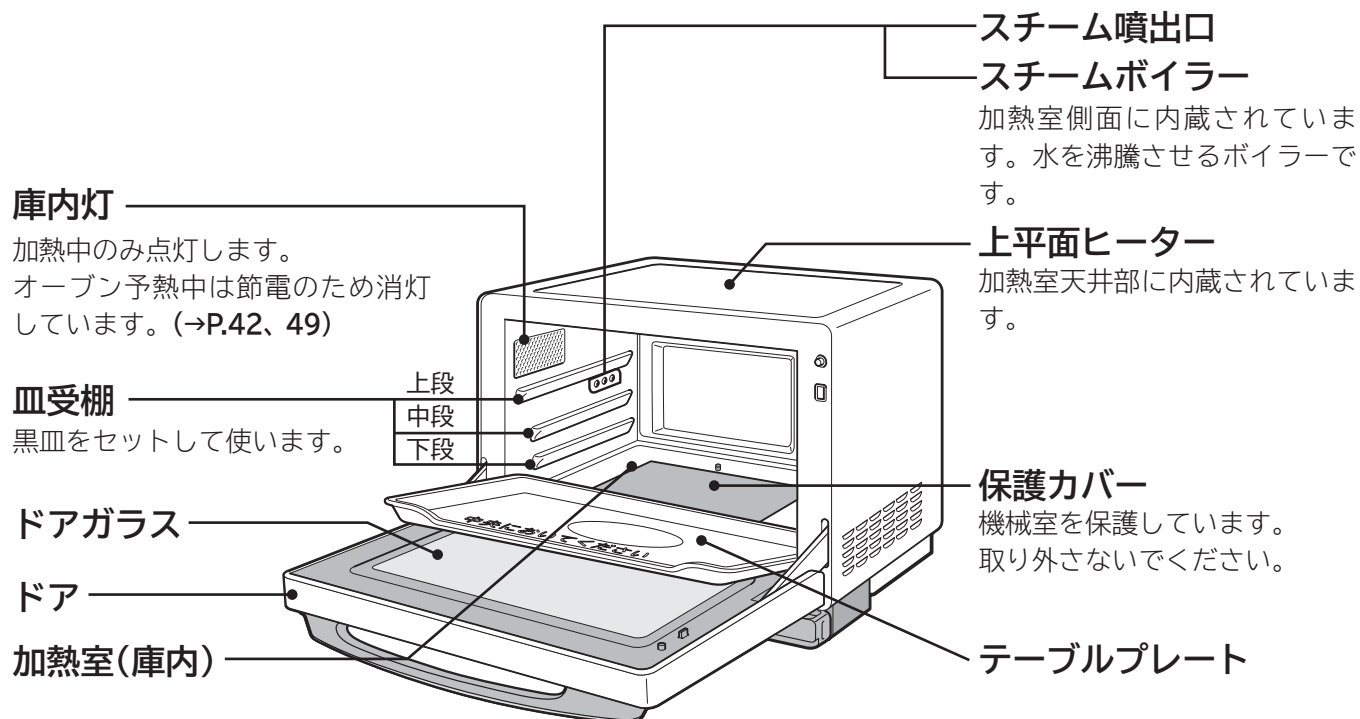
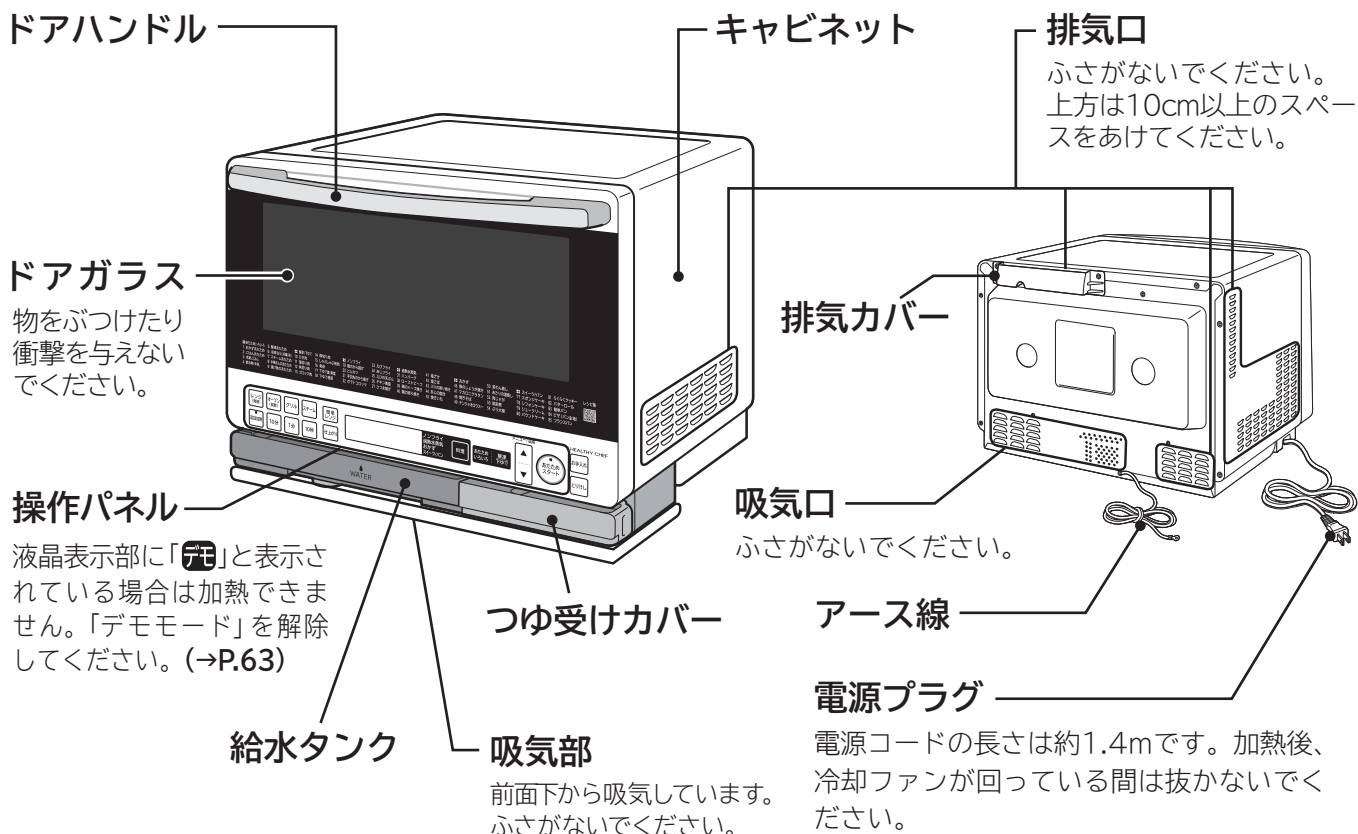
6 実際に使ってみましょう (→ P.26)

準備が完了したら、まずは使ってみましょう。

オートメニューの **1 おかずあたため** でお総菜をあたためてみましょう。



各部のなまえ



重量センサー
加熱室の下に重量センサーが内蔵されています。
加熱室に入れた食品の重さを量って加熱を制御します。


下平面ヒーター
本体下部に内蔵されています。


安全上のご注意


この製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

人身への危害、財産への損害を未然に防ぐため、お守りいただくことを、次のように区分して、説明しています。本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。


- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 **危険** 「死亡または重傷を負うおそれが高い」内容です。



 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

 **注意** 「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある」内容です。

- お守りいただく内容を図記号で区分して、説明しています。

 「警告や注意を促す」内容です。

  してはいけない「禁止」内容です。

  実行しなければならない「指示」内容です。

製品内部には高圧部があります

火災・感電・けがのおそれ

故障したり、異物が本体に入ったりした場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください

危険



分解禁止

- 改造はしない
- 修理技術者（サービスマン）以外の人は修理・分解をしない



禁止

吸気口・排気口・給水タンク収納部など、製品の穴やすき間に指や物を差し込まない
特に子供のいたずらなどに注意する

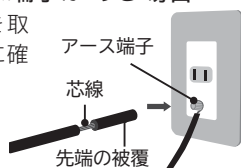
アース線は

警告



アース線を接続せよ

アース線を確実に取り付ける
コンセントにアース端子がある場合
アース線先端の被覆を取り、芯線をアース端子に確実に取り付けて下さい



コンセントにアース端子がない場合

接地工事（電気工事有資格者によるD種接地工事）を行ってください
（本体価格には、工事費は含まれていません）
ガス管、水道管、電話や避雷針のアースには取付けしないでください（法令で禁止されています）

D種接地工事が必要なときやアース線の長さが足りないときは、お買い上げの販売店にご相談ください

次の場合は接地工事（電気工事有資格者によるD種接地工事）を行うように法律で義務付けられています

- 湿気の多い場所
水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒やしょうゆなどを醸造・貯蔵する場所
- 水気のある場所（漏電遮断機の取付けも義務付けられています）
水を取り扱う土間、洗い場など水気が多い場所、地下室などの水滴が漏出したり結露する場所

異常・故障時は

警告



指示

直ちに  を押し使用を中止する

火災・感電・けがの原因になります

すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください

安全上のご注意(つづき)

電源プラグ・電源コード・コンセントの発火や漏電をふせぐために
感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ

警告

コンセントは



禁止

- 電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する
- 傷ついたり、ゆるんだりしたコンセントを使用しない
- タコ足配線はしない



電源プラグ、
電源コードは



禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 電源プラグ、電源コードに水をつけたり、水をかけたりしない
- 電源プラグを水につけた場合は使用しない
- 電源プラグ、電源コードを傷つけない
 - ・加工しない・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない
 - ・加重をかけない、重い物をのせない、挟み込まない



指示

- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
- 電源プラグのほこりは確実にふき取る(特に刃や刃の取り付け面)



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

注意

電源プラグ、
電源コードは



禁止

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない
- 電源コードは排気口などの排気口高温部に近づけない

据え付けによる事故・感電・火災をふせぐために

感電・けが・壁の変色・電気部品の損傷・本体の落下のおそれ

警告



禁止

次のような場所には設置しない

- ・幼児の手の届く場所
- ・カーテンやスプレー缶など、燃えやすい物の近く
- ・たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなど、熱に弱い物の上



指示

製品や付属品の梱包材はすべて取り除き、
ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管、
または廃棄する

注意



禁止

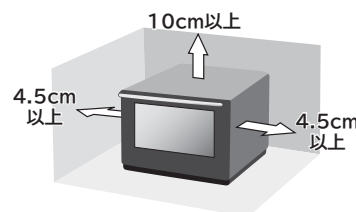
- 流しやコンロなど、水のかかるところや火気・熱気の近くで使用しない
- 熱に弱い壁材や家具の近く、コンセントが排気口の近くになる場所に据え付けない



指示

- 水平で丈夫な場所に据え付ける
- 本体と壁の距離は下表以上の距離を確保する
 - ・この電子レンジは、「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しています
 - 「消防法 設置基準」組込型

場所	上方	下方	左方	右方	前方	後方
隔離距離 (cm)	10	0	4.5	4.5	開放	0



・後方にガラスがある場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm以上あけてください

ご使用の際の事故・感電・火災をふせぐために

やけど・感電・火災・けが・電波洩れ・電気部品の損傷・本体の落下のおそれ

警告



禁止

- 子供だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- ドアやドアハンドルにぶら下からない



指示

食品分量・容器・使用付属品など、本書記載の内容に従って調理する



禁止

- 調理の目的以外には使用しない
- 本体の上に物を置かない

オーブン加熱やグリル加熱などは、本体が高温となるため、スプレー缶などの物が過熱して事故・やけど・変形の原因になります
付属品(黒皿など)も過熱して変形、焦げの原因になるため置かないでください

注意



禁止

- 吸気口・排気口をふさがない
- 加熱室壁面やテーブルプレートなどに食品くずや油分が残ったまま調理しない
- ドアに物を挟んだまま調理しない
- ドアガラスに物をぶつかけたり、衝撃を加えたり、傷を付けたりしない

小さな傷でも、ガラスが割れることがあります。
また、傷が付いてもすぐに割れず、その後のご使用中またはご使用後(放置時)の熱膨張・熱収縮により割れることがあります

- ドアに無理な力や衝撃を加えたり、本体にのったりしない
- テーブルプレートは、容器を強く当てたり落としたりしない

割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください



禁止

- 本体に水をかけない
- 本体が転倒・落下した場合は、そのまま使用しない

誤って水をこぼした場合は、お買い上げの販売店にご相談ください
お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。
転倒・落下を防ぐ「転倒防止金具セット」(別売品)をご利用ください(→P.13)
詳細は本書記載の「ご相談窓口」にお問い合わせください(→P.125)



指示

- 落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く
- 空焼き(脱臭)は次の状態で行う(→P.15)

油の烧ける臭いや煙が出る場合があります

・加熱室内に何も入れない

・煙や臭いなどに敏感な小鳥などの

小動物は、別の部屋に移す

・窓を開けるか換気扇を回す

調理中や調理後の事故・感電・火災をふせぐために

やけど・感電・火災・けが・電波洩れ・電気部品の損傷・本体の落下のおそれ

警告



禁止

- 加熱室内で食品が燃え出したときはドアを開けない

勢いよく燃えるおそれがあります

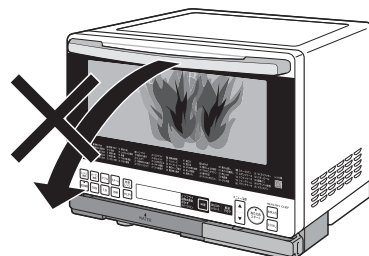
1. すぐに「トリプル」を押して運転を止め、電源プラグを抜く

2. 本体から燃えやすい物を遠ざけ、鎮火するまで待ち、火がなかなか衰えないときは水か消火器で消す
鎮火後、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください



指示

- 調理やお手入れを中止するときは電源プラグを抜かず「トリプル」を押す



安全上のご注意(つづき)

調理中や調理後の事故・感電・火災をふせぐために(つづき)

やけど・感電・火災・けが・電波洩れ・電気部品の損傷・本体の落下のおそれ

⚠ 注意



禁止

- 食品を入れた容器にふたをしたまま加熱しない
- 高温になっているので、キャビネット・排気口・ドア・加熱室・テーブルプレート・黒皿などに直接触れない
- ドアを開けるときのほぞき込まない
- 高温のドアガラスやテーブルプレートなどに水をかけない
- 冷却ファンが作動しているときは電源プラグを抜かない
- 小鳥などの小動物を近づけない



指示

食品や容器、付属品などの出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使用する



指のケガに注意

ドアを開閉するときは、指の挟み込みに注意する

給水タンクは



禁止

- 水以外は入れない
- 破損したまま使わない
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機などで洗ったり、乾燥させたりしない
- コンロのそばや本体の上など高温になる場所に置かない
- 熱湯につけたり、熱湯消毒などはしない



指示

- 新しい水を入れる
 - こまめに洗い、清潔を保つ
- 衛生上の問題発生の原因になります

お手入れの際の事故・感電・火災をふせぐために

やけど・感電・けが・電気部品の損傷・破損のおそれ

⚠ 警告



電源プラグを抜く

電源プラグを抜いてから行う



指示

本体各部や付属品などが冷めてから行う

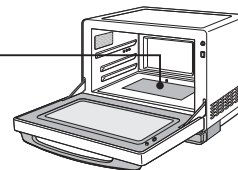


禁止

- 本体や付属品などは金属たわしや鋭利な物でこすらない
- 加熱室底面の保護カバーは取り外さない

保護カバーは機械室内部の回転機構部を保護するためのカバーです

保護カバー
(取り外さない)



オートメニューのあたためや手動調理のレンジ加熱の事故・感電・火災をふせぐために

やけど・けが・火災・発煙・発火・ドアガラスの破損のおそれ

警告



禁止

● 食品以外は加熱しない

市販のレンジ加熱用の湯たんぽ、哺乳びん(消毒パック)、玩具などは加熱しないでください



湯たんぽ

● 少量の食品(100g未満)を加熱する場合や手動調理で加熱を追加するとき はそばを離れない

● 食品を加熱し過ぎない

- ・ 少量の食品(100g未満)は手動調理
レンジ500W以下で、加熱時間を20～50秒に設定し、様子を見ながら加熱する
- ・ オートメニューは、食品分量・容器など本書記載の内容に従って加熱する容器の重さは、食品分量と同じくらいの物を使用して加熱します
- ・ 手動調理(レンジ加熱)は、設定する時間を控えめにし、食品の仕上がり具合を見ながら加熱する



禁止

次のような状態で加熱しない

- ・ 鮮度保持剤(脱酸素剤など)を入れた状態
- ・ 包装や食品にラベルやテープを貼った状態
- ・ びんや容器にふたや栓などをした状態
- ・ キッチンペーパーなどの紙類で包んで加熱しない
- ・ 缶詰の缶のままの状態
- ・ 市販のレトルト食品の袋のままの状態
鮮度保持剤は出し、ラベル・テープは剥がし、ふたや栓は外し、缶詰などは別の容器に移しかえて加熱してください

● 生卵やゆで卵(殻つき・殻なしとも)、 目玉焼きは加熱しない



生卵



ゆで卵



黄身や目玉焼き



指示

卵は溶きほぐしてから加熱する



指示

殻や皮(膜)のある食品は、割り目や切り目を入れてから加熱する

例：イカや栗、ぎんなんなど



注意



禁止

● 加熱室に食品を入れない状態で加熱しない

● 金属製の次の物は使用しない

- ・ 付属品の黒皿(オートメニューの一部は除く)



- ・ 金ぐしや金属の調理用具
- ・ アルミホイル
- ・ 金属・ホーローの鍋、ふた
- ・ アルミなどで表面加工されたプラスチック容器



指示

● 乳幼児用ミルク、ベビーフードや介護食をあたためるときは、手動調理(レンジ加熱)で加熱後、かき混ぜてから、温度を確認する

● 市販のベビーフードは、別の容器に移しかえて加熱する

● ラップなどのおおいは、加熱後ゆっくりと剥がす

安全上のご注意(つづき)

飲み物などをあたためる際の突然の沸騰(突沸)をふせぐために
やけど・けが・テーブルプレート破損のおそれ

警告



禁止

- 飲み物などを加熱し過ぎない
 - ・ 飲み物(水・牛乳・お酒・コーヒー・豆乳など)
 - ・ とろみのある物(カレー・シチューなど)
 - ・ 油脂分の多い物(生クリーム・バターなど)
 加熱し過ぎた場合は、1 ～ 2分程度加熱室内で冷ましてから取り出してください

- **1 おかずあたため** で飲み物や汁物などを加熱しない

- ・ 牛乳、お茶、コーヒー、水は **4 飲み物・牛乳** で加熱する
- ・ お酒は手動調理(レンジ加熱)で加熱する
- ・ みそ汁・スープなどは手動調理(レンジ加熱)で加熱する

加熱後に追加で加熱するときは、手動調理 **レンジ 500W** 以下で様子を見ながら加熱してください



禁止

- 加熱直後は上からのぞき込まない
- 容器の半分以下(少量)のときはオートメニューで加熱しない
- 加熱直後はインスタントコーヒーなどの粉末やミルクなどの液体を入れない



指示

- 飲み物をあたためるときは、背の低い広口の容器を使用する
- 加熱前によくかき混ぜる
- 加熱室から取り出すときは、静かに取り出す



加熱前

使うときの確認と準備

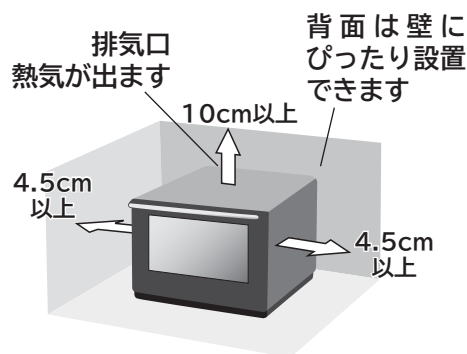
初めて使うときは以下の手順(→P.13~18)に従って、確実に確認と準備をしてください。

据え付けの確認

安全上のご注意(→P. 7、8)をよく読んで据え付けてください

- 水平で丈夫な場所に据え付けてください
- 調理中や調理後は本体上面・周囲が高温となる場合がありますので、下図の距離以内に物を置かないでください
- 設置の際は右図に従って設置してください
また次のことを確認してください
 - 背面はぴったりと設置できますが、壁の材質によっては接触跡がついたり結露することがあります
壁面と本体の間を少しあけ、壁面側にアルミホイルを貼り、保護してください
 - 後方にガラスがある場合、温度差で割れる恐れがあるので20cm以上あけてください
- 熱に弱い物やカーテンのそばに据え付けしないでください
- 本体の下に、炊飯器や電気ポットなどの水蒸気が出る物を設置しないでください
- 吸気口、排気口をふさぐ設置はしないでください
- 本体を、ラジオ、テレビ、無線機器(無線LAN)やアンテナ線などから3m以上離してください

雑音や映像の乱れ、通信状態が悪くなるなどの原因になります。



転倒防止金具セット(別売品)

転倒防止金具セットを別売品として扱っています。
お買い上げの販売店にご相談ください。

2019年7月現在

背面と壁の距離	部品番号	希望小売価格
壁ぴったり設置	MRO-JV300 012	1,000 円(税別)
15 ~ 22cm	MRO-N80 016	1,000 円(税別)

お願い

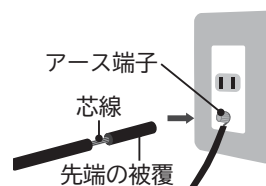
医療用ペースメーカーをお使いの方は、この製品をご使用の際には、専門家とよく相談の上お使いください。

アース線を取り付ける

アース線先端の被覆を取り、芯線をコンセントのアース端子に確実に取り付ける

コンセントにアース端子がない場合、湿気の多い場所や水気のある場所で使用する場合はD種接地工事をする。(→P.7)

D種接地工事が必要なときやアース線の長さが足りないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



使うときの確認と準備(つづき)

電源を入れる

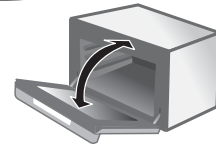
1

電源プラグをコンセントに差し込む

使用していないときの消費電力を節約するため、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。

ドア開閉

電源「入」




2


ドアを開閉する

電源が「入」になり、液晶表示部に「」を表示します。

- ドアが開いた状態は電源が「入」になっています。

液晶表示部に「」と表示されている場合は(→P.63)

待機時消費電力オフ機能

- ドアを閉めて液晶表示部に「」を表示したまま放置すると、約10分後に自動的に電源が切れます。
- 待機時消費電力オフ機能で電源が切れた場合は、再度ドアを開閉すると電源が「入」になります。

終了音(報知音)を変更する

スタート音、終了音などの報知音をメロディー音から電子音にかえたり、無音にできます。


準備

ドアを開閉する

液晶表示部に「」を表示させます。

1

を3秒以上押す

- 終了音(報知音)は、 を押すたびに「メロディー音」「電子音」「無音」の順に切りかえられます。
→メロディー音(メロディーが鳴る)▶電子音(「ピピピピッ」と3回鳴る)▶無音(「ピッ」と鳴る)→

「無音」にしたときは、取り出し忘れ防止音、操作音も「無音」になります。

- 冷却中に終了音の変更はできません。「冷却中」の表示が消えてから操作します。

空焼き(脱臭)をする

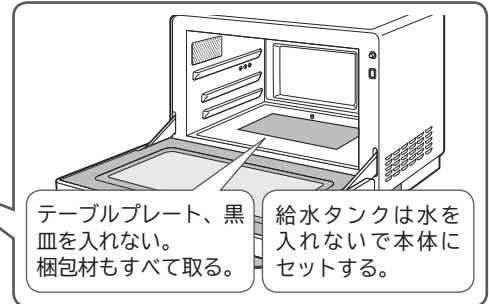
脱臭

加熱室壁面に付着している油を焼き切るために空焼き(脱臭)を次の手順で行って下さい。

空焼き(脱臭)中は臭いや煙が出ますが、故障ではありません。

準備

- テーブルプレートを取り外し、加熱室を空の状態にしてドアを閉める
- 給水タンクは水を入れないで本体にセットする



1

お手入れ を3回押して 脱臭 を選ぶ

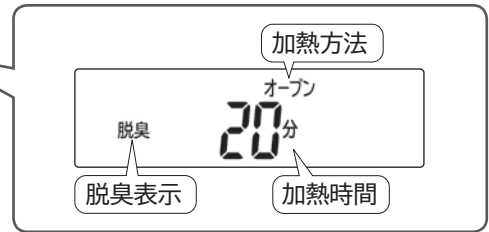
2

あたため スタート を押してスタートする

空焼き(脱臭)はヒーター(グリル・オーブン加熱)で行います。加熱時間は約20分です。

終了音が鳴ったら終了です。本体が熱くなっています。ご注意ください。

空焼き(脱臭)終了後、冷却ファンが最大約10分間回転し、冷却終了後自動で停止します。



注意



接触禁止

空焼き(脱臭)の加熱中や終了後しばらくは、本体(ドア、キャビネット、加熱室とその周辺)に触れない
やけど・けが・火災の原因になります



指示

空焼き(脱臭)を行うときは、油の焼ける臭いや煙が出る場合があるので、窓を開けるか、換気扇を回す



禁止

空焼き(脱臭)を行うときは、加熱室に何も入れない



指示

煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す

使うときの確認と準備(つづき)

上手に使いこなすコツ

加熱前に確認する

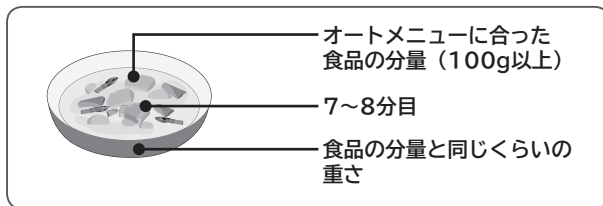
あたためメニューは食品と容器の重さをそろえる

■食品の分量

- 食品の分量は100g以上にします。オートメニューによって1回に加熱できる分量は異なります。
- 「使いかた」に記載の各オートメニューのコツやレシピ集に記載の分量を確認してください。

■容器の重さと大きさ

食品の分量と同じくらいの重さで、食品を入れたときに容器の7～8分目になる大きさの物を使います。



■2個以上の食品を同時にあたためるときは食品の分量や容器の大きさ・重さをそろえます。

食品は中央に置く

テーブルプレート、黒皿の端や隅に置くとうまく仕上がりにません。



レンジ加熱の場合



オーブン・グリル加熱の場合



お総菜は少し離して中央に寄せる



飲み物は中央に寄せる

食品に合わせてラップをする

はじけや飛び散る恐れがある食品はラップをします。(→P.27)

- 皮や殻つきの物は殻を割り、表面に切り目を入れるとはじけや飛び散りを防ぎます。(→P.46)
- とろみのあるものは加熱前によくかき混ぜてラップをします。

解凍時は皿などの容器にのせない

冷凍ごはんの解凍あたため、肉や魚の解凍はより良い仕上がりにするため、食品の分量だけを量っています。

容器にのせて加熱すると、重量センサーが食品の分量を正しく量れず、加熱し過ぎの原因になります。

- 冷凍ごはんの解凍あたためはテーブルプレートの中央に直接置きます。
- 肉や魚の解凍は発泡スチロール製のトレーにのせるか、オーブンシートやキッチンペーパーを敷き、その上にのせます。

お願い

100g未満の食品をあたためるときは手動調理「レンジ」500W (→P.43～46) で加熱時間を20～50秒に設定し、様子を見ながら加熱します。

市販の冷凍食品をあたためるときは手動調理であたためます。

加熱時間は冷凍食品メーカーが表示している「レンジ」600W または「レンジ」500W の時間を目安にして、若干多めに加熱します。「あたためのワンポイント」(→P.24)

次のページは「調理終了後のお手入れのコツ」

メニューを選んで調理する

食品の種類でオートや手動を使い分ける

	オート/手動	使いかた
あたためる	オート ワンタッチ (「1 おかずあたため」)でお総菜をあたためる	(→P.26~28)
	「食品別にあたためメニューを選ぶ」(→P.2、3)に記載の食品をあたためる	(→P.26~40)
	「食品別にあたためメニューを選ぶ」(→P.2、3)に記載の食品(解凍メニューを除く)をあたためる	あたためる (→P.25~35) 野菜の下ゆで (→P.39、40)
	「肉や魚の解凍」(→P.37)に記載の食品を解凍する。	(→P.36~38)
	手動 レンジ(発酵) 簡単レンジ	レンジの出力や加熱時間を選択してあたためる (→P.43~47)
調理する	オート あたためスタート 料理 あたためいろいろ 解凍下ゆで	レシピ集(→P.67~123)に記載のレシピを調理する (→P.41、42)
	手動 レンジ(発酵) オープン(発酵) グリル スチーム	市販の料理ブックのレシピを調理する (→P.43~54)

メニューに合った付属品を使う

使用する付属品は、各調理メニューのイラストで確認します。

使用付属品	
	黒皿 中段 テーブルプレート
	給水タンク 満水

「付属品イラストの見かた」(→P.20)

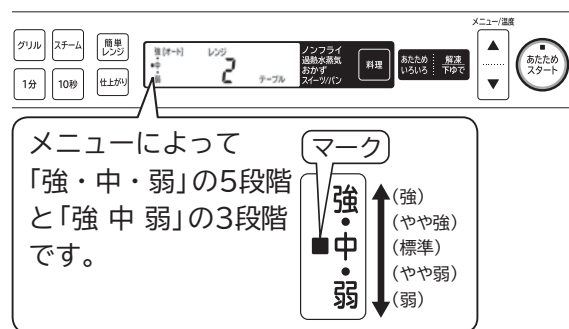
「手動調理で使う付属品」(→P.20)

「付属品の使いかた」(→P.20~23)

オートメニューの仕上がりをお好みに近づける(仕上がり調節)

- 仕上がりが、加熱し過ぎる、加熱が足りないと感じたときは調節できます。
- オートメニューをスタートする前に、仕上がり調節を設定します。

例：「2 ごはんあたため」(→P.26、27)の場合



1 仕上がりを押してマークをお好みの位置に合わせる

- 仕上がりは「中」(標準)に自動設定されています。
- 仕上がり調節中に「仕上がり」を3秒以上押すと「ピー」と鳴り、調節を記憶できます。
メニュー毎に記憶でき、次回から記憶した仕上がりで自動設定されます。

- ワンタッチで「1 おかずあたため」(→P.26~28)をスタートしたときは「あたためスタート」を押した後に仕上がり調節を設定します。

調理中のドア開閉は短時間にする

- すぐに「あたためスタート」を押して加熱を再開する。

ドアを開けると加熱を中断します。
中断の時間が長いと加熱室の温度が下がって上手く仕上がりにません。

使うときの確認と準備(つづき)

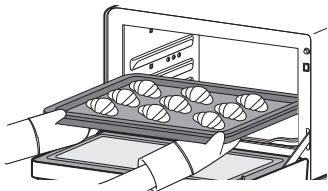
上手に使いこなすコツ(つづき)

調理終了後のコツ

食品を早めに取り出す

- 余熱で仕上がり(焼き色)がかわることがあります。
- 食品、特に飲み物や汁物を取り出すときは、こぼさないように気を付けます。
- オーブン加熱やグリル加熱後は本体や付属品が熱くなっています。

付属品を取り出すときは、やけどに注意して厚めの乾いた布きんやお手持ちのオーブン用手袋を使い両手で取り出します。



- 食品を取り出し忘れると、音が鳴ってお知らせします。

取り出し忘れ防止のために調理終了後、ドアが開けられるまでの3分間、1分ごとに「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

加熱が足りないときは追加加熱または手動調理で加熱を追加する

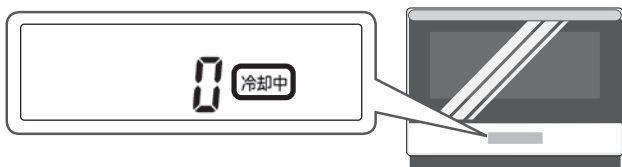
オートメニューや手動調理で加熱後にもう少し熱くしたいとき、焼きたいときは、追加加熱または手動調理で様子を見ながら加熱を追加します。

「追加加熱する」(→P.54)

「手動調理」の使いかた(→P.43~54)

電源プラグを抜かない

- 冷却のために冷却ファンが回ることがあります。
- 冷却ファンの運転時間は最大約10分です。電源プラグを抜くときは、「冷却中」の表示が消え、冷却ファンが停止していることを確認してください。



お手入れのコツ

続けて調理しないときは、こまめなお手入れがポイントです。加熱室が冷めてからお手入れします。

加熱室の汚れをとる

スチームを発生させ加熱室の汚れを拭きとりやすくしてから、加熱室を拭きます。

「清掃(加熱室の汚れをとる)」(→P.58)

本体の水抜きをする

スチームや過熱水蒸気を使ったあとは、本体に残った水を抜き、給水タンクの水を捨てます。

「水抜き(本体に残った水を抜く)」(→P.58)

「お手入れする(給水タンク)」(→P.57)

加熱室の臭いをとる

加熱室の臭いが気になるときは空焼きをして脱臭します。

「空焼き(脱臭)をする」(→P.15)

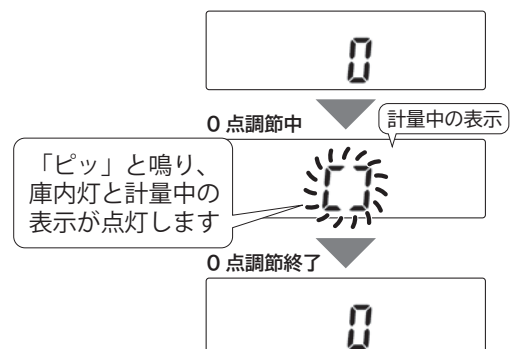
0点調節をする

料理が加熱不足や加熱し過ぎになる場合は、0点調節をします。

1 加熱室内にテーブルプレートだけをセットしてドアを閉める

2 液晶表示部に「0」が表示されていることを確認し、トリケルを3秒以上押す
「冷却中」の表示が出ているときは0点調節はできません。

「冷却中」表示が消え、加熱室内が完全に冷めていることを確認してから行って下さい。



使える容器・使えない容器

使用上のご注意

○は使える。
✕は使えない。

- レンジ加熱とオーブン、グリル加熱を間違えないでください。間違えると食品や容器が発煙・発火することがあります。加熱する前に、加熱の種類を確認してください。
- プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱温度表示をご覧ください。
- 材質や耐熱温度がわからない容器は使わないでください。

		レンジ	オーブン・グリル
プラスチック・シリコン容器	耐熱性のあるプラスチック容器・シリコン容器 ポリプロピレン製など	○ 耐熱温度が140℃以上の物で、「電子レンジ使用可」の表示のある物を使います。ただし、砂糖、バター、油を使った料理は高温になり、容器が変形して使えません。加熱中に蒸気が吹き出した場合は、蒸気に混じって吹き付けられた食品が固着して、加熱室の塗装が傷む場合があります。調理後は、すぐにふき取ってください。	✕ ただし、「オーブン・グリル使用可」の表示のある物は容器に記載の耐熱温度以下で使えます。
	その他のプラスチック容器	✕ 耐熱温度が140℃未満の物(ポリエチレン、スチロール樹脂など)や耐熱温度が高くても電波で変質する物(メラミン、フェノール、ユリア樹脂、アルミなどで表面加工した樹脂など)は使えません。ただし、「解凍」(7メニュー)のときだけに、発泡スチロール製のトレーが使えます。	✕
陶器・磁器	耐熱性のある陶器・磁器 ココット皿 グラタン皿など	○	○
	日常使っている陶器・磁器 茶わん・皿など	○ ただし、色絵付け、ひび模様、金、銀模様のある物は、器を傷めたり、火花(スパーク)が出るので使えません。また素焼きの陶器、土鍋など吸水性の高い物や、長時間浸水させた陶器、磁器は、熱くなり、割れるおそれがあるので注意してください。	✕
ガラス容器	耐熱性のあるガラス容器	○ ただし、加熱後、急冷すると割れることがあります。	○ ただし、加熱後、急冷すると割れることがあります。
	耐熱性のないガラス容器 強化ガラス クリスタルガラス カットグラスなど	✕	✕
その他	ラップ類	○ 耐熱温度が140℃以上の物は使えます。ただし、油、バター、砂糖を使った料理は高温になり、ラップが溶けて使えません。オーブン・グリル加熱後は、加熱室が熱くラップ類が溶けるおそれがあるので注意してください。	✕ ただし、発酵では使えません。
	金属、金属製のケーキ型・金属容器・金ぐし・アルミホイルなど	✕ 電波を反射するので使えません。ただし、アルミホイルは電波を反射する性質を利用し、加熱し過ぎる部分をおおうなど、部分的に使えます。このとき、加熱室壁面、ドアガラスに触れると火花(スパーク)が出て、破損や故障のおそれがあるので注意してください。	○ ただし、プラスチックの持ち手がついている物は使えません。
	竹・木・籐・紙(新聞紙・封筒・紙袋など)・ニス塗り・漆塗り容器など	✕ 焦げたり、塗りがはげたり、ひび割れることがあるので使えません。特に針金を使っている物は燃えやすくなります。ただし、竹ぐし、楊枝、紙製品はレシピ集に記載している使いかたに限り使えます。	✕ ただし、硫酸紙や耐熱性の加工を施した紙製品(オーブンシート)は使えます。

付属品の使いかた

付属品イラストの見かた

メニューによって、使う付属品が異なります。

操作手順やレシピ集のイラストに従い、正しくセットしてください。

使う付属品の例

テーブルプレートと黒皿を使用し、給水タンクを使用する場合

付属品のセット位置

テーブルプレートを加熱室底面に、黒皿を皿受棚の中段にセットする。

給水タンクの状態

水を満水ラインまで入れてセットする。



給水タンクを満水にしてセットします。

使用付属品

黒皿 中段
テーブルプレート




使用する付属品

給水タンク 満水

給水タンクを空にしてセットします。(給水タンクのイラストが無い場合)
水が入っていても調理の仕上がりには影響しません。

手動調理で使う付属品

オートメニューとは使いかたが異なります。

手動調理の 加熱方法	付属品の種類 (○:使える ×:使えない)		
	テーブルプレート 	黒皿 	給水タンク 
レンジ	○	×※1	空※3
スチームレンジ	○	×※1	満水
スチームレンジ発酵	○	×※1	満水
オーブン	×※2	○	空※3
スチームオーブン	×※2	○	満水
スチームオーブン発酵	×※2	○	満水
グリル	×※2	○	空※3
スチームグリル	×※2	○	満水

※1 黒皿は金属製のため「レンジ」、「スチームレンジ」、「スチームレンジ発酵」では使用できません。
火花(スパーク)が発生して故障、発火の原因になります。

※2 オーブン加熱、グリル加熱を使用する場合は、テーブルプレートを取り外してください。
本体底部の機械室が高温になり、部品が壊れるおそれがあります。

※3 スチーム・過熱水蒸気を使わないメニューで給水タンクに水が入っていても、調理の仕上がりには影響しません。

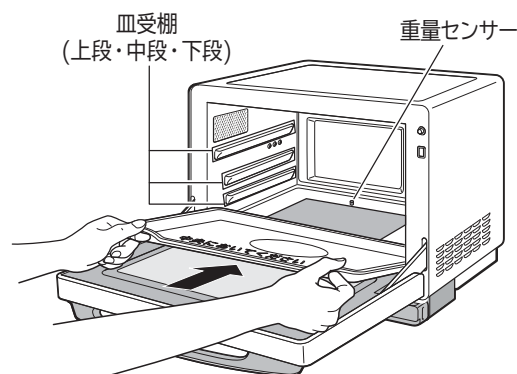
テーブルプレートの使いかた

- オートメニューで使用します。
- 手動調理のレンジ加熱で使用します。
- 手動調理のスチームや過熱水蒸気を使う調理で使用します。

セットのしかた

縁が低い辺を手前にし、開いたドアの上にのせます。両手で持ってゆっくりと押し込み、加熱室底面の重量センサーにのせます。

このとき、テーブルプレートより上に皿受棚の上段・中段・下段が見えていること、奥までテーブルプレートが押し込まれていることを確認してください。



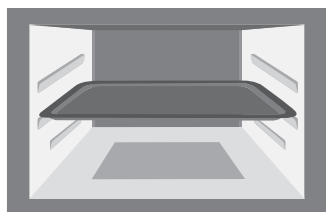
使
い
か
た

黒皿の使いかた

- オートメニューで使用します。
- 手動調理のオーブン加熱、グリル加熱で使用します。

セットのしかた

黒皿



- 皿受棚にセットします。
- メニューによって上段・中段・下段を使い分けます。

⚠ 注意



禁止

黒皿はレンジ加熱を使用するオートメニュー(1 おかずあたため など)や手動調理(レンジ加熱)では使用しない
火花(スパーク)で故障・発火の原因になります



指示

熱くなったテーブルプレート、黒皿の出し入れは厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う
やけどのおそれがあります

付属品の使いかた(つづき)

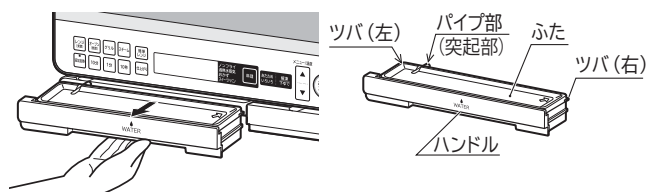
給水タンクの使いかた/つゆ受けカバーの使いかた

給水タンクを満水にしてセットする

スチームや過熱水蒸気を使うメニューで使います。

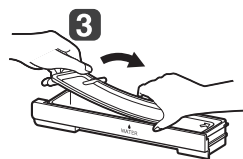
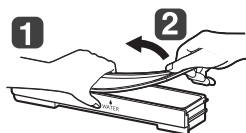
本体から取り外す

給水タンクに手をかけ、水平に引き抜く
(取り出し時は、両手を添えて引き抜いてください。)



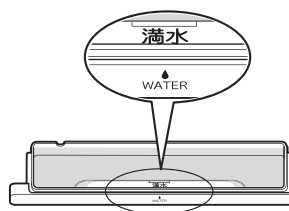
ふたを外す

- 1 給水タンクを軽く持つ
パイプ部は持たないでください。
- 2 ふたのツバ(右)に指をかけ、右側面全体を持ち上げる
- 3 ふたのツバ(左)に指をかけ、左側面全体を持ち上げ、ふたを外す



水を入れてふたをする

- 1 給水タンクを水平にして満水ラインまで水を入れる
 - 水道水を使います。
 - 傾けると水がこぼれます。
- 2 給水タンクにふたをかぶせ、周囲全体を押さえて閉める
 - 確実に閉まっていることを確認します。
 - ふたの中央を押すとパイプ部から水がこぼれます。



お願い

- 給水タンクは5℃以下の環境では水が凍り、スチーム・過熱水蒸気調理がうまくできない場合があります。
- 使用する水は、塩素消毒された水道水を使用してください。
- 下記の水を使うときはカビや雑菌が発生しやすくなるため、毎回給水タンクを洗ってください。



●浄水器の水 ●井戸水など

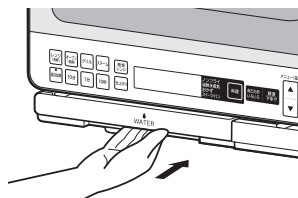


●アルカリイオン水
●ミネラルウォーター

本体にセットする

給水タンクを水平に持って、本体に入れ、しっかり奥まで押し込む

確実にセットしないと、水もれやスチーム不足の原因になります。



給水タンクを空にしてセットする

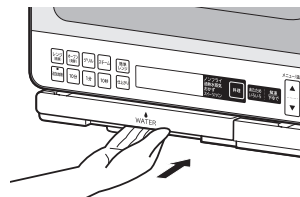
カビや雑菌の繁殖を防ぐため、使用後は給水タンクの水を捨てます。
本体内部が汚れないように給水タンクを空のまま本体にセットしておきます。

水を捨ててお手入れする

- 給水タンクを本体から取り出し、ふたを外して水を捨てる
- 本体に残った水を抜き、お手入れをする
「水抜き（本体に残った水を抜く）」（→P.58）
「本体のお手入れをする（水滴や汚れをとる）」（→P.57）
「お手入れする（給水タンク）」（→P.57）

本体にセットする

給水タンクを水平に持って、本体に入れ、しっかり奥まで押し込む



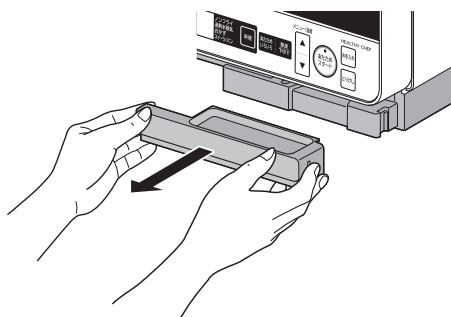
つゆ受けカバーをセットする

つゆ受けカバーは本体から取り外し、お手入れができます。

本体から取り外す

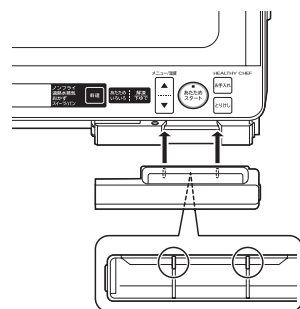
給水タンクを本体から取り出した後、つゆ受けカバーの両端を持って手前に引き抜く

「お手入れする（つゆ受けカバー）」（→P.57）



本体にセットする

つゆ受けカバーの両端を持って、内側にあるリブ（吹出し赤枠部）を本体レッグカバーの溝にはめるように押し込む



お知らせ

スチームや過熱水蒸気を使うメニューで、給水タンクに水が入っていないまたは給水タンクが半挿入のとき、「給水」が点滅します。給水タンクを満水にし、確実にセットします。

「給水」表示が点滅したまま調理すると、調理がうまく仕上がらないことがあります。故障の原因にはなりません。

スチームや過熱水蒸気を使わないメニューで、給水タンクに水が入ったまま調理しても、調理の仕上がりに影響しません。また、故障の原因にはなりません。

⚠ 注意



指示

スチーム、過熱水蒸気とオーブンやグリルを併用した場合は給水タンク内の残水が熱くなっているので注意する
やけどの原因になります

あたたためのワンポイント

オートメニューでは加熱し過ぎたり、皮や袋がはじけて飛び散ることがあります。

手動調理 **レンジ** **500W** (→P.44~46) で様子を見ながらあたためるもの

●分量が100g未満の食品 ●冷凍野菜 ●まんじゅう

市販の冷凍食品・弁当、チルド食品は手動調理の下記調理方法であたためます。

市販の冷凍食品・チルド食品のあたため

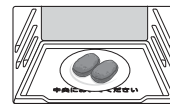
- ① 食品メーカーが指示するトレイや容器に入れます。
電子レンジ可・レンジで調理などの表示があるか確認をしてください



- ② 手動調理の簡単レンジ (**600W**、**500W**) (→P.43) でレンジ加熱 (**600W**、**500W**) で加熱する。

調理時間の目安	
500W	600W
約 2分 40 秒	約 2分 30 秒

- ③ 加熱するときはテーブルプレートの中央に食品を置き、**あたためスタート**を押してあたためます。
冷凍食品の中にはターンテーブル式のオーブンレンジ対応の置きかたが記載されているものがありますが、本製品はフラットテーブル式のオーブンレンジです。端に食品を置くとうまく仕上がりにません。



食品は
テーブルプレート
の中央に置く

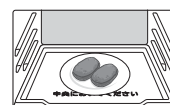
	1個の場合	2個の場合	4個の場合
本製品での食品の置きかた (中央に寄せて置きます)			
パッケージに記載の置きかた (本製品とは異なります)			

●レンジ加熱の出力・加熱時間は冷凍食品メーカーが表示している **レンジ** **600W** または **レンジ** **500W** の時間を目安にして、若干長めに加熱します。

市販のお弁当のあたため

- ① 食品のパッケージに指示されている出力 (W)・加熱時間を目安に簡単レンジ (→P.43) で設定します。
- ② テーブルプレートの中央に食品を置き、**あたためスタート**を押してあたためます。
ふたをしたまま加熱する場合は、様子を見ながら加熱します。

レンジ加熱目安
500W 3分00秒



食品は
テーブルプレート
の中央に置く

パッケージに加熱方法の記載がない市販の調理済み食品

- ① 包装やプラスチック容器から別の耐熱容器に移しかえます。

- ② 手動調理の **レンジ** **500W** で様子を見ながら加熱します。

オートメニューの選びかた



1 **料理**を押してオートメニューの種類を選ぶ

料理 キーでは「ノンフライ」▶「過熱水蒸気」▶「おかず」▶「スイーツ／パン」の順に選べます

2 **メニュー/温度**を押してメニュー番号を選ぶ

下表の「●」はレンジ加熱を行います。付属品の黒皿、金ぐしや金属製の調理器具やアルミホイルなどは使えません。

種類	オートメニュー		メニュー 予熱 有	メニュー 予熱 無	操作方法 参照ページ	レシピ集 参照ページ
	No.	メニュー名				
あたためいろいろ	1	おかずあたため	●		26~28	—
	2	ごはんあたため	●		26、27	—
	3	冷凍ごはん	●		30、31	—
	4	飲み物・牛乳	●		32、33	121
	5	解凍あたため	●		30、31	—
	6	冷凍(左)と冷蔵(右)	●		29	—
	7	スチームあたため	●		34、35	121
	8	中華まんのあたため	●		34、35	121
	9	揚げ物のあたため	○		34、35	121
解凍・下ゆで	10	ひき肉	●		36~38	—
	11	薄切り肉	●		36~38	—
	12	角切り肉	●		36~38	—
	13	ブロック肉	●		36~38	—
	14	厚切り肉	●		36~38	—
	15	しゃぶしゃぶ用肉	●		36~38	—
	16	刺身	●		36~38	—
	17	下ゆで葉・果菜	●		39、40	120
	18	下ゆで根菜	●		39、40	120
ノンフライ	19	鶏のから揚げ	○		41	90
	20	とんカツ	○		41	91
	21	手羽先のから揚げ	○		41	92
	22	ポテトコロッケ	○		41	94
	23	えびフライ	○		41	95
	24	あじフライ	○		41	95
	25	えびの天ぷら	○		41	96
	26	チキン南蛮	○		41	97
	27	さつま揚げ	○		41	97
	28	鶏のしょうゆから揚げ	○		41	91
	29	豚のから揚げ	○		41	92
	30	くしカツ	○		41	93
	31	ヒレカツ	○		41	93
	32	チキンカツ	○		41	94
	33	桜えびのかき揚げ	○		41	96
	34	魚介の天ぷら	○		41	97
	35	野菜の天ぷら	○		41	97
	36	がんもどき	○		41	98
過熱水蒸気	37	ハンバーグ	○		41	69
	38	ローストビーフ	○		41	70
	39	鶏のハーブ焼き	○		41	71
	40	鶏の照り焼き	○		41	71
	41	塩ざけ	○		41	73
	42	塩さば	○		41	74
	43	ぶりの照り焼き	○		41	74
	44	あじの開き	○		41	75
	45	焼きいも	○		41	76

種類	オートメニュー		メニュー 予熱 有	メニュー 予熱 無	操作方法 参照ページ	レシピ集 参照ページ
	No.	メニュー名				
おかず	46	豚のしょうが焼き	○		41	70
	47	マカロニグラタン	○		41	77
	48	焼きそば	●		41	79
	49	チンジャオロウスー	●		41	81
	50	茶わん蒸し	●		41	86
	51	あさりの酒蒸し	●		41	88
	52	肉じゃが	●		41	98
	53	筑前煮	●		41	100
	54	ぶり大根	●		41	102
	55	肉豆腐	●		41	100
	56	ふろふき大根	●		41	102
	57	かつお昆布だし	●		41	103
	58	とん汁	●		41	103
	59	焼き野菜		○	42	75
	60	明太子の塩こうじ焼きそば	●		41	80
	61	焼きうどん	●		41	80
	62	豚肉とピーマンのみそそば	●		41	82
	63	なすのみそいため	●		41	83
スイーツ／パン	64	ペペロンチーノ風野菜いため	●		41	83
	65	牛肉とピーマンの塩こうじいため	●		41	84
	66	えびの塩こうじいため	●		41	84
	67	にらレバいため	●		41	85
	68	プルコギ	●		41	85
	69	ほうれん草の塩こうじソテー	●		41	86
	70	鶏の酒蒸し	●		41	88
	71	鶏の簡単蒸し	●		41	89
	72	蒸し野菜のベーコン巻き	●		41	89
	73	なすときのこの蒸しサラダ	●		41	90
	74	さばのみそ煮	●		41	101
	75	きんぴらごぼう	●		41	101
	76	簡単肉じゃが	●		41	101
	77	スポンジケーキ	○		41	106
	78	シフォンケーキ	○		41	108
	79	シュークリーム		○	42	113
	80	パウンドケーキ(プレーン)	○		41	109
	81	らくらくクッキー	○		41	112
	82	バターロール(ロールパン)		○	42	116
	83	簡単パン	○		41	118
	84	ピザ(パン生地)		○	42	115
	85	フランスパン(バタール・クーペ)		○	42	119

あたためる (オートメニュー)

お総菜・ごはんのあたため

1 おかずあたため

2 ごはんあたため

常温、冷蔵保存した食品をあたためます。

- 冷凍ごはんのあたためは「3 冷凍ごはん」(→P.30、31)
- 冷凍保存 (ホームフリージング) したお総菜のあたためは「5 解凍あたため」(→P.30、31)
- 市販の冷凍食品は手動調理 (レンジ加熱) であたためてください。(→P.24)



1

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1

■おかずをあたためるときは

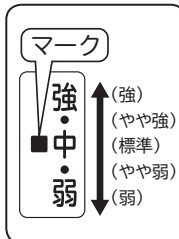
「あたためスタート」を押してスタートする

メニュー番号「1」(「1 おかずあたため」)を表示し、自動的に加熱がスタートします。

仕上がり調節するときには、加熱時間を表示する前に設定する

「仕上がり」を押してマークをお好みの位置に合わせます。

仕上がりは「中」(標準)に自動設定されています。



■ごはんをあたためるときは

「あたためいろいろ」を押した後を「▲」押してメニュー番号「2」

「2 ごはんあたため」を選び「あたためスタート」を押してスタートする

2

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

使用付属品



テーブルプレート

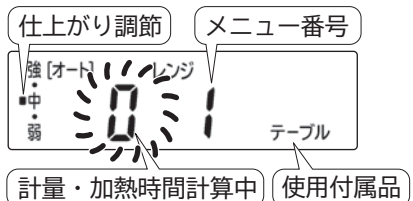
注意



分量が100g未満のときはオートメニューで加熱しない

火災の原因になります。

レンジ 500W (→P.43 ~46) で様子を見ながら加熱します



残り加熱時間：食品によってかわります

お願い














- 約10分間放置すると待機時消費電力オフ機能が働き、電源が切れます。ドアを開閉して電源を入れてから「あたためスタート」を押してください。(→P.14)

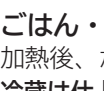
お知らせ

「1 おかずあたため」では

「あたためいろいろ」を1回押して「あたためいろいろ」のメニュー番号「1」を選んだ後、

「あたためスタート」を押してもスタートできます。

保存した食品をあたためる(容器あり)				ラップの有無の「-」はラップをしなくても良いことを示す				1 おかずあたため
メニュー名および調理のコツ				メニュー名および調理のコツ				ラップの有無
めん類		スパゲッティ・焼きそば 皿にのせる。加熱後、かき混ぜる。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—	煮物		野菜の煮物・おでん(たまごは取り除く) 容器に入れて、煮汁をかける。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—	—
		焼き魚 焼き魚は身が飛び散ることがあるのでラップをする。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。				煮魚 容器に入れて、煮汁をかける。煮魚は身が飛び散ることがあるので、深めの皿を使い、ラップをする。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。		
焼き物		ハンバーグ 加熱後、裏返して1～2分おく。ソースは飛び散ることがあるので加熱後にかける。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—	蒸し物		シューマイ 少しすき間をあけて皿に並べ、水分を補ってから加熱する。乾燥気味の場合は、さっと水にくぐらせる。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—	—
		焼きとり・焼き肉 皿に並べる。たれを塗ってから加熱する。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—					
揚げ物		天ぷら・フライ・コロケ 皿に並べる。冷蔵は仕上がり調節[中]または[やや弱]に合わせる。 油が気になるときは、加熱後、キッチンペーパーで取る。 ただし、えびやいかは飛び散ることがあるのでラップをする。	—	とろみのある物		カレー・シチュー 冷凍保存した物や、えびやいかは飛び散ることがあるので、ラップをする。(丸ごとのマッシュルームはあらかじめ取り除き、加熱後加える) 加熱後よくかき混ぜる。(冷凍保存した物はかたまりをほぐす) 仕上がり調節[中]または[やや強]に合わせる。 みそ汁・スープなどは、手動調理(レンジ加熱)(→P.43~46)で様子を見ながらあたためる。		—
いため物		野菜のいため物・酢豚・八宝菜・ミートボール 容器に入れる。野菜いためは乾燥している場合は、バターかサラダ油を加える。加熱後、かき混ぜる。 冷蔵は仕上がり調節[中]または [やや強]に合わせる。	—					

保存した食品をあたためる(容器あり)				ラップの有無の「-」はラップをしなくても良いことを示す				2 ごはんあたため
メニュー名および調理のコツ				メニュー名および調理のコツ				ラップの有無
ごはん物		ごはん・チャーハン・ピラフ 加熱後、かき混ぜる。 冷蔵は仕上がり調節[中]または[やや強]に合わせる。	—					—

お総菜・ごはんの上手なあたためかた

- 1回にあたためられる分量は
100～900gです。
- 食品の重量が容器の重量より重いときは
仕上がり調節を[やや強]に合わせます。
- 容器の重さは(→P.16)
食品の分量と同じぐらいの重さの物を使います。
- 食品の温度の目安は
常温は約20℃、冷蔵は0～10℃です。

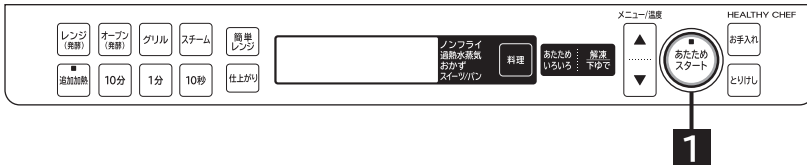
あたためる (オートメニュー)

常温や冷蔵で保存した食品の 異なる2品の同時あたため

1 おかずあたため

異なる2品を同時にあたためます。

- 冷凍保存した食品と冷蔵保存した食品の同時あたためは
[6 冷凍(左)と冷蔵(右)]を使います。(→P.29)
- 冷凍保存した食品と常温保存した食品の同時あたためは
できません。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

2品をテーブルプレートの
中央に間隔をあけて置
き、ドアを閉める



あたためられる食品の組み合わせ



1

あたためスタートを押してスタートする

- 仕上がり調節を設定するときは加熱時間が表示される前に調節します。(→P.26)
- メニュー番号「1」(「1 おかずあたため」)を表示し、自動的に加熱がスタートします。
- あたためいろいろ**を押して「1 おかずあたため」を選ぶこともできます。(→P.26)

2

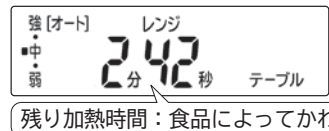
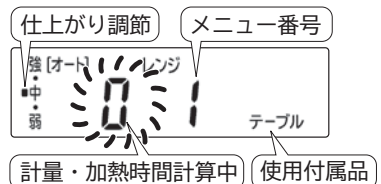
終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

使用付属品



テーブルプレート



残り加熱時間：食品によってかわります

次の場合はうまく仕上がりにません

■冷凍と常温、冷凍と冷蔵の組み合わせはできません

冷凍と冷蔵は[6 冷凍(左)と冷蔵(右)]であたためます。

■冷凍と冷凍の異なる2品の組み合わせはできません

1品ずつ[5 解凍あたため](→P.30、31)であたためます。

■飲み物は[4 飲み物・牛乳]

(→P.32、33)であたためてください
異なる種類の飲み物を同時にあたためることはできません。

■以下の食材の2品同時あたためはできません

- 塩分の多い食品と糖分の多い食品
 - 汁けの多い食品と少ない食品
 - あたためのワンポイント→P.24)
- 手動調理(レンジ加熱)(→P.43~46)で様子を見ながらあたためます。

1 おかずあたためで異なる2品をあたためるコツ

■食品の分量は

- 1品の分量は100～300gです。
 - 2品の分量をほぼ同じにします。
- この分量以外はオートメニューで調理できません。
手動調理(レンジ加熱)(→P.43~46)で様子を見ながら加熱してください。

■容器の大きさは

食品の分量にあった大きさ、重さの容器を使います。
2品とも同程度の大きさ、重さの容器を使います。

■上手に仕上げるには(→P.16、27)

食品により、飛び散りを防いだり適温にあたためるためラップなどのおおいが必要です。

●タレ、ソース、煮汁のかかった食品

●カレー、シチューなどのとろみのある食品

表面が乾燥ぎみのときや、柔らかく仕上げたい場合は水やお酒をふるか霧を吹きます。

カレー、シチュー、野菜いためなどは、加熱後、よくかき混ぜます。

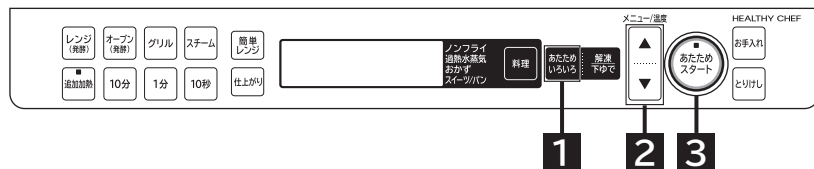
冷凍や冷蔵で保存した食品の

異なる2品(冷凍ごはん・お総菜など)の同時あたため

6 冷凍(左)と冷蔵(右)

冷凍保存した食品と冷蔵保存した食品を同時にあたためます。

●冷凍と保存した食品と常温保存した食品のあたためは、同時にはできません。1品ずつあたためてください。



使用付属品



テーブルプレート

あたためられる食品の組み合わせ

冷凍 冷蔵

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

冷凍した食品を左側、冷蔵した食品を右側に
してテーブルプレート中央に間隔をあけて置
き、ドアを閉める

1

あたためいろいろ を1回押して「あたためいろいろ」を選ぶ

2

メニュー/温度 を押してメニュー番号「6」を選ぶ
仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

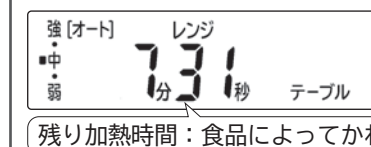
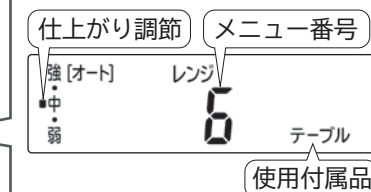
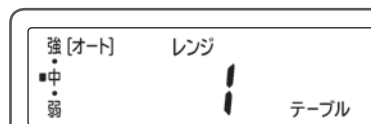
3

あたためスタート を押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)



残り加熱時間：食品によってかわります

6 冷凍(左)と冷蔵(右)で異なる2品をあたためるコツ

■食品を置く位置は(置く位置が決まっています)

左側：冷凍保存の食品 右側：冷蔵保存の食品



■あたためられる食品は

チルド食品、調理済み冷凍食品のハンバーグや焼きおにぎりなどの焼き物、揚げ物、フライです。

■食品の分量は

「1 おかずあたため」で異なる2品をあたためるコツ(→P.28)を参照します。

■容器の大きさは

「1 おかずあたため」で異なる2品をあたためるコツ(→P.28)を参照します。

■上手に仕上げるには(→P.16、27)

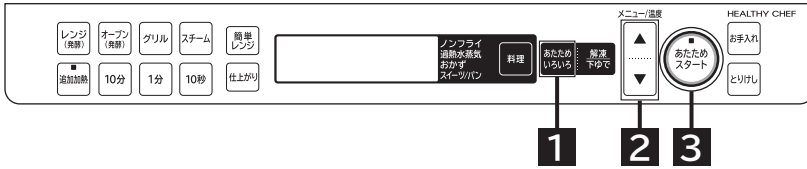
■分量が100g未満の食品、冷凍野菜、まんじゅうは、2品同時にあたためられません。

手動調理(レンジ加熱)(→P.43~46)で様子を見ながらあたためます。

あたためる (オートメニュー)

冷凍保存したごはん・お総菜のあたため 3 冷凍ごはん 5 解凍あたため

- 冷凍ごはんのあたためは「3 冷凍ごはん」を使います。
- 冷凍保存したお総菜のあたためは「5 解凍あたため」を使います。



使用付属品

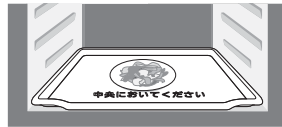


テーブルプレート

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める



1

あたためいろいろなを押す

2

メニュー/温度を押し、
3 冷凍ごはん はメニュー番号「3」、又は
5 解凍あたため はメニュー番号「5」を選ぶ

メニュー/温度を押すごとに
1 おかずあたため ▶ 2 ごはんあたため ▶
5 解凍あたため ▶ 9 揚げ物のあたため の
順に選べます。

● 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

3

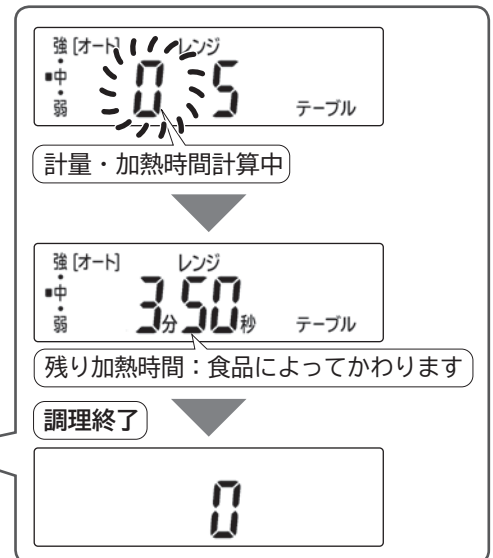
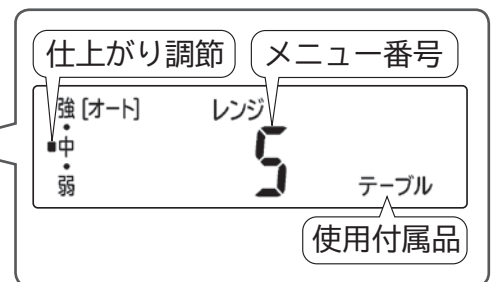
あたためスタートを押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す


加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

例：5 解凍あたため の場合



冷凍保存した食品(ごはん物)を解凍してあたためる

3 冷凍ごはん

メニュー名および調理のコツ		ラップの有無
ごはん物	冷凍ごはん・チャーハン・ピラフ ●ラップに包んで四角形に形作った冷凍ごはんは、テーブルプレートの中央に直接置く。 ●2個以上のときは分量を同じにして、中央に置く。 ●冷凍チャーハン、ピラフは、仕上がり調節「やや弱」に合わせ、加熱後かき混ぜる。 冷凍ごはんを皿にのせてあたためる場合は「5 解凍あたため」で加熱します	

冷凍保存した食品を解凍してあたためる(容器あり)

5 解凍あたため

メニュー名および調理のコツ		ラップの有無	メニュー名および調理のコツ		ラップの有無
めん類	 冷凍スパゲッティ・焼きそば 皿にのせる。加熱後、かき混ぜる。		いたため物	 冷凍八宝菜・ミートボール 容器に入れる。加熱後、かき混ぜる。	
	 冷凍ハンバーグ 皿にのせる。加熱後、裏返して1～2分ほどおく。			 冷凍シューマイ サツと水にくぐらせて皿に並べる。加熱後はすぐにラップを外す。	
揚げ物	 冷凍天ぷら・フライ・コロッケ 皿に並べる。仕上がり調節「やや弱」または「弱」に合わせる。 油が気になるときは、加熱後、キッチンペーパーで取る。	—	とろみのある物	 冷凍カレー・シチュー 容器に入れ、ラップをする。ゆとりをもっておい、仕上がり調節「やや強」または「強」に合わせる。加熱後、かたまりをほぐし、よくかき混ぜる。	

冷凍保存したごはん・お総菜の上手なあたためかた

■1回にあたえられる量は、「3 冷凍ごはん」は100～600g、「5 解凍あたため」は100～900gです
100g未満の食品は手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながらあたためます。(→P.43～46)

■「3 冷凍ごはん」はラップに包んだ冷凍ごはんをそのまま、テーブルプレートの上に直接置きます

■「5 解凍あたため」は食品の分量と容器の重さを同じくらいにしてください

食品の分量が容器の重量よりも重いときは仕上がり調節を「やや強」に合わせます。

■冷凍保存した食品の温度の目安は、約-18℃です

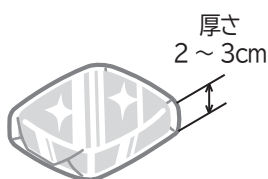
上手な冷凍保存(フリージング)のコツ

■材料は新鮮な物を使います

■冷凍する分量と形は

1回分ずつ(200～300g)に分け、2～3cmの厚さで、極端に薄くならないように平らな形にまとめます。
丸めたり、指定の分量以上をひとまとめにすると、中まであたたまりにくくなります。

■ラップなどでぴったり密封をします



■ごはんやカレーなどは

ごはんは1杯分(150g)ずつに、カレーなどは100～300gずつに分け、薄く(厚さ2～3cm)平らにして冷凍します。
丸ごとのマッシュルームなど飛び散りやすい物は、あらかじめ半分に切っておきます。

■野菜は

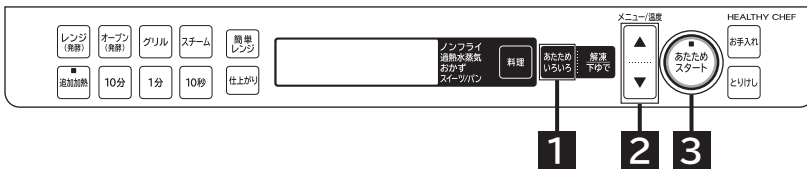
かためにゆで、水けをよく切って1回分(100～200g)ずつラップなどで包み、冷凍します。

あたためる (オートメニュー)

飲み物のあたため

4 飲み物・牛乳

- 牛乳、豆乳は「4 飲み物・牛乳」であたためます。
- お茶、コーヒー、水は「4 飲み物・牛乳」仕上がり調節「強」であたためます。
- お酒は手動で様子を見ながらあたためます。

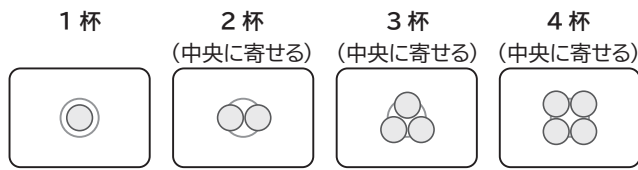


お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をテーブルプレートの中央に置きドアを開める

食品の置きかた
(テーブルプレートの中央に置く)



1

あたため いろいろ を1回押す

2

メニュー/温度 を押し、
「4 飲み物・牛乳」はメニュー番号「4」を選ぶ

- **メニュー/温度** を押すごとに
「1 おかずあたため」▶「2 ごはんあたため」▶「3 冷凍ごはん」▶
「4 飲み物・牛乳」……▶「9 揚げ物のあたため」の
順に選べます。

- 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

3

あたため スタート を押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

使用付属品



テーブルプレート

警告

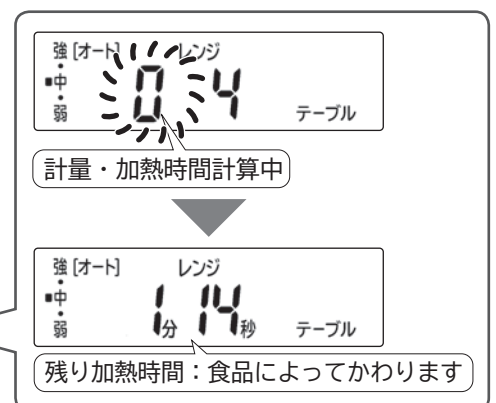


禁止

飲み物は容器の半分以下(少量)のときはオートメニューで加熱しない
加熱し過ぎになり、加熱中や加熱後に突然沸とう(突沸)して飛び散り、やけど・けがの原因になります
手動調理(レンジ加熱)(→P.43~46)で様子を見ながら加熱します



例：「4 飲み物・牛乳」の場合



飲み物の上手なあたためかた

4 飲み物・牛乳

■あたためられる飲み物は

冷蔵保存した牛乳、常温・冷蔵保存したお茶、コーヒー、水などです。
お茶、コーヒー、水は仕上がり調節^強に合わせます。

■1回にあたためられる分量(1～4杯分)は

牛乳、お茶、コーヒー、水は150～800mLです。

■加熱前によくかき混ぜます

■あたためる分量と容器の重さは同じくらいにします

飲み物が容器よりかるいときは、仕上がり調節^{やや弱}または^弱に合わせます。

■容器の種類と飲み物の入れかた

- 容器はマグカップやコップ(背が低く、広口の物)を使い、飲み物を容器の7～8分目まで入れます。
- 牛乳びんでの加熱はできません。



■テーブルプレートの中央に置きます

2個以上を同時にあたためる場合は、テーブルプレート中央に寄せて置きます。

■1おかずあたためでは熱くなり過ぎます

食品に合ったオートメニューであたためてください。

■仕上がりかぬるかったときは

^{レンジ}500W(→P.43～46)で、様子を見ながら加熱します。

お酒の上手なあたためかた

手動

■加熱時間の決めかた(→P.45)

■加熱前によくかき混ぜます

■テーブルプレートの中央に置きます

2個以上を同時にあたためる場合は、テーブルプレート中央に寄せて置きます。

■半分以上の少量であたためるときは

加熱室から取り出した後でも、突然沸とう(突沸)して飛び散りややけどをすることがあります。
手動調理(レンジ加熱)で様子を見ながら加熱します。(→P.43～46)

■容器の種類と入れかたは

- 容器はコップまたは徳利を使います。
- コップであたためる場合は、7～8分目まで入れます。
- 徳利であたためる場合は、くびれた部分より1cm下くらいまで入れます。
- びん詰めのお酒は栓を抜きます。

■仕上がりかぬるかったときは

^{レンジ}600W(→P.43～46)で、様子を見ながら加熱します。

あたためる (オートメニュー)

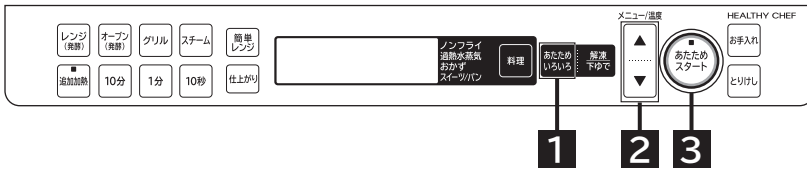
スチームでふっくらあたため

7 スチームあたため

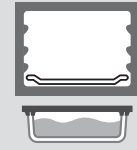
8 中華まんのあたため

9 揚げ物のあたため

- 7 スチームあたため 8 中華まんのあたため はスチームで包み込み、ふっくらあたためます。
- 9 揚げ物のあたため は常温や冷蔵保存の調理済み揚げ物の衣を過熱水蒸気でサクッとあたためます。



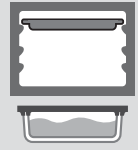
使用付属品



テーブルプレート
給水タンク 満水

7 スチームあたため
8 中華まんのあたため

使用付属品



黒皿 上段
給水タンク 満水

9 揚げ物のあたため

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- メニューに合った付属品と食品を入れ、ドアを閉める
- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1

あたためいろいろ を1回押す

2

メニュー/温度 を押して「メニュー番号」を選ぶ

- **メニュー/温度** を押すごとに
1 おかずあたため ▶ 2 ごはんあたため▶
7 スチームあたため ▶ 8 中華まんのあたため ▶
9 揚げ物のあたため の順に選べます。
- 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

3

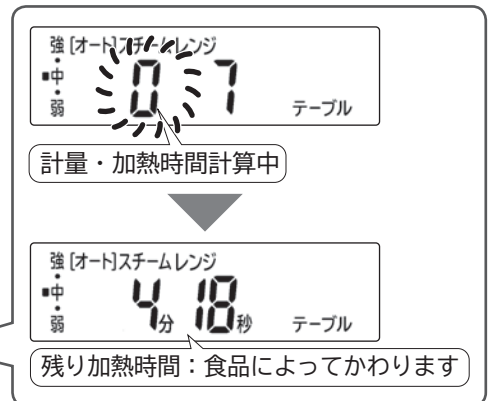
あたためスタート を押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)
給水タンク使用後はお手入れをします。(→P.57)

例： 7 スチームあたため の場合



スチームを使った上手なあたためかた

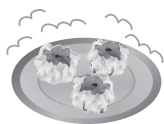
7 スチームあたため

■あたためられる食品は

常温や冷蔵保存したごはんやシューマイ、焼きそばなどです。

■ラップなどのおおいはしない

スチームで食品の乾燥を防ぎながら、しっとりふっくらあたためます。



■1回にあたためられる食品の分量は

ごはん	1～4杯分(150～600g)
シューマイ、焼きそば	100～500g

■容器の種類は

陶磁器や耐熱容器を使います。(→P.19)

■冷凍のお総菜はうまくあたためられません

5 解凍あたため(→P.30、31)を使ってください。

■冷凍のごはんはうまくあたためられません

3 冷凍ごはん(→P.30、31)を使ってください。

■あたためのワンポイント(→P.24)は

7 スチームあたためでもあたためられません

手動調理(レンジ加熱)(→P.43～46)で様子を見ながら加熱します。

■1 おかずあたためより加熱時間は長くなります

中華まんの上手なあたためかた

8 中華まんのあたため

■あたためられる食品は

市販の冷蔵保存した中華まんです。

■1回にあたためられる分量は

1個(約100g)～4個(約400g)までです。
1個80～90gの物は2～4個、110～150gの物は1～2個まであたためられます。

■皿などの容器は使わない

加熱し過ぎの原因になります。
ラップまたはオーブンシートをテーブルプレートに敷き、その上に置きます。

■加熱前の状態がかたいときや、よりふっくらと仕上げたいときは

加熱前に水をくぐらせたり、霧を吹いてから加熱します。

■食品の置きかたは

テーブルプレートの中央に置く

■底に紙がついている物はそのまま

紙をつけたまま加熱します。

■ラップなどのおおいはしない

スチームで食品の乾燥を防ぎながら、しっとりふっくらあたためます。

■冷凍の中華まんはうまくあたためられません

「手動調理の加熱時間の目安」(→P.55、56)を参照し、
レンジまたはスチームレンジで様子を見ながら加熱します。

■あんまんなは

仕上がり調節やや弱または弱に合わせます。

揚げ物の上手なあたためかた

9 揚げ物のあたため

■あたためられる食品は

常温や冷蔵保存の揚げ物です。

■1回にあたためられる揚げ物の分量は

100～500gまでです。

■100g未満のあたためはできません

100g以上にするか黒皿に並べて上段にセットし、
オープン 予熱無 150℃(→P.50)で様子を見ながら加熱します。

■加熱後に天ぷらなどの底面がベタつくときは

キッチンペーパーなどで油分を取ります。

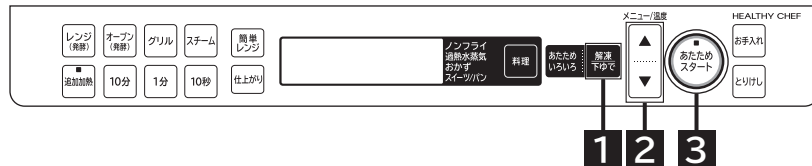
下ごしらえする(オートメニュー)

肉や魚の解凍

10 ひき肉 ~ 16 刺身

肉や魚の形状、種類などに合わせた解凍をします。

- 冷凍室から取り出してすぐに加熱します。
- 解凍のコツ(→P.37、38)



使用付属品

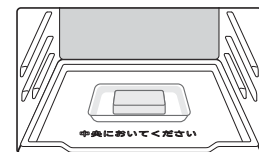


テーブルプレート



給水タンク 満水

冷凍した肉や魚の置きかた
テーブルプレートの中央に置く



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- 冷凍保存した食品のラップなどの包装を外し、発泡スチロール製のトレーにのせる
トレーがない場合は、ラップなどの包装を外し、テーブルプレートにオーブンシートかキッチンペーパーを敷き、その上に冷凍保存した食品をのせます
- 食品をのせたトレーをテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める
- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1 解凍(下ゆで)を1回押す

2 を押して「メニュー番号」を選ぶ

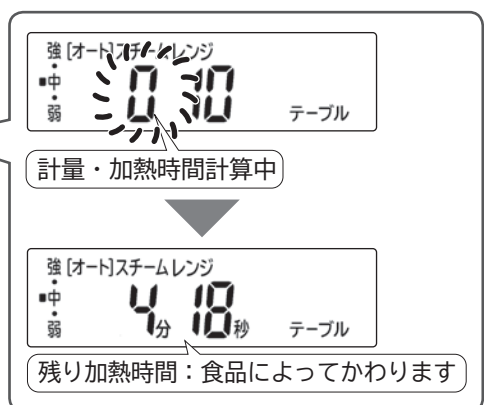
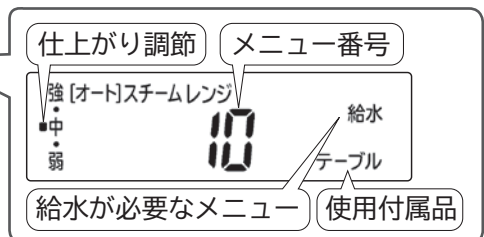
- を押すごとに 10 ひき肉 ▶ 11 薄切り肉
.....▶ 16 刺身▶ 18 下ゆで根菜 の順に
選べます。
- 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

3 を押してスタートする

4 終了音が鳴ったら、食品を取り出す




加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)
給水タンク使用後はお手入れをします。(→P.57)

例：10 ひき肉 の場合



冷凍保存した食品を解凍する

メニュー名および調理のコツ

牛・豚肉		いため物用・焼き肉用肉の解凍 11 薄 切 り 肉 ●厚さ約2mm以上にスライスされた肉を解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。	ひき肉		ひき肉の解凍 10 ひ き 肉 ●ひいた肉または、みじん切りにした肉を解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。
		カレー・シチュー用肉の解凍 12 角 切 り 肉 ●ひとくち大に切り分けられた肉を解凍する。切り分けられていないブロック肉は 13 ブ ロ ッ ク 肉 で解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。			から揚げ用肉の解凍 12 角 切 り 肉 ●ひとくち大に切り分けられた鶏肉を解凍する。切り分けられていないかたまり肉は 13 ブ ロ ッ ク 肉 仕上がり調節 強 で解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。
		ブロック肉の解凍 13 ブ ロ ッ ク 肉 ●部位に切り分けられたかたまり肉を解凍する。かたまり肉に赤身と脂身があるときは、赤身を上にする。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。	鶏肉		鶏もも肉・むね肉・ささみ肉の解凍 13 ブ ロ ッ ク 肉 ●仕上がり調節 強 に合わせる。 ●部位を切り分けられたかたまり肉を解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。
		骨付き肉・スペアリブ・牛と豚のブロック肉の解凍 13 ブ ロ ッ ク 肉 ●細かく切り分けられた骨付き肉を解凍する。骨を細かく切り分けていないかたまり状の肉は仕上がり調節 やや強 に合わせる。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。		 	骨付き鶏もも・手羽元・手羽中・手羽先肉の解凍 13 ブ ロ ッ ク 肉 ●仕上がり調節 強 に合わせる。 ●部位を切り分けられた骨付き肉を解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。
		とんカツ用・ステーキ用肉の解凍 14 厚 切 り 肉 ●厚さ1.5～2cmにスライスされた肉を解凍する。 2枚以上同時に解凍するときは、重ねずに並べて置く。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。	魚		魚の刺身の解凍 16 刺 身 ●刺身のサクを解凍する。 ●中心が少し凍っており、包丁で切りやすいかたさに仕上がります ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。
		しゃぶしゃぶ用・すき焼き用肉の解凍 15 しゃぶしゃぶ用肉 ●厚さ1～2mmにスライスされた肉を解凍する。解凍後、溶け残りがある場合は、そのまま3～5分おき自然解凍する。 ●1回に解凍できる分量は、100～500gです。			魚の切り身の解凍 16 刺 身 ●下ろした魚の切り身を解凍する。2切れ以上同時に解凍するときは、重ねずに並べて置く。 ●1回に解凍できる分量は、100～1000gです。

下ごしらえする(オートメニュー)

肉や魚の解凍(つづき)

上手な解凍のしかた

- 1回に解凍できる分量は、しゃぶしゃぶ用・すき焼き用肉は100～500g、それ以外は100～1000gです。分量が多過ぎると、うまく解凍できません。減らしてください。
- 発泡スチロール製のトレイにのった物はラップなどの包装を外し、トレイのままテーブルプレートの中央に置きます
 - トレイがない場合は、ラップなどの包装を外し、テーブルプレートにオープンシートかキッチンペーパーを敷き、その上にのせます
 - 陶磁器や耐熱容器などは使わないでください。解凍し過ぎになり、うまく解凍できません。
 - スチームで食品を解凍しやすくするため、ラップなどの包装を外します。
- 冷凍室から取り出して、すぐに加熱します
- 加熱室やテーブルプレートを、十分冷ましてから解凍してください
熱いままでは、トレイが溶けたり、解凍し過ぎになります。
- 形や厚みが均一でない物はアルミホイルを使って解凍します
アルミホイルは加熱室壁面やドアガラスに触れないようにしてください。触れると火花(スパーク)が出てテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります。

形状、太さ、厚み、種類	アルミホイルを巻く部分
太さや厚みが不均一	細い部分、薄い部分
大きなかたまり	側面

次の場合は手動調理(レンジ加熱)(→P.43～46)で途中様子を見ながら解凍します

調理済み冷凍食品や冷凍野菜

レンジ200Wで加熱する。

解凍の目安は200gで4～5分です。

- 分量が100g未満の場合
 - バラバラになって凍っている物
 - 解凍が足りなかったとき
 - 20℃以下の冷凍食品
- レンジ100Wで加熱する。



溶けかけている食品

レンジ100W または
レンジ200Wで加熱する。

上手な冷凍保存(フリージング)のコツ

■材料は新鮮な物を使います

■冷凍する分量と形は

1回分ずつ(200～300g)に分け、しゃぶしゃぶ用・すき焼き用肉は、約1cmの厚さで、その他の肉や魚は2～3cmの厚さで、極端に薄くならないように平らな形にひとまとめにします。

厚さ2～3cm
(しゃぶしゃぶ用・
すき焼き用肉は約1cm)



■薄くて細長い形状の肉は

煮えてしまうことがあるので、折りたたんで2～3cmの厚さの平らな形にして冷凍します。

■ブロック肉などの厚みが不均一な肉は

折り込んで厚みを均一にして冷凍します。

■ラップなどで、ぴったり密封をします

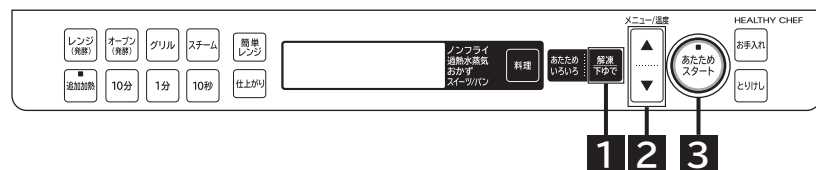
ラップで包むときは、ラップが食品の間に入らないように包むとはがしやすくなります。

■バランなどの飾りや敷き物は取り除きます

野菜の下ゆで

17 下ゆで葉・果菜 18 下ゆで根菜

野菜の種類に合わせた下ゆでをします。



使用付属品



テーブルプレート

注意



禁止

分量が100g未満のときはオートメニューで加熱しない

火災の原因になります

レンジ 500W (→P.43~46)

で様子を見ながら加熱します



禁止

キッチンペーパーなどの紙類で包んで加熱しない

火災の原因になります

お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- 野菜をラップでぴったり包む
- テーブルプレートの中央に直接置き、ドアを閉める

1

解凍下ゆでを1回押す

2

メニュー/温度を押す、野菜の種類に合わせて

17 下ゆで葉・果菜 はメニュー番号「17」、
又は 18 下ゆで根菜 はメニュー番号「18」を選ぶ

- メニュー/温度を押すごとに 10 ひき肉 ▶ 11 薄切り肉
……▶ 17 下ゆで葉・果菜 ▶ 18 下ゆで根菜 の順
に選べます。

- 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

3

あたためスタートを押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

例：18 下ゆで根菜 の場合



計量・加熱時間計算中



残り加熱時間：食品によってかわります

下ごしらえする(オートメニュー)

野菜の下ゆで(つづき)

上手な野菜のゆでかた

17 下ゆで 葉・果菜 18 下ゆで 根菜

■水けを切らずラップでぴったりと包み、テーブルプレートの中央に直接置いて加熱します
皿などの上にのせて加熱すると加熱し過ぎの原因になります。

■加熱できる分量は 17 下ゆで 葉・果菜 は100～500g、 18 下ゆで 根菜 は100～1000gです

葉菜



果菜



花菜



17 下ゆで 葉・果菜

ほうれん草、小松菜など葉が食べられる物

なす、かぼちゃなど果実や種子が食べられる物

カリフラワー、ブロッコリーなど花弁やつぼみが食べられる物

根菜



18 下ゆで 根菜

じゃがいも、さつまいもなど地中にある根茎や根が食べられる物

■料理に合わせた下ごしらえを

葉菜、果菜、花菜の根元の太い物には、十文字の切り目を入れたり、房になっている物は小房に分けます。
根菜類は、同じ大きさに切りそろえたり、なるべく同じ大きさの物を選びます。

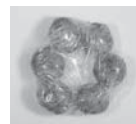
■材料に合ったアク抜きを

ほうれん草などは、加熱後すぐに水に取ります。なすやカリフラワーなどは、加熱前に薄い塩水や酢水にさらしてアク抜きをします。



■ラップでの包みかた

- ほうれん草などの葉菜
茎と葉を交互にして重ね、ラップでしっかりと包みます。
- ブロッコリーなどの果菜、花菜
小房に分け、重ならないようにし、ラップの上にすき間を作らないように並べて、ぴったりと包みます。
- じゃがいもなどの根菜を丸のまま
中央をあけてラップでぴったりと包みます。
加熱後は上下をひっくり返して3～5分ほどそのままおきます。
- アスパラガス
はかまを外し、穂先と根元を交互にし、包みます。



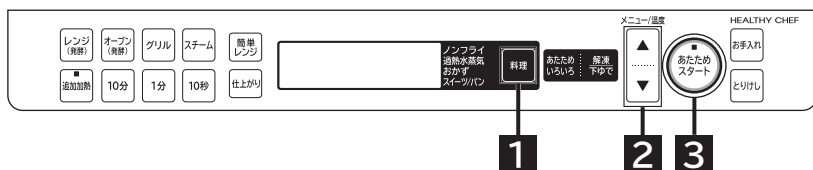
■仕上がり調節は

- さいの目切りや薄切りにした場合
仕上がり調節 **弱** に合わせます。
- にんじん、さつまいも
仕上がり調節 **弱** に合わせます。太い場合は仕上がり調節 **中** に合わせます。
- かぼちゃ
仕上がり調節 **強** に合わせます。
- アスパラガス
仕上がり調節 **やや強** に合わせます。

調理する(オートメニュー)

予熱をしないメニュー

レシピ集(→P.67~123)に記載のメニューのうち、予熱時間が記載されていないメニューの使いかたです。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- メニューに合った付属品と食品を入れ、ドアを閉める
- 給水が必要なメニューは給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1

料理 を押し、「ノンフライ」「過熱水蒸気」「おかず」または「スイーツ/パン」を選ぶ
料理 を押しごとに「ノンフライ」▶「過熱水蒸気」▶「おかず」▶「スイーツ/パン」の順に選べます。

2

メニュー/温度 を押して「メニュー番号」を選ぶ
 仕上がり調節を設定するとき(→P.17)

3

あたためスタート を押してスタートする

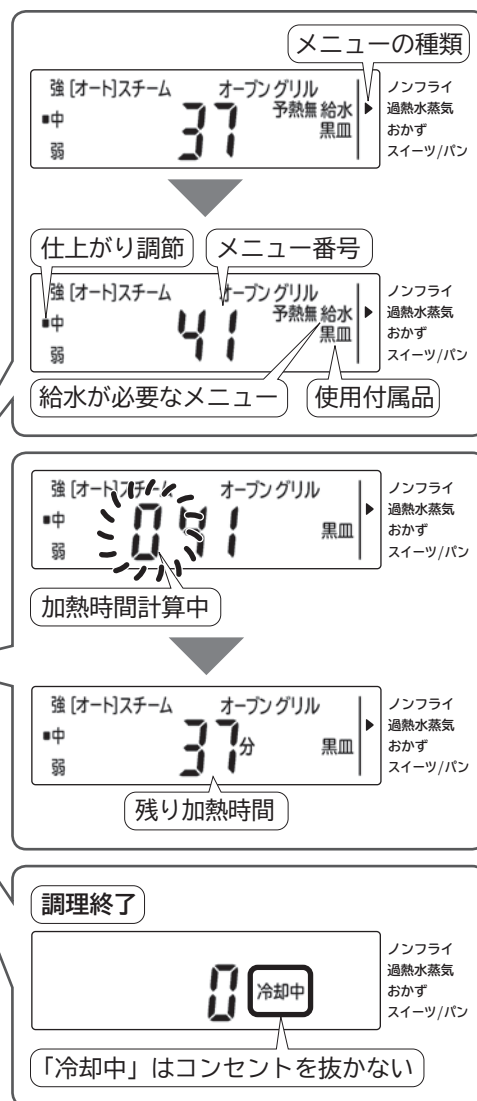
4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

- 給水タンク使用後はお手入れをします。(→P.57)
- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは **脱臭** で加熱します。(→P.15)

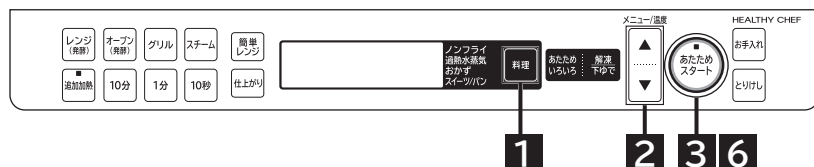
例: **41 塩づけ** の場合



調理する (オートメニュー)

予熱をするメニュー

レシピ集 (→P.67~123)に記載のメニューのうち、予熱時間が記載されているメニューの使いかたです。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- テーブルプレートを取り外し、ドアを閉める
- スチーム・過熱水蒸気を使うメニューは給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする
- 黒皿に食品をのせて用意しておく
手順**3**の予熱が終わったら加熱室に入れます。

1

料理 を4回押して「スイーツ／パン」を選ぶ
料理 を押すごとに「ノンフライ」▶「過熱水蒸気」▶「おかず」▶「スイーツ／パン」の順に選べます。

2

メニュー番号 を押して「メニュー番号」を選ぶ
仕上がり調節を設定するときは (→P.17)

3

あたためスタート を押して予熱する
予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています
予熱中に加熱室の様子を見たいときは **あたためスタート** を押すと点灯します。消灯させるときは、再度 **あたためスタート** を押してください。

4

予熱終了音が鳴ったら、ドアを開ける

5

食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める

6

あたためスタート を押してスタートする

7

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする (→P.57)

- 給水タンク使用後はお手入れをします。 (→P.57)
- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは **脱臭** で加熱します。 (→P.15)

注意

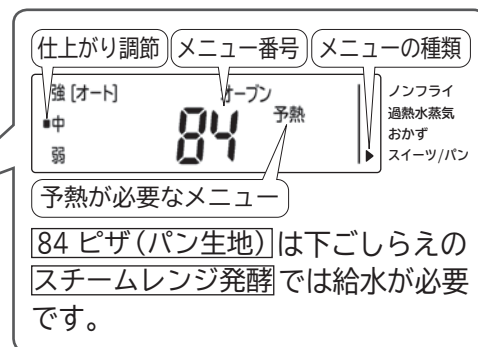


指示

黒皿の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う

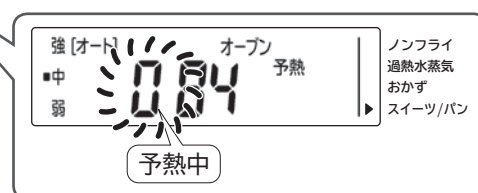
- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

例： **84 ピザ(パン生地)** の場合



予熱が必要なメニュー

84 ピザ(パン生地) は下ごしらえの **スチームレンジ発酵** では給水が必要です。



予熱中



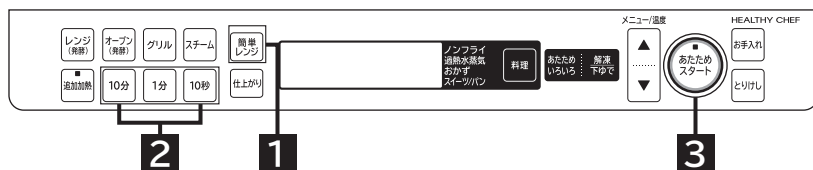
残り加熱時間

レンジ加熱する(手動調理)

簡単レンジ(600W、500W)

よく使う「レンジ」の「600W」「500W」が簡単に使えます。

- 「600W」「500W」以外の出力(「800W」「200W」「100W」)は「800W～100Wのレンジ加熱」(→P.44～46)を参照してください。
- コンビニ弁当やチルド食品など、パッケージに600W、500Wの指示がある食品のあたためができます。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1

「簡単レンジ」を押して「出力(W)」を選ぶ

- 「簡単レンジ」を押すごとに切りかわります。

レンジ600W◀▶レンジ500W

- 前回「簡単レンジ」で選んだ出力(W)を記憶しています。

2

「10分」「1分」「10秒」を押して「加熱時間」を選ぶ

加熱時間：10秒～19分50秒

3

「あたためスタート」を押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

使用付属品



テーブルプレート

黒皿を使わない



警告



禁止

生卵やゆで卵(殻つき・殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない

卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります

卵を加熱する場合は、溶きほぐしてから加熱する



生卵

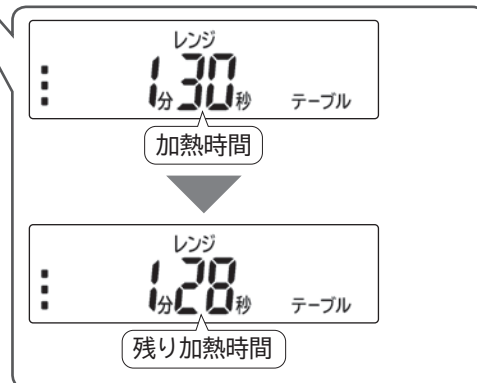
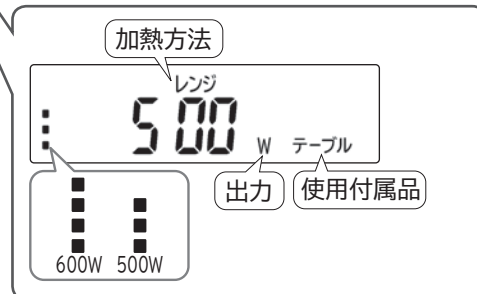


ゆで卵



黄身や目玉焼き

例：レンジ500Wで1分30秒加熱する場合

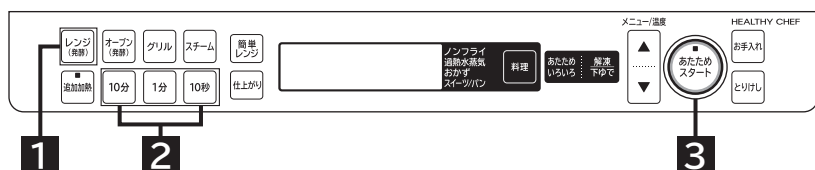


レンジ加熱する(手動調理)

800W~100Wのレンジ加熱

レンジの800W 600W 500W 200W 100Wから選びます。

- レンジ1000Wは手動調理では設定できません。
一部のオートメニューでのみ働きます。
- スチームレンジで加熱するときは「スチームを組み合わせる」(→P.51)を参照してください。
- スチームレンジ発酵で加熱するときは「スチームレンジ発酵」(→P.53)を参照してください。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備 食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

1 レンジ(発酵)を押して「出力(W)」を選ぶ
レンジ(発酵)を押すごとに以下の順に表示します。
レンジ800W▶レンジ600W▶レンジ500W▶
レンジ200W▶レンジ100W

2 10分 1分 10秒を押して「加熱時間」を選ぶ

3 あたためスタートを押してスタートする

4 終了音が鳴ったら、食品を取り出す
加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

使用付属品



テーブルプレート

黒皿を使わない



警告



禁止

生卵やゆで卵(殻つき・殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない

卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります

卵を加熱する場合は、溶きほぐしてから加熱する



生卵

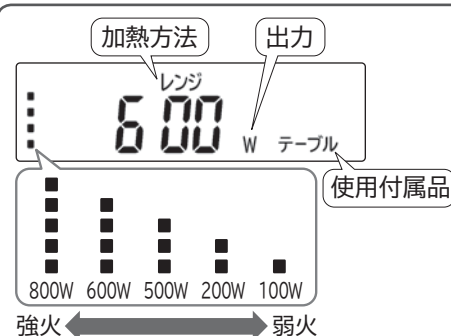


ゆで卵



黄身や目玉焼き

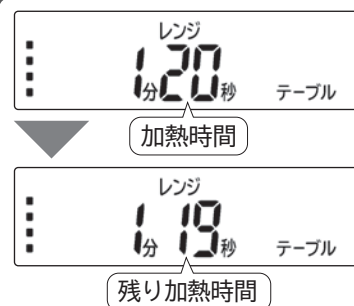
例: レンジ600Wで1分20秒加熱する場合



加熱時間

出力	加熱時間
800W	10秒~ 6分
600W 500W	10秒~ 19分50秒
200W 100W	10秒~ 90分

設定できる単位時間(→P.46)



加熱時間の決めかた

● 常温(約20℃)の食品の **レンジ 600W** の加熱時間の目安(100g当たり)

同じ分量でも食品の種類によって加熱時間は異なります。

食品の種類		生からの調理	あたため	食品の種類	生からの調理	あたため
野菜類	葉・果菜類 	1分～ 1分20秒	——	めん類 	——	50秒～ 1分10秒
	根 菜 	1分40秒～ 2分10秒	——	揚げ物 (フライ、コロッケなど) 	——	40秒～ 1分10秒
魚介類 		——	約1分10秒	汁物 (みそ汁・スープなど) 	——	40秒～ 1分10秒
肉 類 		——	1分～ 1分50秒	飲み物 (お酒・牛乳など) 	——	40秒～1分
ごはん類 		——	30～50秒	パン・まんじゅう 	——	20～40秒

● 食品の分量に比例した加熱時間にします。

分量が2倍の時は時間も2倍が目安です。

● 使う容器によっても違います。

容器の材質や大きさ、形状によっても加熱時間は多少違ってきます。

● 加熱前の食品温度によっても違います。

同じ食品でも、冷蔵室や冷凍室から出して使う場合は、時間がかかります。

常温(約20℃のとき)の加熱時間に対して、冷蔵は約1.3倍、冷凍は約2.3倍が目安です。

また、夏と冬では多少加熱時間が違います。

● **レンジ 500W** で加熱する場合は加熱時間を、約1.2倍にします。

(食品温度が常温(約20℃)のとき)

少量の食品(100g未満)を加熱する場合


レンジ 500W で加熱時間を20～50秒に設定し、様子を見ながら加熱します。特に小さく切ったにんじんなど野菜が少量(100g未満)のときに、乾燥したり、火花(スパーク)が出て焦げたりすることがあります。水を多めにふりかけてラップに包むか、皿などに広げひたるくらいの水を入れてラップでおおい、加熱します。

レンジ加熱する(手動調理)

800W～100Wのレンジ加熱(つづき)

はじけや飛び散りなどを防ぐ加熱のしかた

以下の物は、はじけや飛び散ることがあるので、調理の時に工夫します。

食品の種類と調理のコツ		
皮や殻つきの物	いか、えびなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面に切り目を入れる。 ●レンジ 200Wで控えめに加熱する。
	栗、ぎんなん 	<ul style="list-style-type: none"> ●殻に割り目を入れる。 ●ラップなどのおおいをする。
マッシュルーム 		半分に切る。
ひじき		<ul style="list-style-type: none"> ●ラップなどのおおいをする。 ●レンジ 200Wで控えめに加熱する。
100g未満のさいの目野菜(約1cm角)		<ul style="list-style-type: none"> ●水を多めにふりかける ●ラップなどのおおいをする。 ●レンジ 500Wで様子を見ながら加熱する。 
とろみのある物(シチュー・カレーなど)		<ul style="list-style-type: none"> ●加熱前によくかき混ぜる。 ●ラップなどのおおいをする。 <div style="display: flex; align-items: center;">  ▶  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">加熱前</p>

手動調理で設定できる単位時間

レンジ

出力	設定時間	単位時間
800W	10秒～6分	10秒
600W	10秒～19分50秒	10秒
500W		
200W	10秒～20分	10秒
100W	20分～90分	1分

オーブン/スチームオーブン

設定時間	単位時間
10秒～20分	10秒
20分～90分	1分

スチームレンジ発酵

設定時間	単位時間
10秒～20分	10秒
20分～90分	1分

スチームレンジ

設定時間	単位時間
10秒～19分50秒	10秒

グリル/スチームグリル

設定時間	単位時間
10秒～20分	10秒
20分～40分	1分

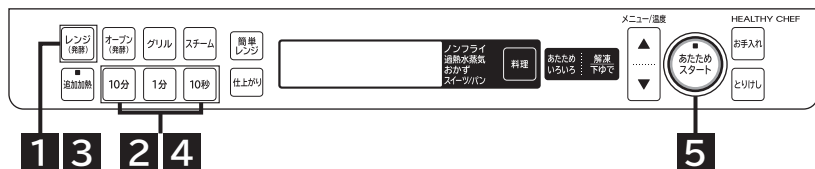
スチームオーブン発酵

設定時間	単位時間
10秒～20分	10秒
20分～90分	1分

リレー加熱(加熱途中で強い加熱から弱い加熱に下げる)

レンジの800W 600W 500Wから途中で自動的に200W 100Wにする加熱です。

●煮込み調理や炊飯などに使う加熱方法です。



使用付属品



黒皿を使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める

例:レンジ600Wで10分加熱後、レンジ200Wで30分加熱する場合

1

レンジ(発酵)を押し、「レンジ800W」「レンジ600W」または「レンジ500W」を選ぶ

●レンジを押すごとに以下の順に表示します。

レンジ800W▶レンジ600W▶レンジ500W▶
レンジ200W▶レンジ100W

●「レンジ200W」「レンジ100W」を選ぶと、リレー加熱はできません

加熱方法



2

10分 1分 10秒を押して「加熱時間」を選ぶ

3

レンジ(発酵)を押し、「レンジ200W」または「レンジ100W」を選ぶ

●レンジを押すごとに以下の順に表示します。

レンジ200W▶レンジ100W

加熱時間

出力	加熱時間
800W	10秒～ 6分
600W 500W	10秒～19分50秒

設定できる単位時間(→P.46)

4

10分 1分 10秒を押して「加熱時間」を選ぶ
加熱時間: 10秒～90分 設定できる単位時間(→P.46)

5

あたため スタートを押してスタートする

リレー 2 つ目



6

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

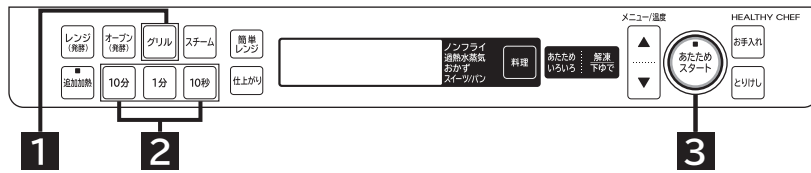
加熱スタート



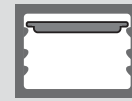
手順1の出力がスタートし、続いて手順3の出力がスタートします。

グリル加熱する(手動調理)

食品の上面に焼き色をつけながら焼きます。



使用付属品



黒皿 上段

テーブルプレート
を使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- テーブルプレートを取り外す
- 食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める

1

グリル を押して「グリル」を選ぶ

2

10分 1分 10秒 を押して「加熱時間」を選ぶ
加熱時間：10秒～40分 設定できる単位時間(→P.46)

3

あたためスタート を押してスタートする

4

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)
調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは**脱臭**で加熱します。(→P.15)

注意

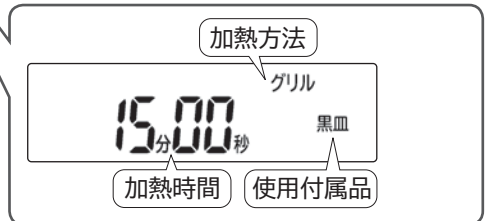


指示

黒皿の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う

- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

例:グリルで15分加熱する場合



グリルの上手な使いかた

焼ける食品

切り身の魚、トーストなど

- 焼きもち、内臓を取り除いていない丸身の魚はうまく焼けません。
- トーストはトースターで焼くより時間がかかります。

並べかた/焼きかた

途中で裏返す

- 切り身の魚などは、盛りつけたとき下になる面を上にして焼き、途中で裏返してさらに焼きます。黒皿の汚れや、身のくっつきが気になるときは、アルミホイルまたはオープンシートを敷いてください。
- トーストは焼き時間の $\frac{3}{4}$ が経過してから裏返し、さらに焼きます。(→P.115)

アルミホイル



■ 手動の**グリル**では、下面に焼き色はつきません。焼き色を両面につけたい場合は、途中で裏返してください。

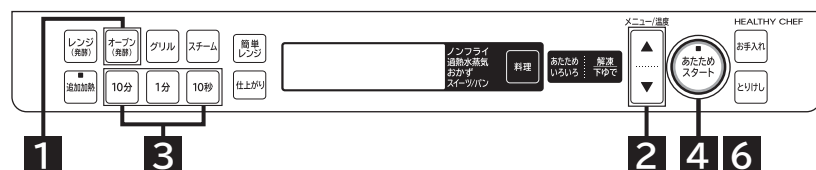
■ **グリル**加熱中に **▲ ▼** を押すと、1分単位で増減できます。焼き上がりの調整にお使いください。

- 加熱時間が40分でスタートした場合は増やせません。
- 残り時間が1分未満の場合は増減できません。

オーブン加熱する(手動調理)

予熱有

先に加熱室を予熱して「オーブン」で調理します。



使用付属品



黒皿 上・中・下段

テーブルプレートを使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- テーブルプレートを取り外し、ドアを閉める
 - 黒皿に食品をのせて用意しておく
- 手順4の予熱が終わったら加熱室に入れます。

1

- オーブン(発酵)**を押して「オーブン予熱有」を選ぶ
- 押すごとに「オーブン予熱有」◀▶「オーブン予熱無」が切りかわります。
 - 約2秒後に時間表示に切りかわりますが、そのまま手順2に進みます。

2

- メニュー温度**を押して「温度」を選ぶ
- 温度：100～210℃(10℃単位)、250℃
 - 250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃に切りかわります。
 - 加熱室が熱い場合、最大設定温度は210℃です。

3

- 10分 1分 10秒**を押して「加熱時間」を選ぶ
- 加熱時間：10秒～90分 設定できる単位時間(→P.46)

4

- あたためスタート**を押して予熱する
- 予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています。予熱中に加熱室の様子を見たいときは**あたためスタート**を押すと点灯します。消灯させるときは、再度**あたためスタート**を押してください。
 - 設定した温度になると予熱は終了します。最大予熱時間は35分です。予熱が終わってそのままにしておくと、約10分後に庫内灯が消えたまま選択した時間を加熱します。

5

- 予熱終了音が鳴ったら、ドアを開け、食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める
- 食品に合わせて皿受棚を使い分けます。

6

- あたためスタート**を押してスタートする

7

- 終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

調理後の加熱室の油污れや臭いが気になるときは**脱臭**で加熱します。(→P.15)

注意

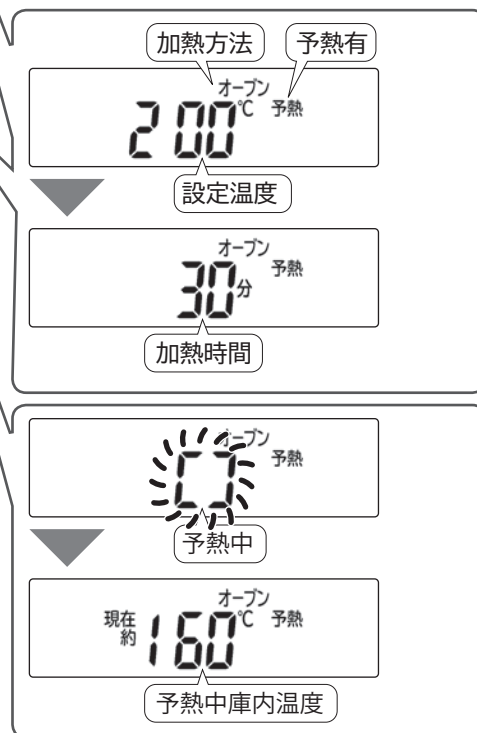


指示

黒皿の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う

- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください。開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

例:オーブン「予熱有」200℃で30分加熱する場合



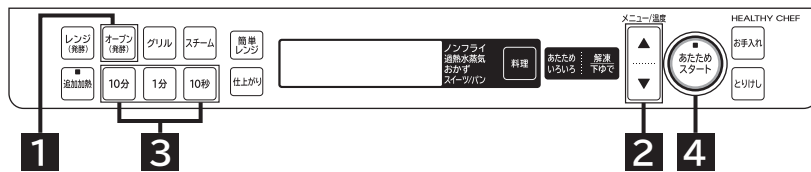
オーブンの上手な使いかた

食品の焼き色を調節するため、加熱途中に温度と加熱時間を変えることができます。(→P.50)

オーブン加熱する(手動調理)

予熱無

加熱室を予熱しないで「オーブン」で調理します。



使用付属品



黒皿 上・中・下段

テーブルプレート
を使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- テーブルプレートを取り外す
- 食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める
食品に合わせて皿受棚を使い分けます

1

- 「**オーブン**」を2回押して「オーブン予熱無」(「予熱無」表示あり)を選ぶ
- 押すごとに「オーブン予熱有」◀▶「オーブン予熱無」が切りかわります。
 - 約2秒後に時間表示に切りかわりますが、そのまま手順**2**に進みます。

2

- 「**温度**」を選ぶ
- 温度：100～210℃(10℃単位)、250℃
 - 250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃に切りかわります。
 - 加熱室が熱い場合、最大設定温度は210℃です。

3

- 「**加熱時間**」を選ぶ
加熱時間：10秒～90分 設定できる単位時間(→P.46)

4

- 「**スタート**」を押してスタートする

5

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは「**脱臭**」で加熱する。(→P.15)

注意

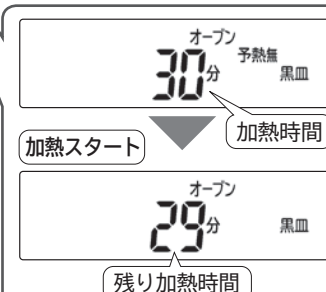
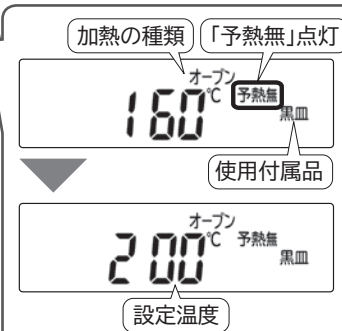


指示

黒皿の取り出しは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う

- 取り出した黒皿は、熱に弱い場所には置かないでください
開いたドアの上に置きます
- 子供や幼児が触れないように気をつけてください
- 破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください

例:オーブン「予熱無」200℃で
30分加熱する場合



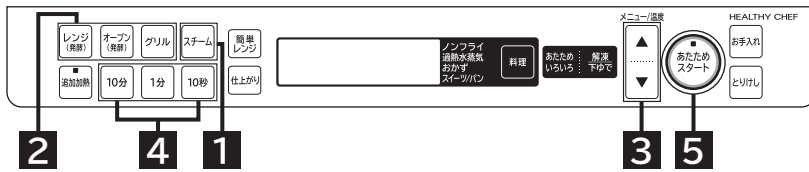
オーブンの上手な使いかた

食品の焼き色を調節するため、加熱途中で温度と加熱時間を変えることができます。

- 「**オーブン**」加熱中に「**オーブン**」を押すと、セットした温度が表示され、**温度**を押して温度を変えることができます。
約2秒後に時間表示に戻ります。
- 「**オーブン**」加熱中に「**加熱時間**」を押すと、1分単位で加熱時間の増減ができます。
加熱時間を90分でスタートした場合は増やせません。
残り時間が1分未満の場合は増減できません。

スチームを組み合わせる(手動調理)

レンジ加熱・オーブン加熱・グリル加熱にスチームを組み合わせてみます。



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする
- 食品と加熱方法に合った付属品を入れ、ドアを閉める
スチームオーブン予熱有のときは何も入れずにドアを閉めます。

1

スチームを押す

2

スチームレンジは**レンジ(発熱)**、スチームオーブンは**オーブン(発熱)**、スチームグリルは**グリル**を押して選ぶ
スチームオーブンは**オフ(発熱)**を押すごとに「予熱有」◀▶「予熱無」が切りかわります。

3

スチームオーブンは**メニュー/温度**を押して「温度」を選ぶ

4

10分 1分 10秒を押して「加熱時間」を選ぶ
加熱時間 設定できる単位時間(→P.46)

加熱方法	加熱時間
スチームレンジ	10秒～19分50秒
スチームオーブン	10秒～90分
スチームグリル	10秒～40分

5

あたためスタートを押してスタートする

スチームオーブン予熱有のときは、予熱終了音がなったらドアを開け、食品をのせた黒皿を皿受け棚にセットし、ドアを閉めて**あたためスタート**を押します。

6

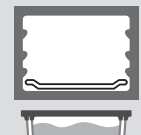
終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)

- 給水タンク使用後はお手入れをします。(→P.57)
- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは**脱臭**で加熱します。(→P.15)

●スチーム + レンジ

使用付属品



テーブルプレート
給水タンク 満水

黒皿を使わない



●スチーム + オーブン/グリル

使用付属品



黒皿 上・中・下段
給水タンク 満水

オーブンは
上・中・下段
グリルは上段のみ
テーブルプレート
を使わない



加熱内容

スチームレンジ

出力: 350W

スチームオーブン

- 予熱: 予熱有◀▶予熱無
- 温度: 100～210℃(10℃単位)、250℃

例: スチームレンジで10分加熱する場合

加熱方法

スチームレンジ

0秒

給水

テーブル

給水が必要なメニュー

使用付属品

スチームレンジ

10分00秒

給水

テーブル

加熱時間

オーブン・グリルの上手な使いかた

■スチームオーブン

- 予熱中に温度をかえることができます。(→P.50)
- 加熱途中に温度と加熱時間を変えることができます。(→P.50)

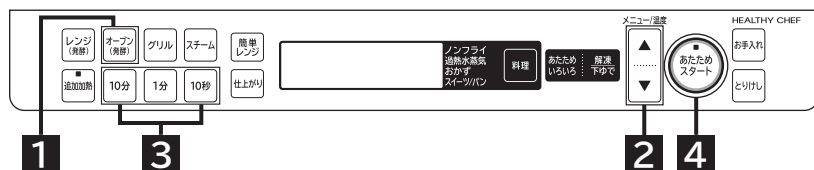
■スチームグリル

加熱途中に加熱時間を変えることができます。(→P.48)

発酵する(手動調理)

スチームオーブン発酵

パンの生地などの発酵をします。



使用付属品



テーブルプレート
を使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- テーブルプレートを取り外し、食品をのせた黒皿を皿受棚にセットし、ドアを閉める
- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1

- 「オープン(発酵)」を2回押して「オープン予熱無」(「予熱無」表示あり)を選ぶ
- 押すごとに「オープン予熱有」◀▶「オープン予熱無」が切りかわります。
 - 約2秒後に時間表示に切りかわりますが、そのまま手順**2**に進みます。

2

- 「メニュー/温度」を押して「発酵温度」を選ぶ
- 温度：30～45℃(5℃単位)
 - 「オープン予熱有」を選んでいると100℃未満は選べません。

3

- 「10分」「1分」「10秒」を押して「加熱時間」を選ぶ
加熱時間：10秒～90分 設定できる単位時間(→P.46)

4

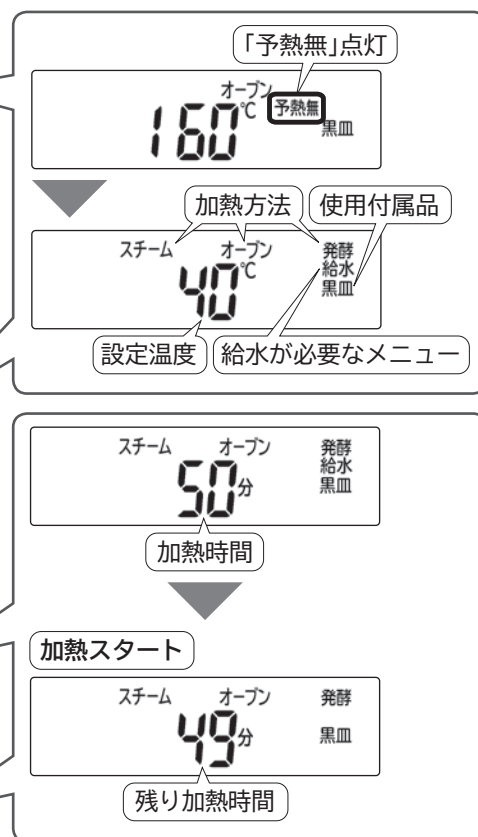
- 「あたためスタート」を押してスタートする

5

終了音が鳴ったら、食品を取り出す

加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)
給水タンク使用後はお手入れをする。(→P.57)

例:スチームオーブン発酵「予熱無」
40℃で50分加熱する場合

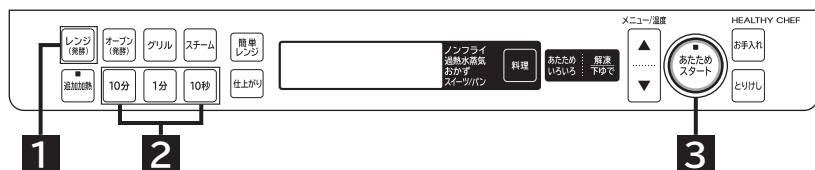


発酵時のコツ

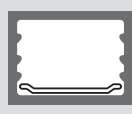
- 加熱室は冷ましてから
「オープン」「グリル」「脱臭」使用後で、加熱室が熱いとうまく仕上がりにません。

スチームレンジ発酵

300g程度の生地が発酵が手早くできます。



使用付属品



テーブルプレート
給水タンク 満水

黒皿を使わない



お知らせ ドアを開けると電源が入ります。

準備

- 食品をテーブルプレートの中央に置き、ドアを閉める
- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1

- レンジ (発酵)** を6回押して「スチームレンジ発酵」を選ぶ
- レンジ (発酵)** を押すごとに800W▶600W▶500W▶200W▶100W▶スチームレンジ発酵の順に選べます。
- 仕上がり調節を設定するときは(→P.17)

2

- 10分** **1分** **10秒** を押して「加熱時間」を選ぶ
加熱時間: 10秒~90分 設定できる単位時間(→P.46)

3

- あたため スタート** を押してスタートする

4

- 終了音が鳴ったら、食品を取り出す
加熱室が冷めてからお手入れをする(→P.57)
給水タンク使用後はお手入れをします。(→P.57)

注意



禁止

加熱室の温度が低いとき、上ヒーターが加熱する場合があります。ドア、キャビネット、加熱室とその他の周辺に触れないやけどの原因になります



禁止

黒皿、金属製容器を使わない
火花(スパーク)による故障・発火の原因になります
黒皿を使って2次発酵する場合は「スチームオープン発酵」で加熱してください

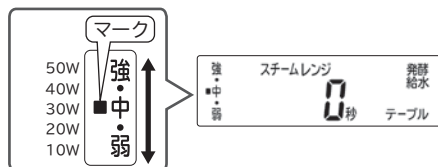
例:スチームレンジ 発酵 で10分加熱する場合

加熱方法



仕上がり調節の出力

仕上がり を押して仕上がり調節でお好みの出力を選べます。



スチームレンジ発酵のコツ

- 発酵時間と温度はメニューや一次発酵か二次発酵によっても異なります
本書レシピ集の各メニューに従ってください。

- 市販の料理ブックやお好みの料理の発酵は「スチームオープン発酵」で様子を見ながら行ってください。

■発酵温度の目安は

こねあげた生地(220g~300g)の温度が約25℃のとき、仕上がり調節[中]設定で10分加熱したときは、発酵終了時の生地の温度は約30℃になります。

- 本書レシピ集に記載のバターロール、山形食パンの一次発酵を「スチームレンジ発酵」で行う場合は

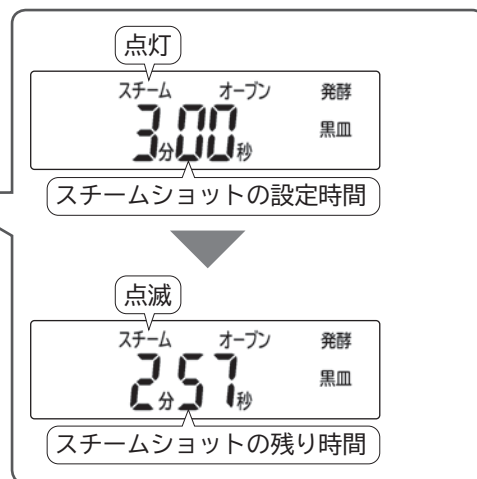
- 耐熱ガラスボウルにこね上げた生地を入れ、テーブルプレートに置き、「スチームレンジ発酵」仕上がり調節[中] [20~30分]で加熱します。2次発酵は「スチームオープン発酵」を使います。
- 簡単パン(→P.118)を参照し、ポリ袋(市販)を使ってこねることもできます。この場合は、袋のまま記載の発酵時間の少なめを目安にして発酵させます。

途中でスチームを入れる(スチームショット)(手動調理)

オーブン、グリル、スチームオープン、スチームグリル、スチームオープン発酵の加熱中に、好みのタイミングでスチームを追加できます。



例:スチームオープン発酵の加熱中にスチームショットを3分間入れる場合



準備

給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする

1

加熱途中でスチームを入りたいタイミングで「スチーム」を押し、スチーム時間を選ぶ

- 押すごとに切りかわります。(3分▶2分▶1分▶0秒)
- スチームショットを取り消す場合は、「0秒」を選びます。
- ボタンの押しかえはボタンを押した後、約5秒間受け付けます。
- スチームショット使用中は「スチーム」表示が点滅します。

追加加熱する(オートメニュー・手動調理)

オートメニューや手動調理で加熱後にもう少し熱くしたいとき、焼きたいときに、お好みで加熱を追加できます。

- 追加加熱の点滅中に操作できます。
- 追加加熱の点滅は調理終了後、約3分で消灯します。
- 続けて3回まで追加加熱できます。

準備

- 終了音が鳴ったら、食品を取り出す
- お好みで加熱を追加したい場合、加熱が十分な物を取り、付属品と残りの食品を加熱室内に戻し、ドアを閉める

1

追加加熱を押す

2

10分 1分 10秒 を押して「加熱時間」を選ぶ

3

あたためスタートを押してスタートする

追加加熱は様子を見ながら行う

加熱が十分になったら、とりけしを押して加熱を終了します。

4

- 終了音が鳴ったら、食品を取り出す
- 加熱が十分になったら、とりけしを押して追加加熱を終了する

3回目の追加加熱終了後は、追加加熱は点滅しません。

加熱時間

オートメニューはメニューによって異なります

加熱方法	加熱時間
レンジ	1～5分(1分単位)
	10秒～5分(10秒単位)
オープン グリル	10分(10分単位)
	1～10分(1分単位) 10秒～10分(10秒単位)

手動調理の加熱時間の目安

レンジ調理

次のページは「ごはん・お総菜のあたため」「冷凍食品の解凍あたため」

野菜下ゆで

- ラップの有無の「ー」は、ラップをしなくても良いことを示す。
- オートメニューで調理する場合、葉菜、果・花菜は「17 下ゆで葉・果菜」(→P.39、40)で、根菜は「18 下ゆで根菜」(→P.39、40)で加熱します。

メニュー名	調理のコツ	手動調理の目安 (レンジ600W)		ラップの有無
		分量	加熱時間	
葉菜	ほうれん草 小松菜・春菊	200g	2分～2分30秒	有
	白菜・もやし キャベツ			
果・花菜	カリフラワー ブロッコリー	200g	2分30秒～3分	有
	なす			
	アスパラガス			
	さやいんげん さやえんどう			
	とうもろこし	1本(300g)	5～6分	
	かぼちゃ	200g	3分～3分30秒	
根菜	にんじん さつまいも	200g	約4分	有
	里いも			
	ごぼう れんこん			
	じゃがいも 大根	150g	約4分	
		300g	6～7分	

生ものの解凍

メニュー名	分量	加熱時間 レンジ100W	ラップの有無
まぐろ(ブロック)	200g	4～6分	ー
いか(ロール)	100g	2～3分	ー
えび	10尾(約200g)	3～5分	ー
切り身魚	1切れ(約100g)	2～3分	ー
丸身魚	1尾(約200g)	4～8分	ー
魚の干物	1枚(約100g)	3～5分	ー
ひき肉	200g	5～7分	ー
薄切り肉	200g	4～6分	ー
鶏もも肉(骨なし)	250g	6～7分	ー
鶏もも肉(骨あり)	250g	7～8分	ー

ゆでて冷凍した野菜の解凍

メニュー名	分量	加熱時間 レンジ600W	ラップの有無
ミックスベジタブル	200g	1分50秒～2分10秒	ー
さやいんげん	200g	約2分	ー

- 魚はうろこやえら、内臓を取り除き、塩水で洗って水けをふき取り、1尾ずつ冷凍します。
- ラップやふたなどのおおいを外し、発泡スチロール製のトレーにのせて加熱します。
- 加熱後3～5分放置して自然解凍します。

冷凍食品の解凍あたため

メニュー名	分量	加熱時間 レンジ600W	ラップの有無
冷凍ごはん(2～3cm厚さのかたまり)	1杯分(150g)	2分～2分40秒	有
冷凍おにぎり(かたまり)	1個(150g)	2分～2分40秒	有
冷凍ピラフ(パラパラの物)	1人分(250g)	3分20秒～4分	有
冷凍スパゲッティ	1人分(250g)	3分20秒～4分	有
冷凍ハンバーグ	1個(100g)	2分30秒～3分	有
冷凍フライ	2～4個(100g)	1分50秒～2分	ー
冷凍シューマイ	12個(170g)	3分～4分20秒	有
冷凍肉だんご(甘酢あんかけ)	1袋(200g)	2分～3分20秒	有
冷凍カレー・シチュー	1人分(200g)	3分50秒～4分	有
冷凍ミックスベジタブル	200g	2分～2分40秒	有
冷凍さやいんげん	200g	2分40秒～3分	有
冷凍枝豆・かぼちゃ	200g	2分～3分20秒	有
冷凍スイートコーン	1本(400g)	6分～7分20秒	有
冷凍あんまん・肉まん	各1個(80g)	50秒～1分20秒	有

- ミックスベジタブルや枝豆は、水にくぐらせて皿に広げて加熱します。少量(100g未満)をラップに包んで加熱すると、火花(スパーク)が発生して食品が焦げたり、乾燥することがあります。水を多めにふりかけてラップに包むか、皿などに広げ、ひたるくらいの水を入れてラップでおおい、加熱します。(「少量の食品(100g未満)を加熱する場合」(→P.45)参照)
- 市販の冷凍食品(フライやコロッケなど)を加熱するときは、食品メーカーが指示するトレーや容器に入れて、テーブルプレートの中央に寄せて置きます。加熱時間は、食品メーカーが表示している「レンジ600W」または「レンジ500W」の時間を目安にして、加熱します。

手動調理の加熱時間の目安(つづき)

レンジ調理(つづき)

ごはん・お総菜のあたため

焼き魚や煮魚、カレーやシチューのあたためは、加熱中に飛び散ることがあるのでラップをします。

メニュー名	分量	加熱時間 レンジ[600W]	ラップ の有無
ごはん	1杯(150g)	50秒～1分	－
おにぎり	1個(150g)	約1分	－
チャーハン・ピラフ	1人分(各250g)	約1分50秒	－
スパゲッティ・焼きそば	1人分(各250g)	約2分40秒	－
焼き魚	1人分(100g)	約1分	有
ハンバーグ	1個(100g)	約1分	－
フライ	2～4個(100g)	40～50秒	－
コロッケ	2個(150g)	50秒～1分	－
野菜のいため物	1人分(200g)	約1分50秒	－
ハ宝菜	1人分(300g)	約2分40秒	－
野菜の煮物	1人分(200g)	1分50秒～2分	－
煮魚	1切れ(100g)	約50秒	有
シューマイ	1人分(200g)	約1分50秒	－
みそ汁・コンソメスープ	1人分(150g)	1分～1分50秒	－
カレー・シチュー	1人分(各200g)	約1分50秒	有
ポタージュスープ	1人分(150g)	1分40秒～2分	－
牛乳	1杯(200mL)	約1分40秒	－
コーヒー	1杯(150mL)	約1分10秒	－
お酒	1本(180mL)	50秒～1分	－
ハンバーガー	1個(100g)	30～40秒	－
ホットドッグ	1本(80g)	20～30秒	－
バターロール	2個(80g)	約20秒	－
あんまん・肉まん	各1個(80g)	30～40秒	有
まんじゅう	2個(100g)	20～30秒	－
コンビニ弁当	1個(500g)	1分40秒～2分	－

スチームレンジ調理

ごはん・お総菜のあたため、冷凍食品の解凍あたため

しっとりふっくらあたためたい物や、かたくなりやすいお総菜をあたためます。

メニュー名	分量	加熱時間 スチームレンジ	ラップ の有無
ごはん	1杯(150g)	2分～2分30秒	－
シューマイ	12個(170g)	2分30秒～3分	－
肉まん	1個(100g)	1分30秒～2分	－
焼きそば	1人分(250g)	3～4分	－
まんじゅう	1個(80g)	50秒～1分20秒	－
ハンバーグ	1個(100g)	2分～2分30秒	－
うなぎのかば焼き	1串(120g)	2分～2分30秒	－
焼き魚	1人分(100g)	2分～2分30秒	－
煮魚	1切れ(100g)	2分～2分30秒	－
ハンバーガー	1個(100g)	1分30秒～2分	－
ホットドッグ	1本(80g)	1分～1分30秒	－
冷凍シューマイ	15個(240g)	7～9分	－
冷凍肉まん	1個(100g)	2～3分	－
冷凍焼きおにぎり	2個(100g)	3～4分	－
冷凍肉だんご	1袋(100g)	3～4分	－

- あんまん、肉まんのあたためは、底の紙を取り、サッと水にくぐらせてから、ゆとりをもってラップで包み、皿にのせて加熱します。
- パンやまんじゅうのあたためは、時間がたつとかたくなるので、食べる直前に加熱します。

オーブン・グリル調理

代表メニューのみ記載しています。
手動で調理をするときは、類似したメニューを参照してください。

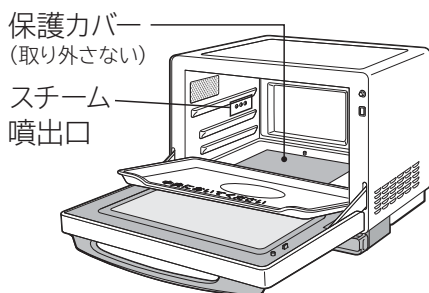
メニュー名	分量	黒皿/皿受棚	温度	加熱時間		記載 ページ
				予熱有	予熱無	
焼き物 ハンバーグ	4個	黒皿・上段	250℃	22～28分	28～34分	69
焼き魚 塩だけ	4切れ	黒皿・中段	スチーム グリル	－	29～39分	73
グラタン マカロニグラタン	4皿	黒皿・上段	180℃	26～32分	30～36分	77
ケーキ スポンジケーキ (デコレーションケーキ)	直径15cm	黒皿・下段	150℃	34～38分	40～45分	106
	直径18cm			40～46分	40～50分	
	直径21cm			48～54分	50～60分	
	シフォンケーキ(プレーン)		160℃	38～48分	40～50分	108
パン パウンドケーキ(プレーン)	19x8.5x6cm		160℃	－	50～55分	109
	バターロール(ロールパン)		170℃	15～20分	－	116
	フランスパン (バタール・クーベ)		200℃	29～36分	－	119
	簡単パン		180℃	19～24分	24～28分	118
ピザ ピザ(パン生地)	黒皿1枚	黒皿・中段	200℃	16～24分	－	115

- テーブルプレートを取り外し黒皿を皿受棚に入れて使用します。
- 作りかたは、記載ページを参照してください。
- 焼きむらが気になるときは、加熱途中で食品の前後を入れかえたり、黒皿の前後を入れかえます。入れかえるタイミングは、加熱時間の $\frac{2}{3}$ ～ $\frac{3}{4}$ が経過してからにしてください。
- 市販の料理ブックのオーブン調理や市販の生地を使うときは、レシピ集の類似したメニューの温度と時間を参照して、手動調理で様子を見ながら焼いてください。
- 焼き魚類は、焼き時間の $\frac{3}{4}$ を経過してから裏返しをしてさらに焼きます。
- 黒皿の汚れが気になるときは、オーブンシートまたはアルミホイルを敷きます。

お手入れする(水滴や汚れをとる)

本体

お手入れは**すぐにこまめ**にがポイントです。



外側・ドア前面

柔らかい布でふき取ります

- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤をつけた布でふき取り、その後必ず、かたく絞ったぬれがきんで洗剤をよくふき取ります。
- スポンジたわしのかたい面でこすらないでください。

加熱室内壁・ドア内側・保護カバー

かたく絞ったぬれがきんでふきます

- 加熱室内についた水滴はかたく絞ったぬれがきんでふき取ります。
- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤をつけた布でふき取り、その後かたく絞ったぬれがきんで洗剤をよくふき取ります。
- ドア内側ははめ合い部にすき間があるため、飲み物や汁物をこぼさないように注意してください。
- 保護カバーは押したり、強くこすったりしないでください。破損、割れ、欠けのおそれがあります。
- 内壁にシミが残りますが性能上問題ありません。
- 加熱室内に食品くずや煮汁などが付いたまま使い続けると壁面に汚れがこびりついて落ちなくなります。こまめにお手入れを行ってください。

スチーム噴出口

かたく絞ったぬれがきんでふきます

- スチーム使用後は白いあとが残ることがあります。かたく絞ったぬれがきんでこまめにふき取ります。
- 酸性・アルカリ性の洗剤を使うと、さびることがあります。

つゆ受けカバー

- お手入れの際は本体から取り外し、台所用中性洗剤をつけたスポンジで水洗いします。
- つゆ受けカバーの外しかた「つゆ受けカバーの使いかた」(→P.23)
- お手入れ後は水けを十分にふき取ります。

警告



禁止

保護カバーは取り外さない
けが・故障の原因になります
保護カバーは機械室内部の回転機構部を保護するためのカバーです

注意



禁止

加熱室内壁、ドアガラスに食品くずや油分、汁をつけたままにしない
火花(スパーク)が出たり、さびや悪臭・破損・発煙・火災の原因になります
加熱室内は塗装コート処理がしてあります
傷つきやすいので、たわしなどかたい物でこすらないでください



禁止

キャビネットやドア、操作パネル、加熱室内に水をかけない
感電、故障の原因になります

テーブルプレート・黒皿・給水タンク

台所用中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落とし、水洗いして水けを十分にふき取ります。

- テーブルプレートの落ちにくい汚れは市販のクリームクレンザー(研磨剤入り)をつけて、その部分をこすって洗い流します。
- 黒皿をお酢や重曹などの酸性やアルカリ性の水溶液に浸しておくとも表面が白化する場合があります。
- 給水タンクは食器洗い乾燥機、食器乾燥機、食器洗い機には入れないでください。給水タンクの変形、破損の原因になります。

お願い (加熱室内壁・ドア内側・テーブルプレート)

次のものは塗装がはげたり、傷付いたりして汚れが落ちにくくなるため使わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール
- オーブンクリーナー、クレンザー、漂白剤
- 住宅・家具用合成洗剤、強酸性や強アルカリ性の洗剤
- 可燃性ガス(LPGなど)入りスプレー洗剤
- スポンジたわしのかたい部分、研磨剤入りのナイロンたわし

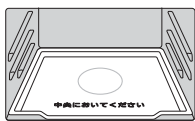
お手入れする(つづき)

清掃(加熱室の汚れをとる) 清掃

スチームを発生させ、加熱室内の汚れをふき取りやすくします。

準備

テーブルプレートをセットしてドアを閉める



1

液晶表示部に「0」が表示されていることを確認し、給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする
給水タンクの使いかた(→P.23)

2

お手入れを押し、
清掃を選ぶ



3

あたためスタートを押してスタートする

4

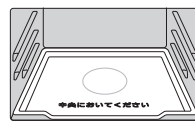
- 終了音が鳴り、加熱室が冷めてから汚れをふき取ります。
- 加熱室の清掃終了後には、「水抜き」を行います。

水抜き(本体に残った水を抜く) 水抜き

スチームまたは過熱水蒸気調理の終了後には、パイプの水抜きを行ってください。

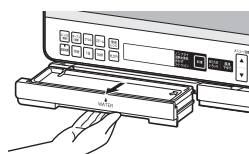
準備

テーブルプレートをセットしてドアを閉める



1

液晶表示部に「0」が表示されていることを確認し、給水タンクを本体から引き抜く



2

お手入れを2回押し、
水抜きを選ぶ



3

あたためスタートを押してスタートする

4

- 終了音が鳴り、加熱室が冷めてから水滴をふき取ります。
- 給水タンクを空にして本体にセットします。

脱臭(加熱室の臭いをとる) 脱臭

加熱室の臭いの原因を焼き切って脱臭します。

- 窓を開けるか換気扇を回してください。加熱室内の臭いが気になるときに行ってください。「空焼き(脱臭)をする」(→P.15)

⚠ 注意



禁止

清掃 水抜き の加熱中や終了後、顔などを近づけて、ドアを開けない
やけど・けがの原因になります
加熱終了後も一部スチームが出ていることや、お湯が飛び出すことがあります



禁止

テーブルプレートに油や食品くず、汁をつけたままにしない
火花(スパーク)が出たり、さびや悪臭・破損・発煙・火災の原因になります



禁止

清掃 水抜き の中断や、終了後は加熱室側面のスチーム噴出口には触れない
スチーム噴出口の近傍は熱くなっており、やけどの原因になります
加熱室が熱くなくても、スチーム噴出口やネジ部が高温になっていることがあります



禁止

テーブルプレートに衝撃を加えない
けが・破損の原因になります

うまく仕上がらないとき

こんなときは		確認してください／直しかた
① うまく仕上がらない	オートメニューのとき、料理が加熱不足や加熱し過ぎになる	<ul style="list-style-type: none"> ●食品を中央に置いてください。 ●重量センサーの0点調整値がずれている場合があります。(→P.18) ●仕上がり調節が正しく設定されているか確認してください。セットされている目盛を確認してください。(→P.17)
	料理のでき具合が悪い	●調理の手順、ラップのかけかた、食品の分量、付属品、容器の使いかたなどは正しいですか。本書で、もう一度確認してください。
	市販の料理ブックのオーブン調理や市販の生地を使うと上手にできないことがある	このレシピ集の類似したメニューの温度と時間を参照して、手動調理で様子を見ながら加熱してください。(→P.56)
	スチームメニューの食品の仕上がりが悪い	給水タンクに水を入れ忘れて、液晶表示部に「給水」表示が点滅していませんか。水を補給して、給水タンクを本体にしっかりセットしてください。約1～2分後に「給水」表示が消灯します。補給してもオートメニューではスチーム発生期間を過ぎると「給水」表示が消灯しない場合があります。
② ごはんのあたため	ごはんがあたたまらない 仕上がりにむらがみられる	<ul style="list-style-type: none"> ●重量センサーの0点調整値がずれている場合があります。(→P.18) ●プラスチック製の容器に入れて、加熱していませんか。陶器・磁器（茶わんなど）に入れて加熱してください。 ●ごはんの分量（重量）に合った大きさ、重さの容器（茶わんなど）に入れて加熱します。 ●2～4杯を同時にあたためるときは、同じ分量、同じ大きさの容器に入れ、テーブルプレートの中央に寄せて置き、加熱します。 ●ごはんがかたまりになっていませんか。かたまりになっていると中まであたまらなくなります。加熱前にごはんをかるくほぐします。
	ごはんが熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●ごはんの分量（重量）に対して、重過ぎる容器を使っていませんか。 ●1おかずあたため仕上がり調節やや弱で加熱してください。
	7スチームあたため で ごはんがうまくあたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクに満水ラインまで水を入れてから加熱します。 ●容器（茶わんなど）に入れてラップなどのおおいをしないで加熱します。
	ごはんがぱさつく	<ul style="list-style-type: none"> ●7スチームあたためを使うか、1おかずあたため仕上がり調節やや弱で加熱するときは加熱前に霧を吹いてから加熱すると、しっとり仕上がります。 ●長期間保存した物は乾燥や冷凍焼けしてうまく仕上がりにません。
	5解凍あたため で冷凍 ごはんがあたたまらない 仕上がりにむらがみられる	<ul style="list-style-type: none"> ●容器（平皿）にのせて加熱します。容器（平皿）を使わないでラップに包んだままの状態に加熱すると、あたまりません。また、プラスチック製の容器に入れて、加熱していませんか。加熱不足でむらのある仕上がりになります。3冷凍ごはんで加熱してください。 ●使う容器（平皿）の大きさは、冷凍ごはんの分量（重量）に合った大きさ、重さの物を使います。 ●ごはんを冷凍するときは、ラップでぴったり密封します。1杯分、1人分（約150g）に分け、厚みは2～3cmの四角形に作ります。(→P.31) ●2～4杯分（1個約150g）を同時にあたためるときは、同じ分量、同じ大きさの容器に入れ、テーブルプレートの中央に寄せて置き、加熱します。
	5解凍あたため で冷凍 ごはんが熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●ごはんの分量（重量）に対して、重過ぎる容器を使っていませんか。(→P.16) ●溶けかけていませんか。冷凍室から取り出して、すぐに加熱します。 ●長期間保存した物は乾燥や冷凍焼けしてうまく仕上がりにません。
	3冷凍ごはん で冷凍 ごはんが熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●陶器、磁器（茶わんなど）の容器に入れて加熱していませんか。ラップに包んだ冷凍ごはんをテーブルプレートの中央に直接置いて加熱してください。 ●溶けかけていませんか。冷凍室から取り出して、すぐに加熱します。 ●長期間保存した物は乾燥や冷凍焼けしてうまく仕上がりにません。







うまく仕上がらないとき(つづき)

こんなときは		確認してください／直しかた
3 解凍	解凍不足でかたい	<ul style="list-style-type: none"> ●半解凍（7～8分目解凍）状態に仕上げます。加熱後3～5分放置して自然解凍をすると、きれいに解凍されます。 ●脂身が上になっていませんか。かたまり肉に赤身と脂身があるときは、赤身を上にしてください。 ●食品（肉や刺身等）や使用用途（解凍後すぐ調理する場合か、生で食べる場合）によってオートメニューを使い分けます。 ●テーブルプレートの中央に置いて加熱します
	食品が煮えた	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクに水を入れてから加熱しましたか。スチームが出ない状態で加熱すると部分的に解凍し過ぎになることがあります。 ●皿などの上にのせて加熱していませんか。発泡スチロール製のトレーにのせて加熱します。 ●食品の厚みや形が不均一だと、細い部分やうすい部分が煮えやすくなります。 ●冷凍するときは、食品の厚みを2～3cm以下にそろえてください。 ●解凍するときは、ラップなどの包装は外してください。 ●同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類の物で、同じ大きさの物にしてください。
4 お総菜のあたため	食品をあたためても熱くない	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチック製の容器に入れて加熱していませんか。仕上がり調節 「やや強」か「強」 に合わせるか、陶器・磁器（茶わんなど）に入れて仕上がり調節 「中」 に合わせて加熱してください。食品の分量（重量）に合った大きさ、重さの容器に入れて加熱します。（→P.16） ●食品が、金属容器かアルミホイルでおおわれていると加熱されません。 ●テーブルプレートの中央に置いて、加熱してください。 ●食品の種類や保存状態（常温、冷蔵、冷凍）によってオートメニューや「仕上がり調節」を使い分けます。（→P.17、26）
	食品をあためると熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●食品の分量（重量）に対して、大きい（重い）容器を使っていますか。食品の分量（重量）に合った重さの容器を使ってください。 ●あたためる食品の量が少な過ぎませんか。100g以上にしてください。 ●オートメニューでぬるかった物を、オートメニューで追加加熱をしていませんか。 「レンジ」600W または 「レンジ」500W で様子を見ながら、追加加熱をしてください。 ●冷めかけた食品をオートメニューで加熱していませんか。 「レンジ」600W または 「レンジ」500W で様子を見ながら加熱してください。
	揚げ物が熱くなり過ぎる	はじけや飛び散る恐れがある食品は、ラップなどでおおいをし、仕上がり調節を 「やや弱」か「弱」 に合わせて加熱してください。 それ以外の食品はラップなどのおおいを取り、 「中」 または 「やや弱」 で加熱します。
	カレーやシチューがあたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●とろみがある物はラップなどでおおいをして仕上がり調節を 「やや強」か「強」 で加熱します。（→P.27） ●加熱前後で、よくかき混ぜます。
	冷凍保存した食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●「5解凍あたため」 で加熱します。（→P.30、31） ●プラスチック製の容器に入れたり、容器を使わずに食品だけで加熱していませんか。仕上がり調節 「やや強」か「強」 に合わせるか、食品の分量（重量）に合った大きさ、重さの容器に入れて加熱してください。 ●テーブルプレートの中央に置いて、加熱してください。
	市販の冷凍食品をあたためたときに仕上がりにむらが見られる	<ul style="list-style-type: none"> ●冷凍食品メーカーが表示している 「レンジ」600W または 「レンジ」500W の時間を目安にして、若干多めに加熱します。 ●テーブルプレートの中央に置いてあたためり加減を見ながら加熱し、むらがある場合は加熱途中で食品の前後を入れかえて加熱します。 ●仕上がりがぬるかったときは、「レンジ」600W または 「レンジ」500W で様子を見ながら、追加加熱をしてください。
5 牛乳のあたため	牛乳が熱くなり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●牛乳の分量（重量）は少なくありませんか。容器の大きさ（重量）に対して半分以下の量のときは 「レンジ」500W であたためり加減を見ながら加熱してください。 ●冷めかけた牛乳を加熱していませんか。 ●メニューを間違えていませんか。「1おかずあたため」 で加熱すると熱くなり過ぎます。

こんなときは		確認してください／直しかた	
5 牛乳のあたため(ご乳)	牛乳がぬるい	●牛乳の分量(重量)に対して、かるい容器を使っていませんか。 ●市販のパックのままで加熱していませんか。マグカップやコップにあけて加熱してください。 ●設定されている仕上がり調節の目盛を確認してください。 ●テーブルプレートの中央に置いて加熱してください。2～4杯を一度に加熱するときは、分量(重量)を同じくらいにして、テーブルプレートの中央に寄せて並べ、加熱します。	
	野菜がうまくゆであがらない	●野菜はラップで包んだままの状態、テーブルプレートの中央に直接置いて加熱します。 ●ラップの重なっている部分を上にして加熱するとうまくゆであがりません。 ●ほうれん草などの葉菜は100～500g、じゃがいもなどの根菜は100～1000gまで加熱できます。分量が多過ぎたり、少な過ぎるとうまくできません。 ●メニューを間違えていませんか。 <u>「1おかずあたため」</u> で加熱するとうまく仕上がりにません。葉菜・果菜は <u>「17下ゆで葉・果菜」</u> で、根菜は <u>「18下ゆで根菜」</u> で加熱してください。(→P.39、40)	
6 野菜	ほうれん草など葉菜が乾燥したり、むらがある	●ほうれん草などの葉菜は、洗った後の水けを切らない状態で、ラップで包みます。 ●ラップで包むときは、茎と葉を交互にして重ね、しっかり包みます。ラップの包みかたがゆるかったり、広げた状態で包むと、うまくできません。	
	ブロッコリーなどの果菜類を包むときは	ブロッコリーなどの果菜類は小房に分けて、ラップに重ならないようにすき間を作らないようにして並べ、ぴったりと包みます。	
	じゃがいもやにんじんなどの根菜が加熱し過ぎになった	●ラップの重なった方を下にしてテーブルプレートの中央に置いて加熱します。 ●100g未満のオートメニューはできません。 <u>「レンジ 500W」</u> で様子を見ながら加熱してください。	
	じゃがいもが加熱不足になった	加熱後ラップを外さないで、すぐに上下を返して3～5分程度そのまま置いて、蒸らします。	
7 パン	トースト 焼き色がつかない	トーストはトースターで焼くよりも時間がかかります。 <u>「オーブン」</u> <u>「予熱無」</u> で様子を見ながら加熱します。(→P.50)	
	バターロール ふくらみが悪い	●生地の発酵は十分でしたか。発酵途中で生地の表面が乾いているときはスチームショットで水分を補ってください。(→P.54) ●成形するとき生地をいじめていませんか。生地はていねいに扱ってください。	
	バターロール 焼き色にむらがある	生地が大きさが異なると焼いたときにむらになります。	
8 スイーツ	スポンジケーキ	ケーキのふくらみが悪い	●卵はしっかりと泡立てましたか。ハンドミキサーや泡立て器の先から落ちる泡で「の」の字が書けるくらい、しっかりと泡立ててください。(→P.106) ●粉を加えた後やバターを加えた後に、混ぜ過ぎていませんか。
		いくら泡立てても泡立ちが悪い	●泡立てるときのボウルや泡立て器に、水分や油がついていると泡立ちが悪くなります。 ●卵は新鮮な物を使ってください。
		きめがあらく、粉がダマになって残る	●小麦粉はよくふるいながら入れましたか。 ●小麦粉を加えてから、粉がなじむまでしっかり混ぜてください。
		ケーキがうまく焼けない	●手動調理で焼く場合の温度と時間は、「手動調理の加熱時間の目安」(→P.56)を参照して焼いてください。 ●分量に合った大きさの型で焼いてください。
	クッキー	焼き色にむらがある	生地のおおきさや厚みはそろえてください。
	シュークリーム	ふくらみが悪い	●分量は正しく計りましたか。 ●シュークリームの作りかた(→P.113)を参照し、作りかた②のバターと水の加熱のとき、十分に沸とうさせてください。 ●給水タンクに水を入れてから加熱してください。
大きさにむらがある		生地を同じ大きさに絞り出しましたか。量が異なると焼き上がったときにむらになります。	

こんなときは		確認してください／直しかた
⑨ その他	もちは焼けるか	焼きもちは、ヒーターが遠いため上手に焼けません。
	トーストは焼けるか	焼けます(→P.115)。トースターで焼くよりも時間がかかります。
	丸身の魚は焼けるか	内臓を取り除いていない物は上手に焼けません。

お困りのとき

現 象		原 因
① 動作しない	電源が入らない ボタンを押しても受け 付けない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか。 ●配電盤のヒューズ、またはブレーカーが切れていませんか。 ●液晶表示部に「」が表示されていますか。表示がない場合ドアを開閉してください。(待機時消費電力オフ機能が働いています。)(→P.14) ●ドアはきちんと閉まっていますか。 ●ドアを開け閉めし直しても正常になりませんか。 ●専用ブレーカーを切り、入れ直してドアを開閉しても正常になりませんか。
	加熱中に液晶表示部の表示が消え、本体の運転が停止し、電源が入らない	排気口や吸気口がふさがれたまま、加熱をしていませんか。 本体の温度が異常に高くなると、自動で電源が切れます。 本体が冷めてから、据え付けを確認し(→P.13)、排気口や吸気口をふさいでいる物を取り除き、電源を入れてください。
	食品がまったくあたたまらない	 を押し液晶表示部に「  」と「  」だけが表示されていませんか。 店頭用の「デモモード」のため加熱できません。解除してください。(→P.63)
	スチームが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水タンクに水が入っていますか。 ●室温が低くありませんか。5℃以下の環境ではスチームが出にくくなることがあります。 ●上記を確認しても正常にならない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。(→P.125)
② 音	電源プラグを差し込むとわずかに「ジー」音がする	電子部品(フィルムコンデンサ)の振動音です。異常ではありません。
	加熱中「カチ、カチ」や「ジージー」と音がする	マイコンがレンジやヒーターなどの切りかえをするときのスイッチ音、インバータの作動音です。異常ではありません。
	レンジ加熱のとき「パチン」と音がする	ドアと加熱室の接触面に付着していた水滴がはじける音です。異常ではありません。
	オーブン、グリル加熱のとき「ポコッ」と音がする	高温のため、加熱室が膨張する音がすることがありますが、故障ではありません。
	スチーム使用中に音がする	給水タンクから水を吸い込むときに空気をかむ音です。異常ではありません。
	調理終了後、しばらくすると「カチ」と音がする	調理終了後にドアを閉めてから10分過ぎたときに働く待機電力をオフするスイッチの音です。異常ではありません。
終了音や操作音の音色が切りかわったり、無音になった		ドアを開閉して表示部に「  」を表示させてから  を3秒以上押すと終了音や操作音などの報知音の音色が変わります。「メロディー音」、「電子音」、「無音」の切りかえができます。(→P.14)















マークがあるものはホームページからサンプル音を確認できます。スマートフォンやタブレット端末で右記のコードを読み取り、画面の案内に従って操作してください。



読み取れない場合は以下のURLを入力します。

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/range/manual_movie/sound/2019/rw.html













	現 象	原 因
② 音(つづき)	電源プラグを差し込むとき「カチッ」と音がしたり、火花（スパーク）が出る	電源回路に充電するため故障ではありません。
	調理が終了してもファンの風切り音がする 	加熱室の温度が高いときや繰り返して調理した後（積算調理時間10分以上の場合）、加熱途中で  を押したときやドアを開けたとき、電気部品を冷却するため冷却ファンが最大約10分間回転する場合がありますが、故障ではありません。冷却が終了すると冷却ファンは自動的に停止します。積算調理時間がリセットされるまでは、調理のたびに、冷却ファンが回ります。待機時消費電力オフ機能（→P.14）で電源が切れると積算調理時間がリセットされます。
③ 火花・煙・付着物	レンジのとき火花（スパーク）が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●黒皿を誤って使用していませんか。 ●アルミホイルを使って加熱しませんでしたか。 ●加熱室壁面、ドアガラスなどに金属製の調理道具やアルミホイルが触れていませんか。 ●加熱室壁面やテーブルプレートなどに食品くずや油分がついていませんか。
	初めてオーブンを使ったとき煙がでた	加熱室壁面に油が付着しています。初めてお使いのときは、空焼き（  脱臭）をして油を焼き切ってください。（→P.15）
	オーブン加熱中、加熱室から煙が出た	加熱室内壁面が汚れていたり、食品くずや油分がついていませんか。かたく絞ったぬれぶきんでふき取ってください。
	スチーム噴出口に白い付着物が残る	白い付着物の成分は水道水に含まれているミネラル分（カルシウム、マグネシウム）が蒸発して残った物です。ミネラル分は有害ではありません。かたく絞ったぬれぶきんでふき取ります。
④ 水滴・庫内灯・ヒーター	加熱中、液晶表示部やドアがくもったり、水滴が落ちる	メニューによって食品から出た水分が水蒸気となり、液晶表示部やドアの内側がくもることがありますが故障ではありません。ドアの内側などに露がつき、床に落ちたときは、ふきんでふき取ってください。
	加熱室内に水滴が付着したり、溜まる	スチーム調理やメニューによって食品から出た水蒸気が加熱室壁面に水滴として付着したり、加熱室底面に溜まる場合があります。テーブルプレートを取り外し、水滴はこまめにふき取ってください。（→P.57）
	オーブン予熱中に庫内灯が消灯している	<p> 予熱中は節電のため庫内灯を消灯しています。</p> <p>加熱室（庫内）の様子を見たいときは  を押してください。</p> <p>消灯するときは、もう一度  を押してください。</p>
	庫内灯の明るさがかわるときがある	断続運転のとき庫内灯の明るさがかわることがあります。故障ではありません。
⑤ 設定・表示	液晶表示部に  と表示されている（  モードになっている）	<p><解除方法></p> <p>「」を3回押し、 を1回押す」この操作を3回繰り返すと液晶表示部の「」表示が消え加熱できます。</p>
	セットした温度が途中でかわることがある	 のとき、250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃に切りかわります。

お困りのとき (つづき)

現象		原因
5 設定・表示(つづき)	予熱途中で加熱室温度の表示が10～20℃上下する また断続音がする	加熱室温度が安定するまで温度表示がかわります。故障ではありません。またヒーターと冷却ファンが断続運転するため断続音がすることがありますが、故障ではありません。
	予熱設定温度が表示される前に予熱が終了した	電源電圧や室温等の影響で設定温度まで表示される前に予熱が終了することがあります。また、予熱開始より35分が経過すると予熱は終了します。予熱が終わってそのままにしておくと、10分間予熱を継続した後、庫内灯が消灯したまま、設定した時間加熱します。
	残り時間が途中でかわることがある	オートメニューのとき、料理を上手に仕上げるため加熱途中で残りの加熱時間がかわることがあります。
	ドアを開けると加熱が取り消される	オートメニューでは残りの加熱時間を表示していないときにドアを開けると、加熱が取り消されます。
6 その他	過熱水蒸気が出ているのがわからない	「オープン」、 「グリル」 と組み合わせて加熱しているため加熱室の温度が高く、過熱水蒸気の粒子が非常に細かいため見えません。
	ドア部に食品の汚れや調味料が付着した	すぐに汚れをふき取ってください。 そのまま放置すると変色、変質などの原因になります。
	ドアから蒸気がもれる	少量の蒸気が出ることはありますが、異常ではありません。
	給水タンクの水が減らない	メニューによって給水タンクの水の減水する量が異なります。
	加熱室内壁にシミがついている	加熱室内のお手入れはこまめに行ってください。(→P.57) 加熱室内にシミがついても性能上問題ありません。
	加熱室内壁の塗装が剥がれている	加熱室内のお手入れはスポンジたわしのかたい面でこすらないでください。(→P.57) ご使用に伴い、加熱室内の塗装が剥がれる場合がありますが、性能上問題ありません。
	ドアガラスの「レシピ集」のコードが読み取れない	表紙に記載のコードを読み取るか、「ホームページからレシピ集を見る」(→P.123)に記載のURLを入力してください。

お知らせ表示が出たとき

「C※※」が表示されるときは下表を確認してください。繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。(→P.125)

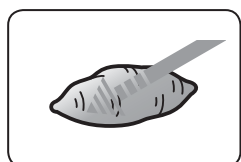
表示例	原因・お知らせ内容	直しかた
<p>「C00」が表示される</p> 	<p>テーブルプレートがセットされていません。 またはテーブルプレートの上に物をのせています。</p>	<p>加熱室底面にテーブルプレートだけをセットして0点調節をしてください。(→P.18) それでも「C00」表示が直らない場合には、「C00」表示が出ている状態のまま①～⑥の手順で0点調節をしてください。 ①テーブルプレートを取り出し、加熱室を空の状態にしてドアを閉めます。 ②を3秒以上長押しします。 ③庫内灯が点灯し約3秒後に、液晶表示部に「- - -」が表示されます。 ④ドアを開け、テーブルプレートを加熱室底面にセットし、ドアを閉めます。 ⑤を押します。 ⑥庫内灯が点灯し約3秒後に、液晶表示部に「0」が表示されれば完了です。</p>
<p>「C02」が表示される</p> 	<p>テーブルプレートがセットされていません。</p>	<p>加熱室底面にテーブルプレートをセットしてドアを閉めて、を押します。 くり返し表示される場合は、「C00」で記載の直しかたを行ってください。</p>
<p>「C09」が表示される</p> 	<p>手動調理のオープン加熱またはグリル加熱、および黒皿を使うオートメニューのときの、加熱室底面にテーブルプレートがセットされている。</p>	<p>テーブルプレートを取り外して黒皿を皿受棚(上・中・下段)にセットして加熱します。直らないときは、「C00」で記載の直しかたを行ってください。</p>
<p>「C18」が表示される</p> 	<p>機械室内部の温度が高くなり過ぎたため、保護装置が働いて運転を停止しました。</p>	<p>運転を停止した状態でしばらくおき、本体を冷ましてから調理を再開してください。</p>
<p>「給水」が点滅する</p> 	<p>給水タンクの水がありません。</p>	<p>給水タンクに水を補給してください。(→P.22)</p>
<p>「冷却中」が表示される</p> 	<p>機械室内部の冷却のため冷却ファンが回転しています。 表示中は電源プラグを抜かないでください。 表示中も続けて調理できます。</p>	<p>加熱室の温度が高いときや繰り返して調理した後(積算調理時間10分以上の場合)、加熱途中でトリプルを押したときやドアを開けたとき、電気部品を冷却するため冷却ファンが最大約10分間回転する場合がありますが故障ではありません。</p>
<p>「H※※」が表示される</p> <p>※※は2けたの数字を表示します。</p> <p>H※※の表示例</p>  	<p>●外来ノイズなどの影響による一時的な誤動作や機械室内の異常を検出した際に運転を停止します。</p> <p>●部品の故障表示</p>	<p>を押します。または電源プラグを抜いて、差し込み直した後、ドアを開閉し、もう一度電源を入れてください。(「H※※」の表示は消えます。)</p> <p>「H※※」が繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。ご不明点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。(→P.125)</p>

加熱のしくみ

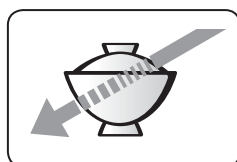
レンジ



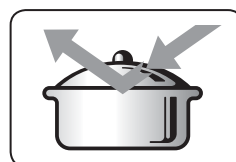
電波（高周波）で食品を加熱します。
電波（高周波）には3つの性質があります。



水分を含んだ食品には「吸収」されます。



ガラス、陶磁器などの容器は「透過」します。

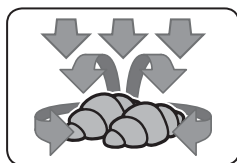


金属にあたると「反射」します。

オーブン



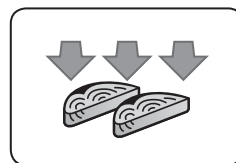
上下平面ヒーターで加熱室の温度を一定にするよう制御し、食品全体を包み込むようにして焼きます。



グリル



食品を上下平面ヒーターで加熱し、食品に焼き色をつけ、中は柔らかく仕上げます。

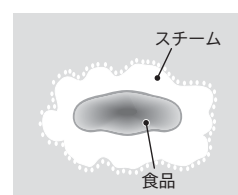


スチーム

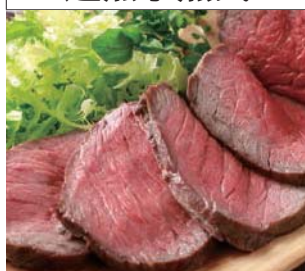


+ レンジ ・ オーブン ・ グリル

加熱室にスチーム（100℃前後の水蒸気）を充填させながらレンジ、またはオーブン、グリルと組み合わせて食品を加熱します。食品に水分を加えてしっとり柔らかく仕上げます。

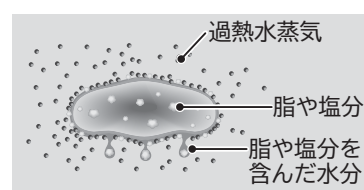


過熱水蒸気



+ オーブン ・ グリル

加熱室に過熱水蒸気を充填させながらオーブンまたはグリルと組み合わせて食品を加熱します。肉などから余分な脂や魚などの塩分を落としてヘルシーに仕上げます。（過熱水蒸気の粒子は非常に細かいため見えません。）



メニューの選びかた 25
※ レシピ集に記載の写真は、盛り付けの一例です。

00 は「オートメニュー」のメニュー番号です。
00 は「オートメニュー」の応用メニューです。
◎印は調理時間が 10 分以内のスピードメニューです。

焼き物

ページ

37	ハンバーグ	69
37	ビーフハンバーグ	69
37	ピーマンの肉詰め	69
38	ローストビーフ	70
46	豚のしょうが焼き	70
39	鶏のハーブ焼き	71
40	鶏の照り焼き	71
	ローストチキン	72
	焼きとり	72
41	塩ざけ	73
	さけのムニエル	73
42	塩さば	74
42	さばの塩焼き	74
43	ぶりの照り焼き	74
44	あじの開き	75
59	焼き野菜	75
45	焼きいも	76
45	バークドポテト	76

グラタン・キッシュ

ページ

47	マカロニグラタン	77
	ホワイトソース	77
	市販の冷凍グラタン	77
47	えびのドリア	78
47	ラザニア	78
	ほうれん草のキッシュ	79

いため物 (油を使わないいため物)

ページ

48	焼きそば◎	79
60	明太子の塩こうじ焼きそば◎	80
61	焼きうどん◎	80
49	チンジャオロウスー◎	81
49	ホイコウロウ◎	81
49	ゴーヤーチャンプルー◎	82
62	豚肉とピーマンのみそそば◎	82
63	なすのみそいため◎	83
64	ペペロンチーノ風野菜いため◎	83
65	牛肉とピーマンの塩こうじいため◎	84
66	えびの塩こうじいため◎	84
67	にらレバいため◎	85
68	プルコギ◎	85
69	ほうれん草の塩こうじソテー◎	86

蒸し物

ページ

50	茶わん蒸し	86
50	手作り豆腐	87
	肉シューマイ	87
51	あさりの酒蒸し◎	88
70	鶏の酒蒸し	88
71	鶏の簡単蒸し◎	89
72	蒸し野菜のベーコン巻き◎	89
	香味ソース	89
	梅肉ソース	89
73	なすときのこの蒸しサラダ◎	90

揚げ物 (ノンフライ)

ページ

19	鶏のから揚げ	90
28	鶏のしょうゆから揚げ	91
20	とんカツ	91
21	手羽先のから揚げ	92
29	豚のから揚げ	92
30	くしかつ	93
31	ヒレカツ	93
32	チキンカツ	94
22	ポテトコロッケ	94
	煎りパン粉の作りかた	94
23	えびフライ	95
24	あじフライ	95
25	えびの天ぷら	96
33	桜えびのかき揚げ	96
34	魚介の天ぷら	97
35	野菜の天ぷら	97
26	チキン南蛮	97
27	さつま揚げ	97
36	がんもどき	98

煮物

ページ

52	肉じゃが	98
52	ロールキャベツ	98
	ビーフシチュー	99
	カレー (ポーク&ビーフ)	99
53	筑前煮	100
55	肉豆腐◎	100
55	鶏ささみと豆腐のみぞれ煮◎	100
74	さばのみそ煮	101
75	きんぴらごぼう◎	101
76	簡単肉じゃが	101
76	かぼちゃの煮物	101
76	里いもの煮物	101
54	ぶり大根	102
56	ふろふき大根◎	102
	おでん	102

00は「オートメニュー」のメニュー番号です。
00は「オートメニュー」の応用メニューです。
◎印は調理時間が10分以内のスピードメニューです。

だし・汁物

57	かつお昆布だし	103
57	煮干し昆布だし	103
58	とん汁	103
58	けんちん汁	103

ごはん物・麺

	炊飯（ごはん）	104
	赤飯（おこわ）	104
	山菜おこわ	104
	カルボナーラ	105
	ペペロンチーノ	105

スイーツ

77	スポンジケーキ（デコレーションケーキ）	106
	スフレチーズケーキ	107
78	シフォンケーキ（プレーン）	108
80	パウンドケーキ（プレーン）	109
	ロールケーキ（プレーン）	110
	柔らかプリン	110
	型抜きクッキー	111
	絞り出しクッキー	111
	アーモンドクッキー	111
81	らくらくクッキー	112
	マドレーヌ	112
	マフィン	112
79	シュークリーム	113
	カスタードクリーム	113
79	エクレア	113
	アップルパイ	114
	りんごのプリザーブ	114
	焼きりんご	114

パン・ピザ

	トースト（裏返し）	115
84	ピザ（パン生地）	115
	市販のピザ	116
82	バターロール（ロールパン）	116
	山形食パン	117
83	簡単パン	118
83	簡単レーズンパン	118
85	フランスパン（バタール・クーペ）	119

ゆで物

17	ほうれん草のおひたし◎	120
18	イタリアンサラダ◎	120

あたため

4	牛乳のあたため	121
7	スチームあたため （ごはんのあたため（スチーム）、 お総菜のあたため（スチーム））	121
8	中華まんのあたため	121
9	揚げ物のあたため	121

- 本書に使用している計量カップ・スプーンでの質量（重量）は右表の通りです。
- レシピ集本文に記載している[]はオートメニューや手動調理の加熱の種類を示します。
- 卵は大きさの表記がないものは中サイズです。

■加熱時間
約5分：5分を目安にして加熱します。
5～10分：5～10分を目安にして加熱します。
■レシピ集本文に使われる単位は、次の通りです。
容量：1mL（ミリリットル）＝1cc（シーシー）
■加熱時間の目安は、食品温度（常温）を基準にしています。
■料理写真は調理後盛りつけた物です。

標準計量カップ・スプーンでの質量表（単位 g）（1mL＝1cc）


食品名	計量	小さじ (5mL)	大さじ (15mL)	カップ (200mL)	食品名	計量	小さじ (5mL)	大さじ (15mL)	カップ (200mL)
水・酢・酒		5	15	200	トマトピューレ		5	15	210
しょうゆ・みりん・みそ		6	18	230	ウスターソース		6	18	240
食塩		6	18	240	マヨネーズ		4	12	190
砂糖（上白糖）・片栗粉		3	9	130	粉チーズ		2	6	90
小麦粉（薄力粉）		3	9	110	生クリーム		5	15	200
小麦粉（強力粉）		3	9	110	油・バター・ラード		4	12	180 ラードは170
パン粉		1	3	40	ココア		2	6	90
粉ゼラチン		3	9	130	白米		—	—	160
トマトケチャップ		5	15	230	炊きたてごはん		—	—	120

焼き物

オート
37

ハンバーグ



加熱時間の目安	使用付属品
約 30 分	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ~ 4 人分	

材料	4人分(4個)
① 玉ねぎ(みじん切り)	100g
バター	15g
合びき肉	300g
パン粉	カップ $\frac{3}{4}$ (約30g)
② 牛乳	大さじ3
卵(溶きほぐす)	1個
塩	小さじ $\frac{1}{2}$ 弱
こしょう、ナツメグ	各少々
トマトケチャップ、 ウスターソース	各適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 耐熱容器に①を入れ[レンジ|600W|約2分30秒] (→P.43~46) で加熱する。
- ③ あら熱を取り、②を加えてよく混ぜ、4等分する。
- ④ 手にサラダ油(分量外)をつけ、③を片手に数回たたきつけて空気を抜き、厚さ1.5~2cmの小判型にして中央をくぼませる。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、アルミホイルまたはオープンシートを敷いた黒皿に④を並べ、上段に入れ[過熱水蒸気|37 ハンバーグ] (→P.41) で加熱する。
- ⑥ 加熱後、皿に盛り、トマトケチャップとウスターソースをよく混ぜ合わせてかける。

ハンバーグのコツ

- 生地の作りかたは
ねらないようによくかき混ぜ、空気抜きをしてから形を作って加熱すると、柔らかくふっくらと仕上がります。
- 2人分は
仕上がり調節[弱]で加熱します。
- 形を作るときは
生地の中央をくぼませると火の通りを良くし、焼き上がりの中央のふくれを防ぎます。厚さは1.5~2cmにします。
- 生地作りにフードプロセッサーを使って作るときは
それぞれの取扱説明書を参照します。

応用
37

ビーフハンバーグ



加熱時間の目安 約 28 分

1 回に作れる分量 2 ~ 4 人分

仕上がり調節[弱]

材料(4人分)

ハンバーグの材料を参照し、合びき肉を牛ひき肉にかえる。

作りかた

- ① ハンバーグの作りかたを参照し、
[過熱水蒸気|37 ハンバーグ]仕上がり
調節[弱] (→P.41) で加熱する。

応用
37

ピーマンの肉詰め



加熱時間の目安 約 30 分

1 回に作れる分量 4 人分

材料	4人分(12個)
ピーマン	6個
① 玉ねぎ(みじん切り)	130g
② バター	大さじ1 (約12g)
豚ひき肉(または合 びき肉)	260g
③ パン粉	20g
④ 卵(溶きほぐす)	1個
塩	小さじ $\frac{1}{2}$
こしょう	少々
小麦粉(薄力粉)	適量


作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 耐熱容器に①を入れ[レンジ|600W|約1分50秒] (→P.43~46) で加熱して、あら熱を取る。
- ③ ピーマンはへたを残したままタテ2つ割りにして種を除いて洗い、水けを切って内側に小麦粉をふる。
- ④ ボウルに②と③を入れ、よく混ぜ合わせて12等分し、③に詰める。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、黒皿に④を並べ、上段に入れ[過熱水蒸気|37 ハンバーグ] (→P.41) で加熱する。

焼き物

オート 38 ローストビーフ



加熱時間の目安	使用付属品
約 52 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	

材料	4人分
牛もも肉 (かたまり)	800g
塩、こしょう	各少々
にんにく (すりおろし)	1 片
サラダ油	小さじ1

作りかた


- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 牛肉に塩、こしょうをし、にんにくをすり込み、サラダ油を全体に塗る。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②を黒皿の中央にのせ、下段に入れ「過熱水蒸気」38 ローストビーフ (→P.41) で加熱する。
- ④ 加熱後、十分に冷ましてから薄く切り、器に盛る。

ローストビーフのコツ

- 肉は冷蔵庫から出したての物を
使用する肉は冷蔵庫から出してすぐに使用します。
- 肉の直径は
4.5 ～ 5cm (2 人分)、5 ～ 7cm (3 人以上) の物を使います。
直径が小さい物は火が通り過ぎになります。
- 塩、こしょうの分量は
塩は肉の重さの 0.8 ～ 1%、こしょうは肉の重さの 0.3 ～ 0.4% が目安です。
- 形状がふぞろいの場合は
木綿製のたこ糸でしばって形を整えるか、ネットで包むと整った形状になります。
- 加熱終了後、焼きむらが気になるときは
黒皿の前後を入れかえ「オープン」予熱無 200℃ (→P.50) で様子を見ながら加熱します。

オート 46 豚のしょうが焼き



加熱時間の目安	使用付属品
約 22 分	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 人分	

材料	4人分
豚ロース薄切り肉 (厚さ2～3mm の物)	400g
酒	大さじ3
しょうゆ	大さじ2
④ しょうが (すりおろす)	大さじ1
砂糖	小さじ2

作りかた

- ① 豚肉を合わせた④に 15 分程度つけておく。
- ② テーブルプレートを取り外し、黒皿に①を広げて並べ、上段に入れ「おかず」46 豚のしょうが焼き (→P.41) で加熱する。

豚のしょうが焼きのコツ

- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

オート
39

鶏のハーブ焼き



加熱時間の目安	使用付属品
約 37 分	黒皿 中段
1 回に作れる分量	給水タンク 満水
2 ～ 6 人分	

材料	4人分
鶏もも肉 (皮つき、1枚約250g の物)	2枚
塩、こしょう	各少々
④ タイム、マジョラム、ローズマリーなどのハーブ (生または乾燥品)	各少々

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 鶏肉は、皮にフォークなどで穴を開け、厚みのあるところには切り目を入れて④をまぶす。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②の皮を上にして、黒皿の中央に寄せて並べ、中段に入れ **過熱水蒸気** **39 鶏のハーブ焼き** (→P.41) で加熱する。

鶏のハーブ焼きのコツ

- 骨付き肉は
仕上がり調節 **強** で加熱します。
- 6 人分 (鶏肉 3 枚分) のときは
仕上がり調節 **強** で加熱します。
- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

オート
40

鶏の照り焼き



加熱時間の目安	使用付属品
約 29 分	黒皿 中段
1 回に作れる分量	給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	

材料	4人分
鶏もも肉 (皮つき、1枚約250g の物)	2枚
しょうゆ	大さじ2
④ みりん	大さじ1
砂糖	小さじ1
しょうが汁	少々

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 鶏肉は、皮にフォークなどで穴を開け、厚みのあるところには切り目を入れて合わせた④に 15 分程度つけて下味をつけ、キッチンペーパーでかるく汁けをふき取る。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②の皮を上にして、黒皿に鶏の照り焼きのコツを参照して並べ、中段に入れ **過熱水蒸気** **40 鶏の照り焼き** (→P.41) で加熱する。

鶏の照り焼きのコツ

- 市販のたれは
好みで④のかわりに使ってもよいでしょう。
メーカーの種類によっては焼き色が異なります。
- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。
- 並べかたは

2 人分



4 人分



焼き物

手動

ローストチキン



手動

オープン

予熱 約 24 分
210℃
70 ~ 80 分

使用付属品



黒皿 下段

材料

1羽分

若鶏 (内臓抜き、約 1.2kg の物)
塩
こしょう
にんじん (輪切り、1cm 幅に切る)
玉ねぎ (輪切り、1cm 幅に切る)
セロリ
(葉を取り除き、4 ~ 5cm 幅に切る)
サラダ油

1羽
小さじ2
少々
100g
100g
100g
適量

作りかた

- 鶏肉はよく洗って水けをふき、塩、こしょうをすり込む。
- 手羽を背中て組ませて胸を上にし、両足を木綿製のたこ糸で、しばって形を整える。
- 黒皿にオープンシートを敷いて、その中央に野菜を寄せて広げ、その上に②の胸を上にしてのせ、全体にはけでサラダ油を塗る。
- テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに「オープン」
「予熱有」**210℃** **70 ~ 80 分** (→P.49) で予熱する。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、③を下段に入れ、加熱する。

ローストチキンのコツ

- 首のついた若鶏は
皮を残してつけ根から切り落とします。
- くさみが気になる場合は
レモン 1/2 個 (分量外) の切り口で全体をこすると良いでしょう。

手動

焼きとり



手動

グリル

22 ~ 27 分
裏返して
7 ~ 12 分

使用付属品



黒皿 中段

材料

4人分 (12本)

鶏もも肉
(皮つき、1枚約250gの物、
ひとくち大に切る)
長ねぎ (3~4cm 長さに切る)
ししとうがらし (へたと種を取る)

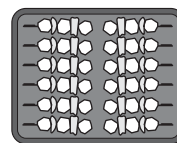
2枚
2本
12本

しょうゆ
みりん
砂糖
サラダ油

カップ 1/2
カップ 1/4
大さじ2~3
大さじ1

作りかた

- ① 合わせた④の中に鶏肉と野菜をつけ込み、ときどき返しな
がら 20 分程度おいて、鶏肉と野菜を交互に竹ぐしに刺し
ておく。
- ② テーブルプレートを取り外し、黒皿に①を並べ、中段に入れ
「グリル」**22 ~ 27 分** (→P.48) で加熱し、裏返して「グリル」
7 ~ 12 分 で加熱する。





焼きとりの並べかた

【ひとくちメモ】

- 好みで④のかわりに市販のたれを使ってもよいでしょう。



加熱時間の目安	使用付属品
約 39 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	

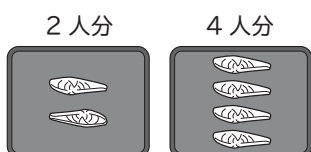
材料	4人分(4切れ)
塩ざけの切り身(1切れ約80gの物)	4切れ

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 黒皿に、塩ざけの盛りつけたときに上になる方を上にして、塩ざけのコツを参照して並べる。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②を中段に入れ **過熱水蒸気** [41 塩ざけ] (→P.41) で加熱する。

塩ざけのコツ

- 加熱直後にドアを開けるときは
油の飛び散りなどに注意し、静かに開けてください。
- 焼き色は
魚に含まれる脂の量で変わります。
3 段階の仕上がり調節で焼き加減を調節します。
- 並べかたは



- 黒皿の汚れが気になるときは
オープンシートを敷きます。



手動	使用付属品
オープン 180℃ 25 ～ 32 分	 黒皿 中段

材料	4人分(4切れ)
生ざけの切り身 (1切れ約100gの物)	4切れ
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	大さじ3
バター	20g

作りかた



- ① 耐熱容器にバターを入れ **レンジ** [200W] 約 1 分 30 秒 (→P.44～46) で加熱して溶かす。
- ② さけは、全体に塩、こしょうをして小麦粉をふり、余分な小麦粉をはたいて落とす。
- ③ テーブルプレートを取り外し、アルミホイルまたはオープンシートを敷いた黒皿に②を並べ、全体に①をふりかける。
- ④ ③を中段に入れ **オープン** **予熱無** [180℃] [25 ～ 32 分] (→P.50) で加熱する。

お願い

- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは **脱臭** (→P.15) で加熱してください
- 臭いが気になるときは、換気扇を回してください
- ドアの周りから蒸気や煙が出る場合がありますが、故障ではありません

オート 42 塩さば



加熱時間の目安	使用付属品
約 34 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	
材料	4人分(4切れ)
塩さば (1 切れ約 100g の物)	4切れ

- 作りかた**
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② さばの水けをふき取り、黒皿に皮目を上にして塩さばのコツを参照して並べる。
 - ③ テーブルプレートを取り外し、②を中段に入れ 過熱水蒸気 42 塩さば (→P.41) で加熱する。

応用 42 さばの塩焼き

加熱時間の目安	約 34 分
1 回に作れる分量	2 ～ 4 人分
材料	4人分(4切れ)
生さばの切り身 (1 切れ約 100g の物)	4切れ
塩	適量

- 作りかた**
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② さばは水けをふき取ってから、全体に塩をふり、10 分程度おく。
 - ③ さばの水けをふき取り、黒皿に皮目を上にして塩さばのコツを参照して並べる。
 - ④ テーブルプレートを取り外し、③を中段に入れ 過熱水蒸気 42 塩さば (→P.41) で加熱する。

塩さばのコツ

- 加熱直後にドアを開けるときは油の飛び散りなどに注意し、静かに開けてください。
- 焼き色は魚に含まれる脂の量で変わります。3 段階の仕上がり調節で焼き加減を調節します。

■ 並べかたは

2 人分





4 人分



- 黒皿の汚れが気になるときはオープンシートを敷きます。

オート 43 ぶりの照り焼き





加熱時間の目安	使用付属品
約 34 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	
材料	4人分(4切れ)
ぶりの切り身 (1 切れ約 100g の物)	4切れ
④ しょうゆ	カップ 1/4
みりん	カップ 1/4

- 作りかた**
- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② ぶりは水けをふき取り、合わせた④に 20 分程度つけて下味をつけ、汁けをかるく切る。
 - ③ 黒皿に②の盛りつけたときに上になる方を上にして塩さばのコツを参照して並べる。
 - ④ テーブルプレートを取り外し、③を中段に入れ 過熱水蒸気 43 ぶりの照り焼き (→P.41) で加熱する。

お願い

- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは 脱臭 (→P.15) で加熱してください
- 臭いが気になるときは、換気扇を回してください
- ドアの周りから蒸気や煙が出る場合がありますが、故障ではありません



加熱時間の目安	使用付属品
約 34 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
1 ～ 2 人分	



材料	2人分(2枚)
あじの開き(1枚100～120gの物)	2枚

作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- 黒皿にあじの盛りつけたときに上になる方を上にしてあじの開きのコツを参照して並べる。
- テーブルプレートを取り外し、②を中段に入れ、**過熱水蒸気** [44 あじの開き] (→P.41) で加熱する。

あじの開きのコツ


- 干物(1枚)が70g以下のときは **グリル** (→P.48) で様子を見ながら加熱します。
- 並べかたは

1 人分	2 人分
	
- 加熱直後にドアを開けるときは 油の飛び散りなどに注意し、静かに開けてください。
- 手動調理 **スチームグリル** (→P.51) で加熱するときは 給水タンクに満水ラインまで水を入れて、**スチームグリル** で様子を見ながら加熱します。
- 焼き色は 魚に含まれる脂の量や魚の温度、塩のふり加減によってかわりますが、3段階の仕上がり調節で焼き加減を調節します。

お願い

- 調理後の加熱室の油汚れや臭いが気になるときは **脱臭** (→P.15) で加熱してください
- 臭いが気になるときは、換気扇を回してください
- ドアの周りから蒸気や煙が出る場合がありますが、故障ではありません



加熱時間の目安	使用付属品
予熱 12 分 約 23 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	
1 ～ 3 人分	



材料	3人分
ブロッコリー、カリフラワー、キャベツ、赤キャベツ、芽キャベツ、赤パプリカ、黄パプリカ、かぼちゃ、プチトマト、さやえんどう など合わせて	400g
アンチョビ(みじん切り)	小さじ1(約6g)
スタッドオリーブ(みじん切り)	3個
オリーブ油	大さじ1
白ワインビネガー	小さじ2
レモン汁	小さじ1
塩、こしょう	各少々

作りかた

- キャベツ、赤キャベツは芯を残したまま、くし形に切り、その他の野菜は、ひとくち大または薄めに切る。
- 黒皿に①を広げてのせる。
- テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに **おかず** [59 焼き野菜] (→P.42) で予熱する。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、②を中段に入れて加熱する。
- 加熱後、皿に盛り、合わせた④を添える。

オート 45 焼きいも



加熱時間の目安	使用付属品
約 63 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	
材料	4人分(4本)
さつまいも (1本約250g の物)	4本

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② テーブルプレートを取り外し、黒皿にさつまいもを並べ、下段に入れ 過熱水蒸気 **45 焼きいも** (→P.41) で加熱する。
- ③ 竹ぐしを刺してみて、通ればでき上がり。

焼きいものコツ

- さつまいもの太さは
直径 4 ～ 5cm の物が適しています。
- 2 人分は
仕上がり調節 **弱** で加熱します。

応用 45 バークドポテト



加熱時間の目安	約 63 分
1 回に作れる分量	2 ～ 4 人分
材料	4人分(4個)
じゃがいも (1個約150g の物)	4個

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② テーブルプレートを取り外し、黒皿にじゃがいもを並べ、下段に入れ 過熱水蒸気 **45 焼きいも** (→P.41) で加熱する。

グラタン・キッシュ

オート
47

マカロニグラタン



加熱時間の目安	使用付属品
約 34 分	黒皿 中段
1 回に作れる分量	
1 ~ 4 人分	

材料	4人分
マカロニ	80g
鶏もも肉 (1cm 角切り)	100g
殻つきえび (尾と殻を取り、背わたを取って半分に切る)	8 尾 (約 160g)
④ 玉ねぎ (薄切り)	100g
マッシュルーム (缶詰、薄切り)	小 1 缶 (約 50g)
バター	25g
塩、こしょう	各少々
ホワイトソース	カップ 3
ピザ用チーズ または粉チーズ	80g

作りかた

- ① マカロニは、ゆでて、ザルに上げ、サラダ油 (分量外) をまぶす。
- ② 深めの耐熱容器に④を入れ **レンジ** [600W] 約 5 分 30 秒 (→P.43~46) で加熱し、マカロニと合わせる。
- ③ ②にホワイトソースの 1/2 量を加えてあえる。
- ④ バター (分量外) を塗ったグラタン皿に③を分け入れ、残りのホワイトソースを全体にかけて、上にチーズを散らす。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、黒皿に④を並べ、中段に入れ **おかず** [47 マカロニグラタン] (→P.41) で加熱する。

グラタンのコツ

- 容器は
金属製・ホーロー製の容器は使わない。耐熱性の陶器・磁器か耐熱ガラスのグラタン皿を使ってください。
 - 1、2 人分は
仕上がり調節 [弱] で加熱します。
 - 市販のホワイトソースを
使ってもいいでしょう。
 - 焼くときの皿の置きかたは
黒皿にグラタン皿を下図のように並べてください。
- 1 人分 2 人分 3 人分 4 人分
-
- 焼く前に冷めてしまったら
具やソースがあたたかいうちに焼きます。焼く前に冷めてしまったら **レンジ** [500W] (→P.43~46) で人肌くらい (約 40℃) にあたためてから焼きます。
 - 具の状態によって焼き色が違う
ホワイトソースのかたさやチーズの種類、食品メーカーによって、焼き色が異なります。
 - 焼きむらが気になるときは
残り時間 3 ~ 5 分でグラタン皿の前後を入れかえてさらに加熱します。
 - 冷凍グラタンは [47 マカロニグラタン] では焼けません
市販の冷凍グラタンを参照して様子を見ながら加熱します。

⚠ 注意

具によっては飛び散ることがあるので注意する
いかに使うときは全体に切り目を入れ、マッシュルームは切った物を使ってください

ホワイトソース

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に小麦粉とバターを入れ **レンジ** [600W] (→P.43~46) で加熱して泡立て器でよく混ぜる。
- ② 牛乳を少しずつ加えながらのばし **レンジ** [600W] で途中かき混ぜながら加熱する。
- ③ 加熱後、②に塩、こしょうをし、かき混ぜる。

	分量	カップ1	カップ2	カップ3
材料	牛乳	200mL	400mL	600mL
	小麦粉 (薄力粉)	20g	30g	40g
	バター	30g	40g	50g
	塩	各少々	各少々	各少々
	こしょう	各少々	各少々	各少々
作りかた	① 小麦粉、バターを加熱 レンジ [600W]	約 1 分 10 秒	約 1 分 40 秒	約 2 分 10 秒
	② 牛乳を加えて加熱 レンジ [600W]	2 ~ 4 分	5 ~ 7 分	9 ~ 11 分

市販の冷凍グラタン

市販の冷凍グラタン (1 個・約 240g) は、手動調理で焼きます。アルミケース皿のまま (1 ~ 4 皿まで)、黒皿に下図のように並べて、中段に入れ **オープン** [予熱無] [210℃] [35 ~ 45 分] (→P.50) で加熱する。

1 人分	2 人分	3 人分	4 人分

【ひとくちメモ】

- アルミケース皿のふちを折り上げて焼くと、ふきこぼれが防げます。
- レンジ用のプラスチック製容器の物は焼けません。(容器変形の原因になります。)

応用
47

えびのドリア



加熱時間の目安

約 34 分

1 回に作れる分量

1 ～ 4 人分

使用付属品



黒皿 中段

材料

4人分

①	むきえび (背わたを取る)	200g
	玉ねぎ (みじん切り)	100g
	生しいたけ (薄切り)	4 枚
	バター	25g
	ホワイトソース (→P.77)	カップ1
	冷やごはん	400g
	バター	15g
	ピザ用チーズ または粉チーズ	80g
	塩、こしょう	各少々

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に①を入れて混ぜ **レンジ** [600W] 約 4 分 (→P.43～46) で加熱し、ホワイトソースであえる。
- ② 大きめの耐熱容器にバターを入れ **レンジ** [200W] 約 1 分 で加熱し、溶かす。
- ③ ②に、ごはんを入れてかき混ぜ、かるく塩、こしょうをして **レンジ** [600W] 約 1 分 30 秒 で加熱する。
- ④ バター (分量外) を塗ったグラタン皿に③を分け入れ、①のをせ、上にチーズを散らす。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、黒皿に④を並べ、中段に入れ **おかず** [47 マカロニグラタン] (→P.41) で加熱する。

応用
47

ラザニア



加熱時間の目安

約 34 分

1 回に作れる分量

3 ～ 4 人分

材料

4人分

ラザニア (乾めん)	6 枚 (約 100g)
ミートソース (缶詰)	1 缶 (約 300g)
ホワイトソース (→P.77)	カップ 3
ピザ用チーズ または粉チーズ	120g

作りかた

- ① 大きめの鍋でラザニアをかたためにゆで、水に取って冷まし、水けを切る。
- ② バター (分量外) を塗った焼き皿にホワイトソース、①、ミートソースの順に 3 ～ 4 段に重ね、チーズを散らす。
- ③ テーブルプレートを取り外し、黒皿の中央に②のをせ、中段に入れ **おかず** [47 マカロニグラタン] (→P.41) で加熱する。

ドリア・ラザニアのコツ

■ 容器は

金属製、ホーロー製の容器は使わない。
耐熱性の陶器・磁器が耐熱ガラス容器を使ってください。
ラザニアは 20 × 20 × 5cm の焼き皿 1 枚を使います。

■ 市販のホワイトソースを

使ってもいいでしょう。

■ 焼く前に冷めてしまったら

具やソースがあたたかいうちに焼きます。焼く前に冷めてしまったら **レンジ** [500W] (→P.43～46) で人肌くらい (約 40℃) にあたためてから焼きます。

■ 加熱室は冷ましてから

オープン、**グリル**、**脱臭** 使用後で加熱室が熱いと上手に仕上がりにません。

■ 具の状態によって焼き色が違う

ホワイトソースのかたさやチーズの種類、食品メーカーによって、焼き色が異なります。

■ 冷凍ドリアは [47 マカロニグラタン] では焼けません

アルミケースのまま黒皿に並べ (市販の冷凍グラタンの並べかた (→P.77) を参照)、中段に入れ **オープン** [予熱無] [210℃] [35 ～ 45 分] (→P.50) で様子を見ながら加熱します。

■ レンジ用のプラスチック製容器の物は焼けません

容器変形の原因になります。

■ 1、2 人分は

仕上がり調節 [弱] で加熱します。

手動

ほうれん草のキッシュ



手動

オープン

210℃

25 ~ 30 分

使用付属品



黒皿 下段

材料 (直径21cmの焼き皿1皿分)

ほうれん草	一束 (約 200g)
にんにく (みじん切り)	1 片
バター	大さじ 1 (約 12g)
塩、こしょう	各少々
卵 (溶きほぐす)	2 個
牛乳	130mL
植物性生クリーム	70mL
④ スープ (顆粒スープの素小さじ ½ 個を溶く)	30mL
塩、こしょう	各少々
ピザ用チーズ または粉チーズ	60g

作りかた

- ① ほうれん草は洗ってラップで包み **17 下ゆで葉・果菜** (→P.39,40) で加熱して冷水に取り、水けを切ってかたく絞り、3cm の長さに切る。
- ② フライパンにバターを熱し、にんにくをいため、①を加えてさらにいため、塩、こしょうをする。
- ③ ボウルに卵と合わせた④を入れてよくかき混ぜ、裏ごしする。
- ④ ③に②とチーズ ½ 量を加えて混ぜ、バター (分量外) を塗った焼き皿に流し入れ、上に残りのチーズを散らす。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、黒皿の中央に④のをせ、下段に入れ **オープン** **予熱無** **210℃** **25 ~ 30 分** (→P.50) で加熱する。

いため物 (油を使わないいため物)

オート
48

焼きそば



加熱時間の目安

約 7 分

1 回に作れる分量

1 ~ 2 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

2人分

焼きそば用めん (ソースつき、1袋150g の物)	2 袋
野菜ミックス	250g
豚薄切り肉 (ひとくち大に切る)	50g
塩、こしょう	各少々

作りかた

- ① 深さのある平皿に、野菜ミックスの ½ 量、めん、豚肉の順に入れ、ソース、塩、こしょうをし、残りの野菜をのせてかるくラップをする。
- ② ①をテーブルプレートの中央に置き **おかず** **48 焼きそば** (→P.41) で加熱し、かき混ぜる。

いため物のコツ


■ 容器は

少し深めの陶磁器や耐熱皿を使います。

グラ
ダン・
キッ
シュ
いた
め物

オート 60 明太子の塩こうじ焼きそば




加熱時間の目安	使用付属品
約 6 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	

材料	2人分
焼きそば用めん	2 袋 (約 300g)
辛子明太子	50g
アスパラガス (乱切り)	1 本 (約 30g)
スナップえんどう (半分に切る)	40g
無塩バター	30g
④ 塩こうじ	大さじ 3
水	大さじ 1

作りかた	
①	無塩バターを[レンジ 200W 約 2 分] (→P.44～46) で加熱して溶かす。
②	ポリ袋 (市販) に合わせた④と①を入れ、めんと辛子明太子、アスパラガス、スナップえんどうを入れて、かるく混ぜ合わせる。
③	深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げて、かるくラップをする。
④	③をテーブルプレートの中央に置き[おかず 60 明太子の塩こうじ焼きそば] (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。

オート 61 焼きうどん




加熱時間の目安	使用付属品
約 8 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	

材料	2人分
うどん (ゆでた物、1 袋約 200g の物)	2 玉
野菜ミックス	250g
水	大さじ ½
④ しょうゆ	大さじ 1
塩、こしょう	各少々
豚薄切り肉 (ひとくち大に切る)	50g
塩、こしょう	各少々

作りかた	
①	ポリ袋 (市販) に合わせた④とうどんを入れて、混ぜ合わせる。
②	肉に塩、こしょうする。
③	深さのある平皿に野菜ミックスの ½ 量、ポリ袋から取り出した①の順に広げ、②、残りの野菜をのせて、かるくラップする。
④	③をテーブルプレートの中央に置き[おかず 61 焼きうどん] (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。



加熱時間の目安	使用付属品
約 6 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	

材料	2人分
牛もも肉(細切り)	150g
塩、こしょう	各少々
片栗粉	小さじ1
④ ピーマン(種を取り、タテに細切り)	4 個(約120g)
たけのこ水煮(細切り)	50g
しょうゆ	小さじ1
オイスターソース	大さじ1
⑤ 酒	大さじ1
砂糖	小さじ1
鶏がらスープの素(顆粒)	小さじ1
片栗粉	小さじ1

作りかた	
①	牛肉にかかる塩、こしょうをし、片栗粉をふり、よくまぶしておく。
②	ポリ袋(市販)に①と④、合わせた⑤を入れて混ぜ合わせる。
③	深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げて、かるくラップをする。
④	③をテーブルプレートの中央に置きおかず 49 チンジャオロウスー (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。



加熱時間の目安	約 6 分
1 回に作れる分量	1 ~ 2 人分

材料	2人分
豚ロース薄切り肉(ひとくち大に切る)	100g
塩、こしょう	各少々
片栗粉	小さじ1
キャベツ(ひとくち大に切る)	100g
④ にんじん(薄切り)	50g
ピーマン(種を取り、乱切り)	2個(約60g)
長ねぎ(5mm 幅のナナメ切り)	50g
みそ	大さじ1
酒	大さじ2
⑤ 砂糖	小さじ1
豆板醤(トウバンジャン)	小さじ 1/2
片栗粉	小さじ 1/2

作りかた	
①	豚肉にかかる塩、こしょうをし、片栗粉をふり、よくまぶしておく。
②	ポリ袋(市販)に①と④、合わせた⑤を入れ混ぜ合わせる。
③	深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げてのせ、かるくラップをする。
④	③をテーブルプレートの中央に置きおかず 49 チンジャオロウスー (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。



加熱時間の目安

約 6 分

1 回に作れる分量

2 ~ 4 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

4人分

ゴーヤー	1本(約200g)
卵(溶きほぐす)	1個
木綿豆腐	150g
豚バラ薄切り肉(ひとくち大に切る)	50g
赤パプリカ(種を取り、タテに細切り)	50g
しょうゆ	小さじ1
塩	小さじ 1/3
酒	大さじ1
④ 砂糖	小さじ1
鶏がらスープの素(顆粒)	小さじ1
片栗粉	小さじ 1/2

作りかた

- 豆腐は水切りをする。
- ゴーヤーはタテ半分に切り、種とワタを取り除き、3mm 幅の薄切りにしてかるく塩(分量外)をふり、もみ込んで約10分なじませてから水で洗ってかるく絞る、水けを取る。
- 卵は耐熱コップに入れ[レンジ|500W|約1分](→P.43~46)で加熱し、よくかき混ぜる。
- 深さのある平皿に②と手でくずした①、豚肉、赤パプリカ、合わせた④を入れて混ぜ、かるくラップをする。
- ④をテーブルプレートの中央に置き[おかず|49 チンジャオロウスー](→P.41)で加熱する。
- 加熱後、③を加えてかき混ぜる。



加熱時間の目安

約 5 分

1 回に作れる分量

1 ~ 2 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料


2人分

豚ひき肉	100g
ピーマン(種を取り、5mm 幅に切る)	3個(約90g)
酒	大さじ1
みそ	大さじ1
④ 砂糖	小さじ1
みりん	大さじ 1/2
和風だしの素	ひとつまみ
白ごま	適量

作りかた

- ポリ袋(市販)に豚肉とピーマン、合わせた④を入れて、かるく混ぜ合わせる。
- 深さのある平皿にポリ袋から取り出した①を厚さ1~2cmに平らになるようにのせ、かるくラップをする。
- ②をテーブルプレートの中央に置き[おかず|62 豚肉とピーマンのみそそぼろ](→P.41)で加熱する。加熱後、かき混ぜ、白ごまをかける。

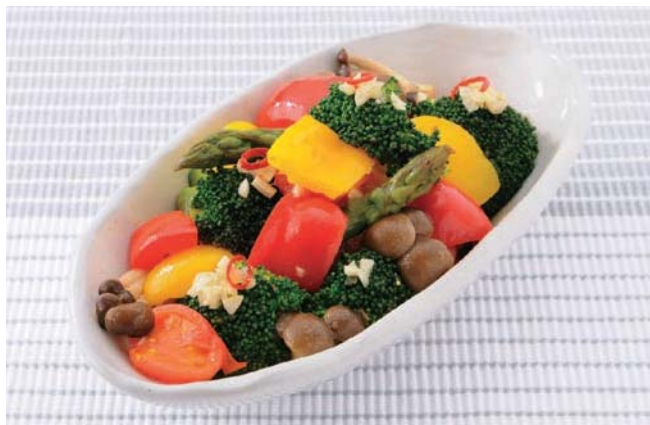



加熱時間の目安	使用付属品
約 7 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
なす	3 本 (約300g)
ピーマン	1 個 (約 30g)
④ みそ	大さじ 2
④ 砂糖	大さじ 1
酒	大さじ 1

作りかた

- ① なすは、へたを切り取ってタテに4等分し、水にさらしておく。
- ② ピーマンは種を取り除き、乱切りにする。
- ③ ポリ袋（市販）に①と②合わせた④を入れて、混ぜ合わせる。
- ④ 深さのある平皿にポリ袋から取り出した③を広げて、かるくラップをする。
- ⑤ ④をテーブルプレートの中央に置き「おかず」
[63 なすのみそいため] (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。



加熱時間の目安	使用付属品
約 6 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
赤パプリカ (ひとくち大)	½ 個 (約60g)
黄パプリカ (ひとくち大)	½ 個 (約60g)
しめじ (小房に分ける)	50g
アスパラガス (6 等分に切る)	2 本 (約50g)
ブロッコリー (小房に分ける)	50g
プチトマト (半分に切る)	4 個 (約40g)
④ にんにく (みじん切り)	1 片
赤とうがらし (乾燥、小口切り)	½ 本
④ 白ワイン	大さじ 1
④ あらびき黒こしょう	少々
塩	少々
オリーブ油	大さじ 1

作りかた

- ① 野菜と④を混ぜ合わせる。
- ② 深さのある平皿に①を広げて、かるくラップをする。
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き「おかず」
[64 パペロンチーノ風野菜いため] (→P.41) で加熱する。

オート 65 牛肉とピーマンの
塩こうじいため



加熱時間の目安

約 5 分

1 回に作れる分量

1 ～ 2 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

2人分

	牛もも肉 (薄切り)	150g
①	ピーマン (種を取り、タテに細切り)	4個 (約120g)
②	赤パプリカ (種を取り、タテに細切り)	45g
	塩こうじ	大さじ2
	紹興酒	小さじ2
③	酒	大さじ1
	砂糖	小さじ1½

作りかた

- ① 牛もも肉は塩こうじを加えて混ぜ合わせ 15 分程度おく。
- ② ポリ袋 (市販) に①と②、合わせた③を入れて、混ぜ合わせる。
- ③ 深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げて、かるくラップをする。
- ④ ③をテーブルプレートの中央に置き「おかず」
65 牛肉とピーマンの塩こうじいため (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。

牛肉とピーマンの塩こうじのためのコツ

- 肉を柔らかくしたいときは
作りかた①で 1 時間程度おきます。

オート 66 えびの塩こうじいため



加熱時間の目安

約 9 分

1 回に作れる分量

1 ～ 2 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

2人分

	殻つきえび	6 尾 (約 120g)
	エリンギ	2 本 (約 125g)
	にんにく (みじん切り)	1 片 (約 10g)
①	塩こうじ	大さじ1
	オリーブ油	大さじ3¼
	レモン汁	少々

作りかた

- ① えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取って水けを切る。エリンギは石づきを切ってほぐす。
- ② ポリ袋 (市販) に合わせた①と②を入れて、混ぜ合わせる。
- ③ 深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げて、かるくラップをする。
- ④ ③をテーブルプレートの中央に置き「おかず」
66 えびの塩こうじいため (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜ、レモン汁をふる。

オート 67 にらレバいため



加熱時間の目安	使用付属品
約 7 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
豚レバー (ひとくち大に切る)	140g
にら(5cm 長さに切る)	約 60g
酒	小さじ 2
しょうが汁	小さじ 2
片栗粉	小さじ 2
しょうが	小さじ 2
にんにく	小さじ 2
しょうゆ	小さじ 2
オイスターソース	小さじ 2
酒	小さじ 1
砂糖	小さじ 1/2
塩	少々
ごま油	小さじ 1/2
玉ねぎ(薄切り)	約 30g
黄パプリカ(薄切り)	約 30g
もやし	約 60g

作りかた

- ① 豚レバーは、塩水につけ血抜きをする。合わせた④につけこみ15分程度おく。
- ② ポリ袋(市販)に汁けをかるく切った②と合わせた⑥、にら以外の残りの材料を入れて、かるく混ぜ合わせる。
- ③ 深さのある平皿に1/2量のにらを広げ、その上にポリ袋から取り出した②を広げ、さらに残りのにらを広げて、かるくラップをする。
- ④ ③をテーブルプレートの中央に置き「おかず」67 にらレバいため (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。

オート 68 プルコギ



加熱時間の目安	使用付属品
約 6 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
牛もも薄切り肉 (ひとくち大に切る)	100g
あさりの水煮 (缶詰、汁をのぞいた物)	30g
りんご (皮ごとすりおろす)	1/4 個
にんにく(みじん切り)	1/4 片
あさりの煮汁	大さじ 2
一味とうがらし	少々
みりん	大さじ 1/2
④ 白すりごま	大さじ 1
ごま油	小さじ 1
コチュジャン	小さじ 2
しょうゆ	大さじ 1/2
塩	少々
玉ねぎ(薄切り)	100g
にんじん(せん切り)	30g
ピーマン(せん切り)	1 個 (約 30g)
塩	少々
⑥ ごま油	小さじ 1

作りかた

- ① ポリ袋(市販)に牛肉とあさりに合わせた④を加えて15分程度おく。
- ② ポリ袋(市販)に玉ねぎとにんじん、ピーマン、⑥をかるく混ぜ合わせておく。
- ③ 深さのある平皿にポリ袋から取り出した②を広げて、その上にポリ袋から取り出した①をたれごと広げ、かるくラップをする。
- ④ ③をテーブルプレートの中央に置き「おかず」68 プルコギ (→P.41) で加熱する。加熱後、かき混ぜる。

ちょっといい話 ！

肉・貝・野菜が入ってバランスのとれた一品。レタスやしそで巻いて、ごはんをプラスすればボリュームアップ！家族の笑顔がこぼれます。



加熱時間の目安	使用付属品
約 9 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
ほうれん草 (3cm 幅に切る)	200g
ベーコン (5mm 幅に切る)	2 枚 (約40g)
④ 塩こうじ	大さじ1
⑤ お好みでオリーブ油	小さじ1

作りかた

- ① ポリ袋(市販)に、ほうれん草、ベーコンと合わせた④を入れて混ぜ合わせる。
- ② 深めのさらにポリ袋から取り出した①を広げてのせ、かるくラップをする。
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き
おかず
69 ほうれん草の塩こうじソテー
(→P.41)で加熱する。

蒸し物

オート 50 茶わん蒸し



加熱時間の目安	使用付属品
約 33 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 6 人分	給水タンク 満水

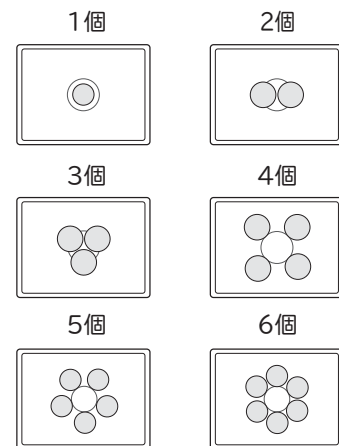
材料	4人分
卵	2個 (約100g)
だし汁	350~400mL
④ しょうゆ、塩	各小さじ 1/2
みりん	小さじ1
鶏もも肉(そぎ切り)	40g
酒	少々
殻つきえび	小4尾 (約40g)
かまぼこ(薄切り)	8枚
干しいたけ(戻して 石づきを取り、そぎ切り)	2枚 (8切れ)
ゆでぎんなん	8個
三つ葉	適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ボウルに卵を割り入れてよく溶きほぐし、④を加えて混ぜ、裏ごしする。
- ③ 鶏肉は酒をふりかけておく。えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。
- ④ 深めの耐熱容器に③を入れてラップまたはふたをしてレンジ200W
2~3分(→P.44~46)で加熱する。
- ⑤ 茶わん蒸し容器に④を入れ、三つ葉以外の具を盛り込み、②を4等分して注ぎ入れ、さっとかき混ぜ、共ぶたをする。
- ⑥ ⑤をテーブルプレートに茶わん蒸しのコツを参照して並べおかず
50 茶わん蒸し(→P.41)で加熱する。加熱後、加熱室から出して三つ葉のせ、ふたをして約5分蒸らす。

茶わん蒸しのコツ

- 容器は
直径が8cmくらいのふたつきの物で、ふたを含めた重量が約200g前後の物が適しています。
- 卵液の温度は20~25℃の物を
卵液の温度が低いときは仕上がり調節^強で、卵液の温度が高いときは^弱に調節します。
- 卵液は器の7分目くらいまで
- 茶わん蒸しの容器の置きかたは
1回に作る数によって下図を参照して並べます。4個以上はテーブルプレート中央の円の周囲に等間隔に離して並べます。(上から見た図)



- 加熱室は冷ましてから
オープン、グリル、脱臭使用後で、加熱室が熱いとうまく仕上がりにせん。
- 取り出すときは注意する
容器は熱くなっています。厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を用いて、気をつけて出してください。

応用
50

手作り豆腐



加熱時間の目安

約 28 分

1 回に作れる分量

1 ～ 4 人分

仕上がり調節^弱

材料	4人分
豆乳（成分無調整、大豆固形成分10%以上の物）	500mL
にがり	30～40mL
くあん	
① だし汁	カップ ½
② みりん	小さじ ½
③ しょうゆ	小さじ1
④ 塩	少々
⑤ 片栗粉	小さじ1
⑥ 水	小さじ1
しょうが（すりおろす）	適量
あさつき（小口切り）	適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ボウルに豆乳とにがりを入れ、よく混ぜる。
- ③ 茶わん蒸し容器に②を4等分して注ぎ入れ、共ぶたをする。
- ④ ③をテーブルプレートに茶わん蒸しのコツを参照して並べ、^{おかず}50 茶わん蒸し^{仕上がり調節}弱（→P.41）で加熱する。
- ⑤ 小さな鍋に④を入れて煮立て、合わせた⑥を加え、とろみをつける。
- ⑥ ④に⑤のあんをかけ、おろししょうが、あさつきをのせる。

【ひとくちメモ】

- でき上がりの豆腐のかたさは、豆乳の温度やにがりの種類、量によってかわります。
- にがりの量は、食品メーカーの指示に従い調節します。
- あんのかわりに、湯豆腐用のタレをかけてもよいでしょう。

手動

肉シューマイ



手動

レンジ

200W

約 5 ～ 7 分

使用付属品



テーブルプレート

材料	2人分(10個)
豚ひき肉	70g
干しいたけ（戻してみじん切り）	½ 枚
① 片栗粉	大さじ ½
② しょうゆ、砂糖、酒	各小さじ1弱
③ 塩、こしょう、ごま油、しょうが汁、にんにく（すりおろす）	各少々
玉ねぎ（みじん切り）	25g
シューマイの皮（市販の物）	10 枚


作りかた

- ① 容器に玉ねぎを入れ^{レンジ}500W^{約 40 秒}（→P.43～46）で加熱し、冷ましておく。
- ② ボウルに①と④を入れ、粘りがでるまでよく混ぜ合わせ、10等分する。
- ③ 親指と人差し指で輪を作って皮をのせ、②をのせて指のくぼみで円筒形にし、形を整える。
- ④ 皿にオープンシートを敷き、水にくぐらせた③を皿の中央をあけるように並べ、かるくラップをする。
- ⑤ ④をテーブルプレートの中央に置き^{レンジ}200W^{約 5 ～ 7 分}で加熱する。

蒸し物

オート 51 あさりの酒蒸し



加熱時間の目安	使用付属品
約 5 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	

材料	2人分
あさり (殻つき)、砂抜きをした物	300g
酒	カップ ¼
バター	小さじ1


作りかた
① あさりの殻と殻をこすり合わせてよく洗い、深めの皿の上に並べ、酒をかけてバターを散らし、かるくラップをする。
② ①をテーブルプレートの中央に置き おかず 51 あさりの酒蒸し (→P.41) で加熱する。

【ひとくちメモ】

あさは 3%の食塩水 (分量外) に 3 時間から半日、暗く涼しい場所において、砂をはかせます。食塩水の量はあさが半分つか程度です。あさが呼吸をして水を飛ばすことがあるので、アルミホイルかボウルをかぶせておきます。

オート 70 鶏の酒蒸し



加熱時間の目安	使用付属品
約 11 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	


材料	2人分
鶏むね肉 (1枚約200gの物、4等分に切る)	1枚
塩、こしょう	各少々
酒	大さじ ½
しょうが汁	少々

作りかた
① 鶏肉は皮にフォークなどで穴を開け、厚みのあるところに切り目を入れて、塩、こしょうをし、酒としょうが汁をふりかける。
② 深さのある平皿に①のをのせ、かるくラップをする。
③ ②をテーブルプレートの中央に置き おかず 70 鶏の酒蒸し (→P.41) で加熱する。

オート
71

鶏の簡単蒸し



加熱時間の目安	使用付属品
約 7 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
鶏むね肉 (皮なし、1枚約200gの物)	1枚
酒	大さじ1
塩	少々
しょうが汁	小さじ1
白菜 (ひとくち大に切る)	100g

作りかた

- 鶏肉は厚みのあるところに切り目を入れ、塩をふり、酒としょうが汁をふりかける。
- 深さのある平皿に①を置き、周りに白菜を広げる。ラップをかけるくかけ、テーブルプレートの中央に置き **おかず** [71 鶏の簡単蒸し] (→P.41) で加熱する。
- 加熱後、あら熱を取ってから切り分け、お好みでソースをかける。


鶏の簡単蒸しのコツ

- 切り目は
肉の厚さが 1cm 以上あるところに 1/3 以上、等間隔に入れます。
- 皿は
深さ 3 ~ 4cm の耐熱平皿を使用します。
- 加熱後は
冷蔵庫などで完全に冷ますと、よりしっとりとした食感になります。

オート
72

蒸し野菜のベーコン巻き



加熱時間の目安	使用付属品
約 6 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 3 人分	

材料	3人分(12個)
ベーコン	12枚
赤パプリカ、黄パプリカ、水菜、アスパラガス、えのきだけなど合わせて	200g
塩、こしょう	各少々

作りかた

- 野菜をひとくち大、または薄めに切り、ベーコンで巻き、楊枝で止めて、塩、こしょうをし、深さのある平皿に並べ、かるくラップをする。
- ①をテーブルプレートの中央に置き **おかず** [72 蒸し野菜のベーコン巻き] (→P.41) で加熱する。

香味ソース

材料	
長ねぎ (あらめのみじん切り)	1/2 本分
しょうが (みじん切り)	1かけ
しょうゆ	大さじ3
酢	大さじ3
ごま油	大さじ 1/2
ラー油	大さじ 1/2

作りかた

- 容器にすべての材料を入れよく混ぜる。

梅肉ソース

材料	
梅干し	5個
だし汁	大さじ1
みりん	大さじ 1/2
小ねぎ	適量

作りかた

- 梅干しは種を取り除き包丁でたたいてペースト状にし、残りの材料とよく混ぜる。

蒸し物

オート 73 なすときのこの蒸しサラダ



加熱時間の目安

約 7 分

1 回に作れる分量

1 ~ 2 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

2人分

	なす	2本 (約200g)
	ししとうがらし	6本 (約30g)
①	えのきだけ	50g
	まいたけ	50g
	油揚げ (1cm 幅の細切り)	1枚 (約30g)
②	塩こうじ	大さじ1
	しょうが (すりおろす)	小さじ 1/2
③	レモン汁	小さじ2
	お好みでオリーブ油	大さじ 1/2

作りかた

- ① なすは、へたを切り取ってタテに 8 等分し、水にさらしておく。
- ② ①のえのきだけと、まいたけは石づきを切ってほぐす。
- ③ 合わせた③をポリ袋 (市販) に入れ、合わせた②と①を加えて混ぜ合わせる。
- ④ 深さのある平皿にポリ袋から取り出した③を広げてのせ、かるくラップをする。
- ⑤ ④をテーブルプレートの中央に置き **おかず** **73 なすときのこの蒸しサラダ** (→P.41) で加熱し、かき混ぜる。

【ひとくちメモ】

冷やして食べてもよいでしょう。

揚げ物 (ノンフライ)

オート 19 鶏のから揚げ



加熱時間の目安

約 37 分

1 回に作れる分量

2 ~ 4 人分

使用付属品



黒皿 上段

材料

4人分 (12個)

鶏もも肉 (皮つき、1枚約250g の物)	2枚
から揚げ粉 (市販の物)	大さじ4 (約40g)

作りかた

- ① 鶏肉は 1 枚を 6 等分にして、から揚げ粉をまぶしてよくもみこみ、しっとりするまで 5 分程度おき、余分な粉をたたいて落とす。
- ② テーブルプレートを取り外し、①の皮を上にして、黒皿の中央に寄せて並べ、上段に入れ **ノンフライ 19 鶏のから揚げ** (→P.41) で加熱する。

鶏のから揚げ・鶏のしょうゆから揚げのコツ

- から揚げ粉 (市販の物) は
まぶすタイプの物を使用します。水で溶くタイプの物は上手に仕上がりにません。
- から揚げ粉の量は
表示の分量より多くまぶすと、粉が残る仕上がりになります。
- 骨付きの鶏肉は
仕上がりに調節 **強** で加熱します。
- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオーブンシートを敷きます。

オート 28 鶏のしょうゆから揚げ



加熱時間の目安	使用付属品
約 37 分	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	

材料	4人分(12個)
鶏もも肉(皮つき、1枚約250gの物)	2枚
しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ1½
④ しょうが(すりおろす)	小さじ1½
にんにく(すりおろす)	小さじ1½
こしょう	少々
片栗粉	大さじ1

- 作りかた**
- 鶏肉は1枚を6等分して④につけ込み、15分程度おく。
 - ①の汁けをかるく切ってポリ袋(市販)に片栗粉を入れ、鶏肉を加えて、もみ込むようにしてまぶす。
 - ポリ袋から取り出した②の皮を上にして黒皿の中央に寄せて並べる。
 - テーブルプレートを取り外し、③を上段に入れ「ノンフライ」28 鶏のしょうゆから揚げ (→P.41) で加熱する。

オート 20 とんカツ



加熱時間の目安	使用付属品
約 35 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	

材料	4人分
豚ロース肉(厚さ約1cm、1枚約100gの物)	4枚
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	適量
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉(→P.94)	60g


- 作りかた**
- 豚肉に塩、こしょうをする。
 - ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
 - テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオーブンシートを敷き、中央に②を寄せて並べ、下段に入れ「ノンフライ」20 とんカツ (→P.41) で加熱する。

- とんカツのコツ**
- 2人分は
仕上がり調節「弱」で加熱します。
 - まぶす小麦粉は
まんべんなくつけてください。
まぶす目安は大さじ3～4です。
 - 油は使わない
衣は煎りパン粉(→P.94)を使います。

(ノンフライ)

オート 21 手羽先のから揚げ




加熱時間の目安	使用付属品
約 37 分	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 人分	

材料	4人分
鶏手羽先 (1本約60g の物)	8本
片栗粉	大さじ2
砂糖	大さじ1
塩	小さじ 1/2
しょうゆ	大さじ1
④ 酒	大さじ1
みりん	大さじ2
にんにく (すりおろす)	1片
長ねぎ (みじん切り)	10g
七味とうがらし	少々

作りかた
① 鶏肉は肉の厚い部分にかくし包丁をいれ、④につけ込み、15分程度おき、かるく汁けを切る。
② テーブルプレートを取り外し、黒皿の中央に①を寄せて並べ、上段に入れ ノンフライ 21 手羽先のから揚げ (→P.41) で加熱する。

オート 29 豚のから揚げ



加熱時間の目安	使用付属品
約 37 分	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 人分	

材料	4人分 (12個)
豚バラ肉	400 g
から揚げ粉 (市販の物)	大さじ 4 (約 40 g)

作りかた
① 豚肉は 1.5 ～ 2cm 厚さの 12 等分にして、から揚げ粉をまぶし、5分程度おき、余分な粉をたたいて落とす。
② テーブルプレートを取り外し、黒皿の中央に①を寄せて並べ、上段に入れ ノンフライ 29 豚のから揚げ (→P.41) で加熱する。

手羽先のから揚げ・豚のから揚げのコツ

- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオーブンシートを敷きます。

オート
30

くしカツ



加熱時間の目安

約 35 分

1 回に作れる分量

2 ～ 3 人分

使用付属品



黒皿 下段

材料

3人分(6本)

豚ロース肉
(厚さ約1cm、1枚約100gの物)
長ねぎ(3～4cmの長さに切る)
塩、こしょう
小麦粉(薄力粉)
卵(溶きほぐす)
煎りパン粉(→P.94)

3枚
1本
各少々
適量
1個
60g

作りかた

- ① 豚肉は1枚を6等分にし、塩、こしょうをする。
- ② ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- ③ ②と長ねぎを交互に竹ぐしに刺して、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、並べる。
- ④ テーブルプレートを取り外し、③を下段に入れ、**ノンフライ 30 くしカツ**(→P.41)で加熱する。

ヒレカツ・くしカツのコツ

- 2人分は
仕上がり調節**弱**で加熱します。
- まぶす小麦粉は
まんべんなくつけてください。
まぶす目安は大さじ3～4です。
- 油は使わない
衣は煎りパン粉(→P.94)を使います。
オープン 予熱無 170℃(→P.50)で様子を見ながら加熱します。

オート
31

ヒレカツ



加熱時間の目安

約 35 分

1 回に作れる分量

2 ～ 4 人分

使用付属品



黒皿 下段

材料

4人分(16個)

豚ヒレ肉(かたまり)
塩、こしょう
小麦粉(薄力粉)
卵(溶きほぐす)
煎りパン粉(→P.94)

400g
各少々
適量
1個
60g

作りかた

- ① 豚肉は1cm厚さの16等分に切り、塩、こしょうをする。
- ② ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- ③ テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に②を寄せて並べ、下段に入れ、**ノンフライ 31 ヒレカツ**(→P.41)で加熱する。

(
揚げ物
ノン
フライ)

オート 32 チキンカツ



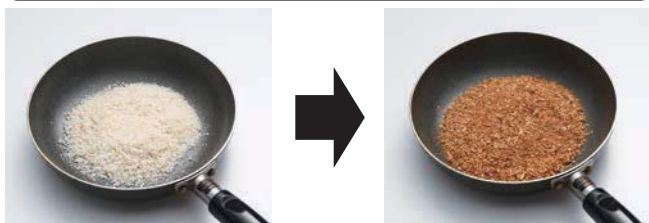
加熱時間の目安	使用付属品
約 20 分	黒皿 下段
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 人分	

材料	4人分(12個)
鶏ささみ	6本
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	適量
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉	60g

作りかた

- 鶏肉は2等分にし、塩、こしょうをする。
- ①に小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に②を寄せて並べ、下段に入れ「ノンフライ」32 チキンカツ (→P.41) で加熱する。

煎りパン粉の作りかた



材料・作りかた

- フライパンにパン粉を入れ、全体がきつね色になるまで煎る。煎った色がほぼ加熱後の焼き色になるため、均一に色がつくよう焦がさないように途中でこまめにゆずって煎り、冷ます。

オート 22 ポテトコロッケ



加熱時間の目安	使用付属品
約 23 分	黒皿 下段
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 人分	

材料	4人分(8個)
じゃがいも	中2個(約300g)
豚ひき肉	150g
玉ねぎ(みじん切り)	100g
塩、こしょう	各少々
卵(溶きほぐす)	1個
小麦粉(薄力粉)	適量
煎りパン粉	適量

作りかた

- じゃがいもは、よく洗い、皮をむいて1cmのさいの目に切りラップをして「18 下ゆで 根菜」仕上がり調節「弱」(→P.39、40)で加熱し、ボウルに移し熱いうちに潰しておく。
- 耐熱容器に豚肉と玉ねぎを入れ「レンジ」600W「約5分」(→P.43～46)で加熱し、加熱後ほぐす。
- ②に①を加え塩、こしょうをふり、よく混ぜ合わせ8等分(1個約55g)し、厚さ1cmの小判形にして小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- テーブルプレートを取り外し、オープンシートを敷いた黒皿に③を並べ、下段に入れ「ノンフライ」22 ポテトコロッケ (→P.41) で加熱する。

ポテトコロッケのコツ

- 2人分は
仕上がり調節「弱」で加熱します。
- まぶす小麦粉は
まんべんなくつけてください。
まぶす目安は大きじ3～4です。
- 油は使わない
衣は煎りパン粉を使います。

オート
23

えびフライ



加熱時間の目安

約 28 分

1 回に作れる分量

2 ～ 4 人分

使用付属品



黒皿 下段



給水タンク 満水

材料

4人分(16本)

殻つきえび	16尾
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	適量
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉(→P.94)	60g

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。
- ③ ②に塩、こしょうをし、小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- ④ テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に③を寄せて並べ、下段に入れ「ノンフライ」23 えびフライ(→P.41)で加熱する。

オート
24

あじフライ



加熱時間の目安

約 27 分

1 回に作れる分量

2 ～ 3 人分

使用付属品



黒皿 下段



給水タンク 満水

材料

3人分(6枚)

あじ(3枚におろした物)	3尾分(6切れ)
塩、こしょう	各少々
小麦粉(薄力粉)	適量
卵(溶きほぐす)	1個
煎りパン粉(→P.94)	60g

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② あじに塩、こしょうをし、小麦粉、卵、煎りパン粉の順につける。
- ③ テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、②を並べ、下段に入れ「ノンフライ」24 あじフライ(→P.41)で加熱する。



えびフライ・あじフライのコツ

- えびフライの2人分は
仕上がり調節「弱」で加熱します。
- 油は使わない
衣は煎りパン粉(→P.94)を使います。

(ノンフライ物)

オート 25 えびの天ぷら



加熱時間の目安	使用付属品
約 28 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 4 人分	
材料	4人分(16本)
殻つきえび	16尾
小麦粉(薄力粉)	適量
卵(溶きほぐす)	1個
天かす	60g

作りかた



- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 天かすをポリ袋(市販)に入れ、めん棒で細かくくだく。
- ③ えびは尾と一節を残して殻をむき、背わたを取る。
- ④ 水けを切った③に小麦粉、卵、②の順につける。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に④を寄せて並べ、下段に入れ **ノンフライ** 25 えびの天ぷら (→P.41) で加熱する。

天ぷらのコツ

- まぶす小麦粉は
まんべんなくつけてください。
まぶす目安は大さじ 3 ～ 4 です。
- 油は使わない
衣は天かすを使います。
- 材料の大きさ、厚さはそろえて
大きさは同じくらいの物を使います。かぼちゃやさつまいもなどの野菜は、7mm くらいの厚さに切ります。
- 冷めた天ぷらのあたためは
9 揚げ物のあたため (→P.34、35) で加熱します。

オート 33 桜えびのかき揚げ



加熱時間の目安	使用付属品
約 17 分	 黒皿 中段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
2 ～ 3 人分	
材料	3人分(6枚)
① 桜えび(釜揚げ)	90g
小ねぎ(小口切り)	15g
小麦粉(薄力粉)	大さじ 1
小麦粉(薄力粉)	小さじ 2
② 片栗粉	小さじ 1
ベーキングパウダー	小さじ 1/2
水	20mL

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ①をボウルに入れて混ぜる。さらに小麦粉を加えてよく混ぜる。
- ③ ②をなめらかになるまで混ぜ、②に加え、むらのないようによく混ぜる。
- ④ オープンシートを敷いた黒皿の中央に③を寄せて、円形で平らに 6 等分し、広げて並べる。
- ⑤ テーブルプレートを取り外し、④を中段に入れ **ノンフライ** 33 桜えびのかき揚げ (→P.41) で加熱する。

桜えびのかき揚げのコツ

- まぶす小麦粉は
まんべんなくつけてください。
まぶす目安は大さじ 3 ～ 4 です。
- 2 人分は
仕上がり調節 **弱** で加熱します。

オート 34 魚介の天ぷら

加熱時間の目安	使用付属品
約 28 分	黒皿 下段
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	給水タンク 満水

材料	4人分
右記から1種類選択 《きすの天ぷら》 きす（開いてある物、1枚約20gの物）	12枚
《いかの天ぷら》 いか（生食用、1.5cm幅の輪切り）	12個
《あなごの天ぷら》 あなご（煮あなご、1切れ約20gの物）	12枚
小麦粉（薄力粉）	適量
卵（溶きほぐす）	1個
天かす	60g

作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- 天かすをポリ袋（市販）に入れ、めん棒で細かくくだく。
- 水けを切ったきす、いか、またはあなごに小麦粉、卵、②の順につける。
- テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に③を寄せて並べ、下段に入れ「ノンフライ」34 魚介の天ぷら（→P.41）で加熱する。

オート 35 野菜の天ぷら

加熱時間の目安	使用付属品
約 28 分	黒皿 下段
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	給水タンク 満水

材料	4人分
右記から1種類選択 《かぼちゃの天ぷら》 かぼちゃ（7mm厚さの薄切り）	16枚
《さつまいもの天ぷら》 さつまいも（7mm厚さの輪切り）	16枚
《れんこんの天ぷら》 れんこん（7mm厚さの輪切り）	16枚
小麦粉（薄力粉）	適量
卵（溶きほぐす）	1個
天かす	60g

作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- 天かすをポリ袋（市販）に入れ、めん棒で細かくくだく。
- 水けを切ったかぼちゃ、さつまいも、またはれんこんに小麦粉、卵、②の順につける。
- テーブルプレートを取り外し、黒皿にアルミホイルまたはオープンシートを敷き、中央に③を寄せて並べ、下段に入れ「ノンフライ」35 野菜の天ぷら（→P.41）で加熱する。

オート 26 チキン南蛮



加熱時間の目安	使用付属品
約 38 分	黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	

材料	4人分(12個)
鶏もも肉（皮つき、1枚約250gの物）	2枚
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
① しょうが（すりおろす）	小さじ1½（約10g）
塩、こしょう	各少々
片栗粉	大さじ3

〈甘酢ダレ〉

しょうゆ	大さじ2
酢	大さじ2
② 砂糖	大さじ1½
赤とうがらし（乾燥、小口切り）	½本

〈タルタルソース〉

卵（溶きほぐす）	1個
ピクルス（みじん切り）	2個（約40g）
③ マヨネーズ	大さじ4
塩、こしょう	各少々

作りかた

- 鶏肉は1枚を6等分して、肉の分厚い部分にかくし包丁をいれ、①につけ込み、15分程度おく。
- 耐熱容器に⑧を入れ「レンジ」600W「約2分」（→P.43~46）で加熱し、かき混ぜ、甘酢ダレを作る。
- 耐熱容器に卵を入れ「レンジ」500W「約1分」で加熱し、③を加えフォークで卵が細くなるようにかき混ぜ、タルタルソースを作る。
- ポリ袋（市販）に片栗粉を入れ、①の汁をかるく切って加え、もみ込むようにしてまぶす。
- ポリ袋から取り出した④の余分な片栗粉をたたいて落とし、皮を上にして黒皿の中央に寄せて並べる。
- テーブルプレートを取り外し、⑤を上段に入れ「ノンフライ」26 チキン南蛮（→P.41）で加熱する。
- 加熱後、すぐに鶏肉を②の甘酢ダレにつけ、皿に盛りつけ、③のタルタルソースを添える。

チキン南蛮のコツ

- 2人分は
仕上がり調節「弱」で加熱します。
- 骨付きの鶏肉は
仕上がり調節「強」で加熱します。
- 黒皿の汚れが気になるときは
アルミホイルまたはオープンシートを敷きます。

オート 27 さつま揚げ



加熱時間の目安	使用付属品
約 20 分	黒皿 上段
1 回に作れる分量	
2 ~ 3 人分	

材料	3人分(6個)
いわしのすり身	200g
にんじん（せん切り）	75g
枝豆（ゆでた物）	75g
塩	小さじ⅓
砂糖	大さじ1
しょうゆ	小さじ½
① みりん	小さじ1
酒	小さじ1
しょうが汁	小さじ1
卵白	1個分

作りかた

- すり鉢に、いわしのすり身と塩を入れてよくすり混ぜ、粘りが出てきたら①を入れてさらに混ぜる。
- ①に、にんじんと水けを切った枝豆を加え、木べらで混ぜ合わせ6等分する。
- 手に水をつけ、②を厚さ1cmの円形にのばし、形を整える。
- オープンシートを敷いた黒皿に③を並べる。
- テーブルプレートを取り外し、④を上段に入れ「ノンフライ」27 さつま揚げ（→P.41）で加熱する。

さつま揚げのコツ

- 2人分は
仕上がり調節「弱」で加熱します。

（ノンフライ物）揚げ物

オート 36 がんもどき



加熱時間の目安	使用付属品
約 15 分	黒皿 上段
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分 (4個)
木綿豆腐	½ 丁
殻つきえび	2 尾
鶏ひき肉	25g
片栗粉	15g
酒	大さじ ½
砂糖	小さじ ½
塩	小さじ ⅓
しょうゆ	小さじ ½
にんじん (せん切り)	20g
さやえんどう (せん切り)	2 枚
生しいたけ (石づきを取り、せん切り)	1 枚

作りかた

- 豆腐はキッチンペーパーで包み、重しをのせて十分に水切りをする。
- 野菜はラップに包みレンジ500W 約 40 秒 (→P.43~46) で加熱する。
- すり鉢に、えびを入れてよくすりつぶし、①と鶏肉、片栗粉、④を加えてすり混ぜる。
- ③に②を入れ、木しゃもじでさっくりと混ぜる。
- ④を 4 等分にし、手にサラダ油 (分量外) をつけて厚さ 1cm の円形にする。
- オープンシートを敷いた黒皿の中央に⑤を寄せて並べる。
- テーブルプレートを取り外し、⑥を上段に入れノンフライ 36 がんもどき (→P.41) で加熱する。

がんもどきのコツ

- 豆腐の水切りはしっかり行ないます。水切りが足りないと生地がまとまりにくくなります。
- 1 人分は仕上がり調節弱で加熱します。

煮物

オート 52 肉じゃが



加熱時間の目安	使用付属品
約 58 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	

材料	4人分
豚バラ薄切り肉 (ひとくち大に切る)	150g
じゃがいも (乱切りにして水にさらす)	中2個 (約300g)
にんじん (乱切り)	小1本 (約100g)
玉ねぎ (くし形切り)	100g
干しいたけ (戻して石づきを取り、半分に切る)	6 枚
だし汁	カップ 1½
しょうゆ	大さじ 3
酒	カップ ½
砂糖	大さじ 4
サラダ油	適量
さやえんどう (ゆでた物)	適量

作りかた

- フライパンにサラダ油を熱し、豚肉をいためる。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①と④を入れ、合わせた⑥を加えオープンシートで落としがた (煮物のコツ参照) をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置きおかず 52 肉じゃが (→P.41) で加熱する。
- 加熱後、取り出してからよく混ぜそのまま約 20 分おき、味をしみ込ませ、さやえんどうを添える。

応用 52 ロールキャベツ



加熱時間の目安	約 58 分
1 回に作れる分量	4 人分

材料	4人分
キャベツ	8 枚 (約500g)
合びき肉	200g
玉ねぎ (みじん切り)	50g
牛乳	大さじ 3
パン粉	30g
卵 (溶きほぐす)	大さじ 1
ナツメグ、塩、こしょう	各少々
スープ (顆粒スープの素)	カップ 1½ (大さじ 1½)
トマトケチャップ	大さじ 4
しょうゆ	小さじ 2
塩、こしょう	各少々
玉ねぎ (薄切り)	50g

作りかた

- キャベツは芯の部分と葉先を交互に重ねてラップで包み 17 下ゆで葉・果菜 (→P.39、40) で加熱して水けを切る。
- ①の芯を薄くそいでみじん切りにし、④と合わせて入れ、よくねり混ぜる。
- ②を 8 等分して俵形にし、広げた①の葉にのせて包む。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに玉ねぎを敷き、③を並べ、合わせた⑥を加え、オープンシートで落としがた (煮物のコツ参照) をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置きおかず 52 肉じゃが (→P.41) で加熱する。

煮物のコツ

- 容器は大きくて深めの物を 直径約 25cm (内径約 22.5cm)、深さ約 10cm の広口耐熱ガラスボウルが適しています。プラスチック製の物は使わないでください。
- 肉じゃがの 2 人分は仕上がり調節やや弱で加熱します。
- 材料は大きさをそろえて 材料は大きさや形を切りそろえると、むらなくでき上がります。
- 料理に合わせた下ごしらえを アクのある野菜や火の通りにくい材料は下ゆでをします。また、焦げ目がほしい物はフライパンでいためてから煮込みます。
- 煮汁は多めにする 煮汁は、材料がかぶるくらいの量にします。
- オープンシートで落としがたをする 煮汁が全体にゆきわたるようにします。落としがたは、オープンシートを容器の大きさよりひとまわり小さく丸形に切り、十文字の切り目を入れた物をのせて加熱します。金属製の物は使わないでください。
- 加熱後はしばらく置く 味をなじませます。

手動

ビーフシチュー



手動

レンジ

600W

6～10分

200W

60～70分

使用付属品



テーブルプレート

材料	4人分
牛シチュー用肉 (1.5～2cm 厚さ、3cm 角に切る)	400g
塩、こしょう	各少々
じゃがいも (乱切りにして水にさらす)	200g
④ にんじん (乱切り)	中1本 (約150g)
玉ねぎ (くし形切り)	200g
バター	大さじ1
デミグラスソース (缶詰)	290g
水	カップ1
トマトピューレ	大さじ2
⑤ 赤ワイン	大さじ3
塩	小さじ $\frac{1}{2}$
こしょう	少々
ローリエ	2枚
生クリーム	適量

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱容器に、塩、こしょうをした肉と ④ を入れ、かるくラップをし、**レンジ600W** 約6分30秒 (→P.43～46) で加熱し、かき混ぜる。
- ② 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに、①と⑤を入れてかき混ぜ、オーブンシートで落としがた (煮物のコツ参照) をし、テーブルプレートの中央に置き**レンジ600W** 6～10分、**レンジ200W** 60～70分 (→P.47) でリレー加熱する。
- ③ 加熱後、よくかき混ぜてから生クリームをかける。

手動

カレー (ポーク&ビーフ)



手動

レンジ

600W

6～10分

200W

30～40分

使用付属品



テーブルプレート

材料	4人分
豚または牛シチュー・カレー用肉 (1.5～2cm 厚さ、2cm 角に切る)	200g
塩、こしょう	各少々
バター	大さじ1
じゃがいも (乱切りにして水にさらす)	200g
④ 玉ねぎ (くし形切り)	200g
にんじん (乱切り)	小 $\frac{1}{2}$ 本 (約100g)
カレールー	小1箱 (約120g)
水	カップ2 $\frac{1}{2}$
⑤ インスタントコーヒー	お好みで 小さじ $\frac{1}{2}$
はちみつ	お好みで 小さじ $\frac{1}{2}$

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱容器に塩、こしょうをした肉と④、バターを入れ、かるくラップをし**レンジ600W** 約5分 (→P.43～46) で加熱し、かき混ぜる。
- ② 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに⑤を入れて**レンジ600W** 約5分30秒 (→P.43～46) で加熱し、よくかき混ぜてルーを溶かす。
- ③ ②に①を加えてよくかき混ぜ、オーブンシートで落としがた (煮物のコツ参照) をし、テーブルプレートの中央に置き**レンジ600W** 6～10分、**レンジ200W** 30～40分 (→P.47) でリレー加熱する。加熱後、よくかき混ぜる。

カレー (ポーク & ビーフ) のコツ

■ 野菜は

①の工程をフライパンでいためるとより野菜のうま味を引き出します。


■ お好みで

インスタントコーヒーやはちみつを加えるとよりコクがでます。

煮物

オート 53 筑前煮



加熱時間の目安	使用付属品
約 25 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
2 ~ 4 人分	


材料	4人分
鶏もも肉 (ひとくち大に切る)	200g
にんじん (乱切り)	100g
ごぼう (乱切りにし、酢水につける)	100g
れんこん (乱切りにし、酢水につける)	100g
こんにゃく (ひとくち大に切る)	100g
干しいたけ (戻して石づきを取り、4つに切る)	4枚
だし汁	カップ1¼
酒	大さじ5
しょうゆ	カップ⅓
砂糖	大さじ4
サラダ油	適量

作りかた

- フライパンにサラダ油を熱し、鶏肉をいためて取り出し、野菜とこんにゃくをいためる。
- ①と④を大きくて深めの耐熱ガラスボウルに入れ、オープンシートで落としぶた (煮物のコツ参照 (→P.98)) をし、テーブルプレートの中央に置き **おかず 53 筑前煮** (→P.41) で加熱する。
- 加熱後、取り出してからかき混ぜてから約 20 分おき、味をしみ込ませる。

オート 55 肉豆腐



加熱時間の目安	使用付属品
約 10 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 3 人分	

材料	3人分
牛バラ薄切り肉 (ひとくち大に切る)	200g
④ 長ねぎ (5mm 幅のナナメ切り)	70g
えのきだけ (石づきを取り、ほぐす)	100g
糸こんにゃく	100g
木綿豆腐	1丁 (約300g)
砂糖	大さじ2
しょうゆ	大さじ3
酒	大さじ1
だし汁	カップ½

作りかた

- 豆腐は水切りをして 9 等分する。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに牛肉と糸こんにゃくを離して①と④を並べて入れる。
- 合わせた⑥をかけ、オープンシートで落としぶた (煮物のコツ参照 (→P.98)) をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き **おかず 55 肉豆腐** (→P.41) で加熱してかき混ぜる。

応用 55 鶏ささみと豆腐のみぞれ煮



加熱時間の目安	約 10 分
1 回に作れる分量	1 ~ 3 人分

材料	3人分
木綿豆腐	1丁 (約300g)
鶏ささみ (筋を取ってそぎ切り)	200g
大根おろし	200g
しょうが (すりおろす)	小さじ1
だし汁	カップ¾
しょうゆ	大さじ1
④ みりん	大さじ1
酒	小さじ2
砂糖	大さじ½
塩	少々
あさつき (小口切り)	適量

作りかた

- 豆腐は水切りをして 9 等分する。
- 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①と鶏肉、合わせた④を入れてかき混ぜる。
- ②にオープンシートで落としぶた (煮物のコツ参照 (→P.98)) をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き **おかず 55 肉豆腐** (→P.41) で加熱する。
- 加熱後、あさつきを添える。

オート
74

さばのみそ煮



加熱時間の目安	使用付属品
約 30 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 3 人分	

材料	3人分
さばの切り身 (1切れ約100gの物)	3切れ
長ねぎ (5cmの長さに切る)	½ 本
しょうが(薄切り)	½ かけ
水	カップ ¼
④ みそ	大さじ2½
砂糖	大さじ1½
酒	大さじ3

作りかた

- ① さばは皮に切り目を入れ、熱湯にくぐらせ、氷水に取り出し、余分な汚れやぬめりを取り、ザルに上げる。
- ② 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに水けをふき取った①を入れ、合わせた④を入れてよくからめてから、皮を下にして並べ、長ねぎを添える。
- ③ オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、テーブルプレートの中央に置き「おかず」74 さばのみそ煮(→P.41)で加熱する。

オート
75

きんぴらごぼう

加熱時間の目安	使用付属品
約 10 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
2 ~ 3 人分	

材料	3人分
ごぼう (せん切りにし、酢水につける)	100g
ピーマン(せん切り)	1個
にんじん(せん切り)	30g
砂糖	大さじ1½
しょうゆ	大さじ1
④ 塩	小さじ½
酒	大さじ2
みりん	大さじ¾
ごま油	小さじ1

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルにごぼうとピーマン、にんじんを入れ、合わせた④を加えて混ぜる。
- ② オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、テーブルプレートの中央に置き「おかず」75 きんぴらごぼう(→P.41)で加熱する。
- ③ 加熱後、落としがたを取って、かき混ぜる。

応用
76

かぼちゃの煮物



加熱時間の目安	約 11 分
1 回に作れる分量	2 ~ 4 人分
材料	4人分
かぼちゃ (3cm 角に切る)	500g
だし汁	カップ¾
④ しょうゆ	大さじ1½
砂糖	大さじ2
酒	大さじ1

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルにかぼちゃと合わせた④を入れてかき混ぜて、オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き「おかず」76 簡単肉じゃが(→P.41)で加熱する。
- ② 加熱後、かるくかき混ぜてから約10分おき、味をしみこませる。

オート
76

簡単肉じゃが



加熱時間の目安	使用付属品
約 11 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ~ 2 人分	

材料	2人分
牛バラ薄切り肉 (ひとくち大に切る)	80g
じゃがいも (3cm 角に切る)	100g
④ にんじん (5mm の半月切り)	75g
玉ねぎ(薄切り)	50g
生しいたけ (石づきを取り、4つに切る)	2枚
めんつゆ(市販の物)	大さじ2½
⑥ みりん	小さじ1
水	大さじ1½

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに④を入れ、合わせた⑥を加える。
- ② オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き「おかず」76 簡単肉じゃが(→P.41)で加熱する。
- ③ 加熱後、かるくかき混ぜてから約10分おき、味をしみ込ませる。

応用
76

里いもの煮物



加熱時間の目安	約 11 分
1 回に作れる分量	1 ~ 2 人分
材料	2人分
里いも (ひとくち大に切る)	250g
だし汁	カップ¾
④ しょうゆ	小さじ2
砂糖	大さじ1
酒	大さじ½


作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに里いもと合わせた④を入れてかき混ぜて、オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き「おかず」76 簡単肉じゃが(→P.41)で加熱する。
- ② 加熱後、かるくかき混ぜてから約10分おき、味をしみこませる。

煮物

オート 54 ぶり大根



加熱時間の目安	使用付属品
約 35 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 3 人分	


材料	3人分
大根 (2cm 厚さの半月切り)	6 個 (約 200g)
ぶりの切り身 (1切れ約 100g の物)	2 切れ
水	カップ ¾
砂糖	大さじ 2
① しょうゆ	大さじ 2 ½
みりん	大さじ 1
しょうが (薄切り)	1 かけ

作りかた

- ① 大根は面取りをして、ラップで包み「18 下ゆで根菜」仕上がり調節「やや弱」(→P.39、40)で加熱し、水にさらす。
- ② ぶりは 3 等分して熱湯にくぐらせ、氷水に取り出し、氷水の中で余分な汚れやぬめりを取り、ザルに上げる。
- ③ 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに水けをふき取った①と②と、合わせた④を入れ、オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、テーブルプレートの中央に置き「おかず」54 ぶり大根(→P.41)で加熱する。
- ④ 加熱後、かるくかき混ぜ、そのまま約 20 分おいて味をしみ込ませる。

オート 56 ふろふき大根



加熱時間の目安	使用付属品
約 9 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 ～ 2 人分	

材料	2人分
大根	400g
だし汁	カップ 2
みそ	大さじ 3
① 砂糖	大さじ 2
みりん	大さじ 2
酒	大さじ 1
ゆずの皮 (せん切り)	少々

作りかた

- ① 大根は 2cm 幅の半月切りにし、皮を厚めにむいて面取りをしてから 3mm 幅の切り目を表面に入れておく。
- ② ①を重ならないように広げてラップに包み「レンジ」600W「約 1 分 30 秒」(→P.43～46)で加熱しラップをしたまま約 5 分おく。
- ③ 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに②とだし汁を入れる。
- ④ オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き「おかず」56 ふろふき大根(→P.41)で加熱する。
- ⑤ 加熱後、ラップをしたまま約 15 分おいてなじませ、器に取り分けて混ぜ合わせた④をかけて、ゆずの皮を散らす。

手動 おでん



手動	使用付属品
「レンジ」 500W 約 10 分	 テーブルプレート

材料	2人分
はんぺん	½ 枚
ちくわ	大 2 本
こんにゃく	½ 枚
大根	140g
さつま揚げ	1 枚
昆布 (乾燥した物)	4 個
だし汁	500mL
酒	大さじ 1
① みりん	大さじ ½
薄口しょうゆ	大さじ ½
塩	小さじ ½

作りかた

- ① はんぺんとこんにゃくは 2 等分にし、1 枚の厚みを半分になり、4 枚にする。
- ② ちくわは半分に切る。大根は厚さ 1cm の半月切りする。さつま揚げは 4 つに切る。
- ③ 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①、②、昆布、合わせた④を入れ、混ぜる。
- ④ オープンシートで落としがた(煮物のコツ参照(→P.98))をし、テーブルプレートの中央に置き「レンジ」500W「約 10 分」(→P.43～46)で加熱する。

警告

ゆで卵(殻つき・殻なしとも)
や生卵などは入れて加熱しない
卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります



ゆで卵



生卵



黄身や
目玉焼き

だし・汁物

オート 57 かつお昆布だし



加熱時間の目安	使用付属品
約 16 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
2 ～ 4 カップ	

材料	カップ3～4
水	カップ5
昆布	10g
かつおぶし	30g

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに水と昆布を入れ、一晩おく。
- ② ①をテーブルプレートの中央に置き **おかず** 57 かつお昆布だし (→P.41) で加熱する。
- ③ 加熱後、昆布を取り出し、かつおぶしを入れ、約 5 分おき、キッチンペーパーや布でこす。

応用 57 煮干し昆布だし

加熱時間の目安	約 16 分
1 回に作れる分量	2 ～ 4 カップ

材料	カップ3～4
水	カップ5
昆布	5g
煮干し (頭と内臓を取る)	35g

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルにすべての材料を入れ、一晩おく。
- ② ①をテーブルプレートの中央に置き **おかず** 57 かつお昆布だし (→P.41) で加熱する。
- ③ 加熱後、キッチンペーパーや布でこす。

オート 58 とん汁



加熱時間の目安	使用付属品
約 19 分	テーブルプレート
1 回に作れる分量	
2 ～ 3 人分	

材料	3人分
豚薄切り肉 (ひとくち大に切る)	100g
大根 (5mm 厚さのいちよう切り)	1/8 本 (約100g)
にんじん (5mm 厚さの半月切り)	1/4 本 (約40g)
④ ごぼう (2mm 厚さのナナメ切りにし、酢水につける)	1/3 本 (約50g)
里いも (3mm 厚さの輪切りにし、塩もみしてぬめりを取る)	2個 (約100g)
干しいたけ (戻して石づきを取り4つに切る)	2枚
⑤ だし汁	カップ3
みそ	大さじ2 1/2
長ねぎ (5mm 厚さのナナメ切り)	1/3 本 (約30g)

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに④を入れ、合わせた⑤を加える。
- ② ①にオープンシートで落としぶたをし、テーブルプレートの中央に置き **おかず** 58 とん汁 (→P.41) で加熱する。
- ③ 加熱後、長ねぎを加えて混ぜ合わせる。

応用 58 けんちん汁



加熱時間の目安	約 19 分
1 回に作れる分量	2 ～ 3 人分

材料	3人分
大根 (5mm 厚さのいちよう切り)	130g
にんじん (5mm 厚さの半月切り)	50g
ごぼう (2mm 厚さのナナメ切りにし、酢水につける)	65g
木綿豆腐 (ひとくち大に切る)	130g
里いも (3mm 厚さの輪切りにし、塩もみしてぬめりを取る)	3個 (約150g)
④ 干しいたけ (戻して石づきを取り4つに切る)	3枚
こんにゃく (アク抜きし、5mm 厚さの2cm角に切る)	65g
だし汁	カップ2 1/2
しょうゆ	大さじ1 1/2
⑤ 塩	小さじ 1/2
酒	大さじ1 1/2
みりん	小さじ1 1/2
小ねぎ (小口切り)	適量

作りかた

- ① 大根、にんじん、ごぼうはラップに包み **18 下ゆで根菜** (→P.39, 40) で加熱する。
- ② 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①と④を入れ、合わせた⑤を加えて、オープンシートで落としぶた (だし・汁物のコツ参照) をし、テーブルプレートの中央に置き **おかず** 58 とん汁 (→P.41) で加熱する。
- ③ 加熱後、小ねぎを添える。

だし・汁物のコツ

■ 容器は

直径約 25cm (内径約 22.5cm)、深さ約 10cm の広口耐熱ガラスボウルが適しています。

■ オープンシートで落としぶたをする

煮汁が全体にゆきわたるようにします。落としぶたは、オープンシートを容器の大きさよりひとまわり小さく丸形に切り、十文字の切り目を入れた物をのせて加熱します。金属製の物は使わないでください。



ごはん物・麺

手動

炊飯 (ごはん)



手動

レンジ

600W
約 10 分
200W
20 ~ 25 分

使用付属品



テーブルプレート

材料

4人分

米	カップ2 (320g)
水	440~480mL

作りかた

- ① 米は洗い、ザルに上げて水けを切る。
- ② 大きくて深めの煮込み容器に入れ、分量の水を加えてふたをして、30 分程度つけて吸水させる。
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き
レンジ600W 約 10 分、
レンジ200W 20 ~ 25 分
(→P.47) でリレー加熱してかき混ぜ、ふきんとふたをして蒸らす。

手動

赤飯 (おこわ)



手動

レンジ

600W
約 15 分

使用付属品



テーブルプレート

材料

4人分

もち米	カップ2(320g)
ゆでささげ	80g (乾燥豆約40g)
ささげのゆで汁	合わせて
水	280~320mL
ごま塩	少々

作りかた

- ① もち米は洗い、ザルに上げて水けを切る。
- ② 深めの煮込み容器に入れて分量のささげのゆで汁と水を加え、30 分程度つけて吸水させる。
- ③ ②にささげを加えてかき混ぜ、ふたをして、テーブルプレートの中央に置き
レンジ600W 約 15 分
(→P.43~46) で加熱してかき混ぜ、ふきんとふたをして蒸らす。
- ④ 器に盛り、ごま塩を添える。

【ひとくちメモ】

- ささげの量はお好みで加減します。
- 赤飯の色の濃淡は、ささげのゆで汁の量で加減します。

手動

山菜おこわ



手動

レンジ

600W
約 15 分

使用付属品



テーブルプレート

材料

4人分

もち米	カップ2(320g)
山菜(びん詰またはパック入り)	120g
水	280~320mL
酒	大さじ1
④ しょうゆ	大さじ 1/2
塩	少々

作りかた

- ① もち米は洗い、ザルに上げて水けを切り、深めの煮込み容器に入れて、分量の水を加えてふたをして、30 分程度つけて吸収させる。
- ② ①に汁けを切った山菜と④を加えてかき混ぜ、ふたをして、テーブルプレートの中央に置き
レンジ600W 約 15 分 (→P.43~46) で加熱してかき混ぜ、ふきんとふたをして蒸らす。

炊飯・赤飯・山菜おこわのコツ

- 米は吸水させる
炊く前に分量の水に 30 分程度つけ、十分吸水させます。
- 赤飯は加熱途中にかき混ぜる
加熱時間の 2/3 が経過するタイミングでかき混ぜると、むらなく上手に炊けます。
- 炊飯の水の量と加熱時間

米の量	水の量	レンジ600W (リレー加熱)	レンジ200W
カップ 1 (160g)	240 ~ 260mL	約 6 分	約 15 分
カップ 3 (480g)	640 ~ 700mL	約 13 分	約 30 分

- 容器は大きくて深めの物を使いふきこぼれないようにします
3 人以上は市販のふたつき煮込み容器を使うと便利です。
1・2 人分は直径約 25cm (内径約 22.5cm)、深さ約 10cm の広口耐熱ガラスボウルに、直径約 25cm の平皿でふたをした物が適しています。



- 赤飯 (山菜おこわ) の水の量と加熱時間

もち米の量	ささげ	水の量	加熱時間 レンジ600W
カップ 1 (160g)	40g	160 ~ 180mL	約 10 分
カップ 1 1/2 (240g)	60g	240 ~ 260mL	約 13 分

手動

カルボナーラ



手動

レンジ
600W
約 6 分
200W
4 ~ 6 分

使用付属品



テーブルプレート

材料	2人分
パスタ (太さ1.6mm の物)	160g
ベーコン (1cm 幅に切る)	100g
① 水	260mL
② オリーブ油	大さじ1
生クリーム	カップ ½
顆粒スープの素	小さじ1
③ バター	5g
卵黄 (溶きほぐす)	2個分
粉チーズ	大さじ2
粉チーズ	少々
黒こしょう	少々

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①を入れ、2等分したパスタを水に浸りやすいように方向をそろえて入れ、その上にベーコンを散らす。
- ② かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き **レンジ600W|約 6 分**、**レンジ200W|4 ~ 6 分** (→P.47) でリレー加熱する。
- ③ 加熱後、やけどに注意してラップを外し、よくかき混ぜて麺をほぐし、合わせた③を加えてさらに混ぜ器に盛り、粉チーズと黒こしょうを散らす。

手動

ペペロンチーノ



手動

レンジ
600W
約 5 分
200W
4 ~ 6 分

使用付属品



テーブルプレート

材料	2人分
パスタ (太さ1.6mm の物)	160g
水	260mL
① オリーブ油	大さじ1
② にんにく (すりおろす)	大さじ ½
赤とうがらし (乾燥、小口切り)	½ 本
塩	小さじ ⅓

作りかた

- ① 大きくて深めの耐熱ガラスボウルに①を入れ、2等分したパスタを水に浸りやすいように方向をそろえて入れる。
- ② かるくラップをしてテーブルプレートの中央に置き **レンジ600W|約 5 分**、**レンジ200W|4 ~ 6 分** (→P.47) でリレー加熱する。
- ③ 加熱後、やけどに注意してラップを外し、よくかき混ぜて麺をほぐし、塩を加えてさらに混ぜ器に盛る。

パスタのコツ

■ 容器は

直径約25cm (内径約22.5cm)、深さ約10cm の広口耐熱ガラスボウルを使います。

■ パスタは

なるべく水に浸るように方向をそろえて入れます。分量が少ない場合などボウルの形状によって水に浸りにくいときは、パスタを3等分して入れます。

■ 市販のソースは

好みでカルボナーラの③のかわりに使ってもよいでしょう。

■ オリーブ油は

好みでサラダ油やバター(2人分20g)にかえてもよいでしょう。

スイーツ

オート77 スポンジケーキ (デコレーションケーキ)



加熱時間の目安	使用付属品
約 46 分	黒皿 下段
1 回に作れる分量	
型 1 個分	給水タンク 満水

材料 (直径18cmの金属製ケーキ型1個分)

小麦粉 (薄力粉)	90g
砂糖	90g
卵 (卵黄と卵白に分ける)	3個
バニラエッセンス	少々
④牛乳 (室温に戻す)	小さじ2
バター	15g
ホイップクリーム	適量
くだもの (いちごなど)	各適量

共立て法の作りかた

③常温、室温に戻した卵をボウルに割り入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てる。
砂糖を加え、もったりするまで泡立てて (生地で「の」の字が書ける) からバニラエッセンスを加え、混ぜる。
作りかた⑤から同様に作る。



作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- 型にバター (分量外) を塗って硫酸紙 (ケーキ用型紙) を底と側面にぴったりと敷く。④を合わせ [レンジ200W 1~2分] (→P.44~46) で加熱して溶かす。 (直径18cmの場合。その他はスポンジケーキのコツを参照)
- ボウルに卵白を入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てて砂糖を加え、ツノが立つまでかたく泡立てる。 (別立て法)



- 卵黄を加えてさらに泡立てる。楊枝の先端から 1/4 を生地に刺してすぐに倒れなければ泡立ては十分。バニラエッセンスを加え、低速で混ぜる。
- 小麦粉をふるい入れ、木しゃもじまたはゴムべらでねらないように、粉けがなくなるまでボウルの底からすくいあげるようにしてさっくりと混ぜ、溶かした④を加えて手早く混ぜる。
- ②に⑤の生地を一気に型に流し入れ、型をトントンとかるく落として空気を抜き、黒皿にのせる。
- テーブルプレートを取り外し、⑥を下段に入れ [スイーツ/パン 77 スポンジケーキ] (→P.41) で加熱する。
- 加熱後、型ごと 10 ~ 20cm の高さから落として焼き縮みを防ぎ、型から取り出して硫酸紙をはがす。十分に冷まし、ホイップクリームやくだものなどで飾る。

スポンジケーキのコツ

■ 直径 15 ~ 21cm のケーキが作れます。

材料	直径 15cm	直径 18cm	直径 21cm
小麦粉 (薄力粉)	50g	90g	120g
砂糖	50g	90g	120g
卵	2個	3個	4個
バター	10g	15g	20g
牛乳	大さじ 1/4	小さじ 2	大さじ 1
②	約1分	約1分30秒	約2分
⑦	[スイーツ/パン 77 スポンジケーキ] 仕上がり調節		
	やや弱	中	やや強
加熱時間の目安	約 43 分	約 46 分	約 49 分

■ ケーキの型は

金属製で側面は止め金などのないフラットな物を使います。

■ 共立て法のときは

卵やボウルをあたためると泡立ちやすくなります。

■ 卵白の泡立ては十分に

泡立ての目安は、泡立て器がハンドミキサーで生地を持ち上げた跡がピンとツノが立ったようになるまでです。

■ 良好な仕上がりは

きめがそろっていてふくらみがよい。



■ 表面がへこむときは

型から出し、底を上にして冷ますとよいでしょう。

■ 手動調理で焼くときは (→P.56)

スポンジケーキ作りのポイント

断面	状態	原因
	●ふくらみが悪い ●全体にきめ (目) が詰まっている ●かたくしまっている	●卵の泡立てかたが足りない ●粉やバターを入れた後に混ぜ過ぎて、卵の泡がつぶれた (切るように混ぜる) ●生地を長時間放置した ●砂糖の量が少なかった
	●ふくらみが悪い ●ぼそぼそしている ●きめがあらく、粉がダマになって残っている	●小麦粉の混ぜかたが足りない ●小麦粉をふるっていない
	●表面に目立つシワがある ●全体にきめがあら ●中央部が沈む	●きちんと空気抜きをしていない ●ボウルに残っている泡の消えた生地を、型の中央に入れた (端の方へ入れる) ●小麦粉の量が少なかった ●粉やバターを入れた後に混ぜ過ぎて卵の泡がつぶれた (切るように混ぜる)
	●部分的に目の詰まったところがある ●ふくらみやきめにむらがある	溶かしバターが均一に混ざっていない (バターが熱いうちに混ぜること)



手動

オープン

予熱 約 9 分
150℃
48 ~ 54 分

使用付属品



黒皿 下段

材料 (直径18cmの底の抜けない金属製ケーキ型1個分)

④ クリームチーズ	150g
バター	30g
砂糖	90g
卵黄	3 個分
生クリーム (室温に戻す)	100mL
牛乳	50mL
レモン汁	大さじ 1
ブランデー	大さじ 1
コーンスターチ (ふるう)	40g
卵白	5 個分

作りかた

- ① 型の底面にバター (分量外) を塗って硫酸紙 (ケーキ用型紙) を底にぴったりと敷く。側面にはふちまでたっぷりとバター (分量外) を塗り、硫酸紙は敷かない。
- ② 耐熱ガラスボウルに④を入れ、**レンジ** 200W 2 ~ 3 分 (→P.44~46) で加熱して柔らかくし、なめらかになるまでハンドミキサーでよく混ぜる。
- ③ ②に砂糖 ½ 量を入れ、しっかり混ぜ、卵黄を加えてなめらかになるまで混ぜる。
- ④ ③に生クリーム、牛乳、レモン汁、ブランデーを順に加え、そのつどハンドミキサーで混ぜ、コーンスターチを加えて木しゃもじでダマにならないように混ぜる。
- ⑤ 別のボウルに卵白を入れ、七分通り泡立て残りの砂糖を加え、ツノが立つまで泡立てる。
- ⑥ ④に⑤を3回に分けて加え、さっくりと泡をこわさないように生地となじませながら混ぜる。
- ⑦ ⑥を型に入れ、かるくたたいて空気を抜く。
- ⑧ テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに**オープン** 予熱有 150℃ 48 ~ 54 分 (→P.49) で予熱する。
- ⑨ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、黒皿にキッチンペーパー2枚を敷き、熱湯 (カップ2・分量外) を黒皿に注ぎ、⑦をのせ下段に入れ、加熱する。
- ⑩ 加熱後、型とケーキの間にナイフを入れ、すき間を作る。ケーキが型の高さくらいまで沈み、完全に冷めてからゆっくりと型から取り出す。

【ひとくちメモ】

- 裏ごししたあんずジャム (大さじ1) をブランデー (小さじ1) で溶いた物をスフレチーズケーキの表面に塗ってもよいでしょう。
- スフレチーズケーキは、熱いうちに型から出すとくずれてしまいます。

オート 78 シフォンケーキ (プレーン)

加熱時間の目安

約 45 分

1 回に作れる分量

型 1 個分

使用付属品



黒皿 下段

材料 (直径20cmの金属製シフォン型1個分)

①	小麦粉 (薄力粉)	100g
	ベーキングパウダー	小さじ ½
	卵黄	4個分
	卵白	5個分
	塩	ひとつまみ
	砂糖	100g
	水	70mL
②	レモン汁	大さじ 1
	レモンの皮 (すりおろす)	1個分
	サラダ油	60mL



作りかた

- ① ボウルに卵黄と砂糖の ½ 量を入れ、ハンドミキサーで白っぽくなるまでよくねり、合わせた②を少しずつ加えて混ぜる。サラダ油を少しずつ加えながら、さらに混ぜて④をふるい入れ、ハンドミキサーの低速で、なめらかになるまで混ぜる。
- ② 別のボウルに卵白と塩を入れ、ハンドミキサーで七分通り泡立てて、泡の大きさがそろったところで残りの砂糖を加え、ツノが立つまで十分泡立てる。
- ③ ①に②の ½ 量を加え、木しゃもじでサッと混ぜ、残りを加えてさっくりと混ぜ、生地をやや高めめの位置から型に流し入れ、型をかるくトントンと落として空気を抜き、黒皿にのせる。
- ④ テーブルプレートを取り外し、③を下段に入れ「スイーツ/パン」78 シフォンケーキ (→P.41) で、加熱する。
- ⑤ 焼き上がったら、すぐに型を逆さにし、完全に冷ます。
- ⑥ 冷めたら、パレットナイフなどを型と生地の上に深く差し込み、上下に動かしながらいねいに側面をはがす。
- ⑦ 中央部もナイフを入れて同じように生地を外す。ひっくり返して底にナイフを差し込み、底をこすようにして、ゆっくりと型から外す。

【ひとくちメモ】

卵黄と卵白を同量 (卵 5 個) にしてもほぼ同様に焼けますが、ケーキの上部に焼きづまりが出ます。また、卵黄が多く入っている分、断面の色が黄色っぽくなり、スポンジケーキに近い仕上がりになります。

シフォンケーキのコツ

■ 直径 17 ~ 20cm のケーキが作れます

材料	直径 17cm	直径 20cm
小麦粉 (薄力粉)	75g	100g
ベーキングパウダー	小さじ ¼	小さじ ½
卵黄	3個分	4個分
卵白	4個分	5個分
塩	少々	ひとつまみ
砂糖	65g	100g
水	40mL	70mL
レモン汁	大さじ ¾	大さじ 1
レモンの皮	¾ 個分	1個分
サラダ油	30mL	60mL
加熱時間の目安	仕上がり調節	
	弱 約 42 分	中 約 45 分

■ ボウルやハンドミキサーはきれいな物を

ボウルやハンドミキサーなどに水分や油がついていると卵白が泡立ちにくくなります。

■ 卵黄生地のかたさは

さらさらし過ぎず、ぽってりし過ぎず、ホットケーキとクレープの中間位が最適です。

■ 泡立ちをよくするため、卵は新鮮な冷えた物を

卵白は約 10℃ が一番泡立ちが良くしっかりしたメレンゲが作れます。冷蔵庫で冷えた物を使いましょう。また、卵白に卵黄が混ざっていると泡立ちがよくありません。混ぜないように、しっかりと分けましょう。

■ シフォン型はバターを塗らない

バターなどを型に塗って焼くと、冷ます途中で型から外れて縮んでしまいます。表面にフッ素やシリコンが施されている型では上手に作れません。

■ 卵黄生地に卵白生地进行を混ぜるときは強く混ぜ過ぎないようにしましょう。あまり強く混ぜると、泡が消えてしまい、ふくらまなくなります。

■ シフォン型は

アルミ製の物を使いましょう。



■ 生地の空気抜きは

型に生地を入れた後、強く底を打ちつけて空気抜きをしないと、生地の底に加熱後大きな穴が開くことがあります。型をかるくとんとんと落として空気を抜きます。また、生地を流し入れた後に、型の内側の筒を引っ張ると空気が入ってしまいます。

■ 型は完全に冷ましてから

取り出してください。冷めないうちに取り出すと、しぼんでしまいます。

■ 手動調理で焼くときは (→P.56)

焼き上げの途中で表面の焼き色が濃くなったときは、表面にアルミホイルをのせて、さらに焼きます。




加熱時間の目安	使用付属品
約 53 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	
型 1 個分	

材料 (19×8.5cm、高さ6cmの金属製パウンド型1個分)

① 小麦粉 (薄力粉)	100g
ベーキングパウダー	小さじ ½
砂糖	80g
バター (室温に戻す)	100g
卵 (溶きほぐす)	2個
バニラエッセンス	少々
レーズン、アンゼリカ、チェリーなどの ドライフルーツ (細かくきざみ、ラム酒 大さじ1につけた物)	60g

作りかた

- ① 型にバター (分量外) を塗って硫酸紙 (ケーキ用型紙、またはオーブンシート) を敷く。
- ② ボウルにバターを入れ、ハンドミキサーで白っぽくなるまでよくねり、砂糖を2回に分けて加え、よく混ぜ、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- ③ 卵を少しずつ加えクリーム状になるまでよく混ぜ、ドライフルーツを加えて木しゃもじで混ぜ合わせる。
- ④ ③に①を合わせてふるい入れ、ねらないようにして混ぜる。
- ⑤ ④を型に入れ、型をかるく落として生地を詰め、生地の中央をくぼませて表面をならし、黒皿に図のようにのせる。
- ⑥ テーブルプレートを取り外し、⑤を下段に入れ **スイーツ/パン** **80 パウンドケーキ** (→P.41) で加熱する。

パウンドケーキのコツ

■ バターはよくすり混ぜる

十分空気を含ませてクリーム状になるまでねり、砂糖のざらつきがなくなり、ふんわりするまでよくすり混ぜます。

■ 型に入れて中央をくぼませる

中央は火の通りが悪いのでくぼませ、表面をならしてから加熱します。

■ 焼き上がりは

竹ぐしで中心を刺してみ、何もついていなければ焼けています。

■ 焼き上げ直後は

ケーキがまだ柔らかめでこわれやすいので、2～3分そのまま置き、紙ごと型から出してふきんをかけて冷めます。

■ 手動調理で焼くときは (→P.56)

手動

ロールケーキ (プレーン)



手動

オープン

予熱 約 9 分
150℃
14 ~ 18 分

使用付属品



黒皿 中段

材料 (1 本分)

小麦粉 (薄力粉)	80g
砂糖	80g
卵 (室温に戻す)	4個
バニラエッセンス	少々
① 牛乳	大さじ 1½
② バター	大さじ 1 強 (約 15g)
ホイップクリーム	適量
くだもの (いちごなど)	適量

作りかた

- ① 黒皿に薄くバター (分量外) を塗り、硫酸紙 (ケーキ用型紙) またはオープンシートを敷く。
- ② ①を合わせて [レンジ]200W [1 ~ 2 分] (→P.44~46) で加熱し、溶かす。
- ③ 卵をハンドミキサーで七分通り泡立てて砂糖を加え、もったりするまで十分に泡立て、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- ④ テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに [オープン] 予熱有 [150℃] [14 ~ 18 分] (→P.49) で予熱する。
- ⑤ ③に小麦粉をふるい入れ、木しゃもじで、さっくりと粉けがなくなるまで混ぜ、②を加えて手早く混ぜる。
- ⑥ ①に⑤の生地を一気に流し込み、底をたたいて、表面を平らにする。
- ⑦ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑥を中段に入れ、加熱する。
- ⑧ 焼き上がったらふきんの上に黒皿を返し、硫酸紙をはがして、焼き色のついている面を上にしてあら熱をとる。
- ⑨ 生地を裏返してナイフで1~2cm 間隔にすじをつけ、巻き終わりは2cm ほど残してホイップクリームを塗り、くだものを並べて手前から巻き、巻き終わりを下にして形が安定したら切る。

ロールケーキのコツ

■ 生地作りのポイントは

卵の泡立てかたと小麦粉の混ぜかたです。全卵の泡立てかたは、共立て法の作りかた (→P.106) を参照し、生地で「の」の字が書けるまでしっかり泡立ってます。小麦粉の混ぜかたは、ねらないようにさっくりと混ぜます。

■ 紙をはがすときは

熱いうちにサッと霧を吹くか、ぬれふきんで湿らせてから両手でゆっくりはがします。

■ 周りのかたさが気になるとき

ケーキの表面にシロップを塗るか、あら熱が取れたら乾いたふきんをかけてラップで包み、しばらくおいてから巻きます。

■ ホイップクリームを塗るときは

向こう側2cm ほど残して塗ると、巻き終わりがきれいです。

■ 焼きむらが気になるときは

加熱時間の ¾ ~ ¾ が経過してから、黒皿の前後を入れかえます。

手動

柔らかプリン



手動

スチームオープン

140℃
30 ~ 36 分

使用付属品



黒皿 中段



給水タンク 満水

材料 (直径約7cm、高さ約6cmの耐熱ガラス容器6個分)

〈カラメルソース〉

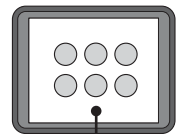
① 砂糖	40g
水	大さじ 1½
水	大さじ 1½

〈卵液〉

② 牛乳	カップ 1¼
生クリーム	100mL
砂糖	50g
卵黄 (溶きほぐす)	4個分
バニラエッセンス	少々
ホイップクリーム	適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 耐熱容器に①を入れ [レンジ]500W [4 ~ 5 分] (→P.43~46) で様子を見ながら加熱し、カラメル色になったら水を加える。(このとき、ソースが飛び散るので注意する)
- ③ 耐熱ガラス容器に②を小さじ 1 ずつ入れる。
- ④ 別の耐熱容器に②を合わせて入れ [レンジ]500W [2 ~ 3 分] で加熱し、かき混ぜて砂糖を溶かす。卵黄と合わせ、裏ごししてバニラエッセンスを加え、③の容器に分け入れる。
- ⑤ 黒皿に厚めのキッチンペーパーを 2 枚重ねにして中央に敷き、水カップ ¼ (分量外) を注ぎ入れ、その上に④を図のように並べる。
- ⑥ テーブルプレートを取り外し、⑤を中段に入れ [スチームオープン] 予熱無 [140℃] [30 ~ 36 分] (→P.51) で加熱する。
- ⑦ あら熱が取れたら冷蔵庫で冷やし、ホイップクリームなどお好みの物で飾る。



キッチンペーパー

柔らかプリンのコツ

■ 加熱する前の卵液の温度は

35 ~ 40℃にします。

■ 加熱室は冷ましてから

[オープン]、[グリル]、[脱臭] 使用後で、加熱室が熱いとうまく仕上がりにません。

型抜きクッキー

手動

オープン

予熱約 10 分
160℃
15 ~ 20 分

使用付属品



黒皿 中段

材料(黒皿1枚・48個分)

小麦粉(薄力粉)	170g
バター(室温に戻す)	85g
砂糖	60g
卵(溶きほぐす)	大 ½ 個
バニラエッセンス	少々

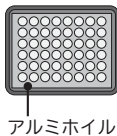


作りかた

- ① バターはハンドミキサーで白っぽくなるまでよくねり、砂糖を加えて、さらによく混ぜる。
- ② 卵を加えてクリーム状になるまでよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- ③ 小麦粉をふるいながら加え、木しゃもじでさっくりと混ぜる。ひとつにまとめてラップで包み、冷蔵庫で約1時間休ませる。
- ④ 生地をラップの間に挟み、めん棒で5mmの厚さにのばす。



- ⑤ 上のラップを外し、直径3cmの型で抜き、アルミホイルを敷いた黒皿に並べる。



アルミホイル

- ⑥ テーブルプレートを取り外し、⑤を中段に入れ[オープン]予熱有[160℃]15 ~ 20 分(→P.49)で加熱する。

手動

絞り出しクッキー

手動

オープン

予熱約 10 分
160℃
15 ~ 20 分

使用付属品



黒皿 中段

材料(黒皿1枚・48個分)

小麦粉(薄力粉)	130g
バター(室温に戻す)	80g
砂糖	40g
卵(溶きほぐす)	小1個 (約40g)
バニラエッセンス	少々
ドライフルーツ (小さく切った物)	適量

作りかた

- ① 型抜きクッキーの作りかた①～③を参照して生地を作り、菊型の口金をつけた絞り出し袋に入れる。
- ② アルミホイルを敷いた黒皿に①を絞り出し、上にドライフルーツを飾る。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②を中段に入れ[オープン]予熱有[160℃]15 ~ 20 分(→P.49)で加熱する。

手動

アーモンドクッキー

手動

オープン

予熱約 10 分
160℃
15 ~ 20 分

使用付属品



黒皿 中段

材料(黒皿1枚・48個分)

① 小麦粉(薄力粉)	120g
② ベーキングパウダー	小さじ ½
バター(室温に戻す)	40g
砂糖	40g
卵(溶きほぐす)	½ 個
スライスアーモンド	60g

作りかた

- ① 型抜きクッキーの作りかた①～③を参照して生地を作るが、バニラエッセンスのかわりにスライスアーモンドを加え、②を合わせてふるい入れて混ぜる。
- ② ①を48個分にちぎって等分し、アルミホイルを敷いた黒皿に並べる。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②を中段に入れ[オープン]予熱有[160℃]15 ~ 20 分(→P.49)で加熱する。

クッキーのコツ

- 小麦粉を混ぜるときは
切るようにさっくりと混ぜ、ねらないようにします。
- 生地がバタつくときは
ラップで包み、冷蔵庫でしばらく冷やしてから作ります。
打ち粉を多く使うと粉っぽくなり、口当たりが悪くなります。
- 生地の高さや厚みはそろえて
高さや厚みが違うと、焼き上がりにむらができます。

- 市販の生地を使うときは
生地の種類により焼けかたが違うので、様子を見ながら加熱します。
- 生地の保存は
冷蔵庫で1週間、冷凍室で1か月くらいもちます。ラップに包んで保存しておきます。
- 加熱後はすぐ取り出す
そのまま加熱室に置くと、余熱で焦げ過ぎることがあります。

- 焼きむらが気になるときは
加熱時間の ⅔ ~ ¾ が経過してから、黒皿の前後を入れかえます。

オート 81 らくらくクッキー



加熱時間の目安	使用付属品
約 13 分	黒皿 中段
1 回に作れる分量	
表示の分量	

材料 (プレーン味、ココア味 各5個分)

〈プレーン味〉	
牛乳	小さじ 1
ホットケーキミックス	45g
無塩バター (室温に戻す)	15g
コンデンスミルク	15g
〈ココア味〉	
牛乳	大さじ 1/2
ホットケーキミックス	45g
ココア	小さじ 1/2 強
無塩バター (室温に戻す)	15g
コンデンスミルク	15g

作りかた

- プレーン味、ココア味のすべての材料をそれぞれポリ袋 (市販) に入れて、粉けが無くなるまでよく混ぜる。
- ポリ袋から取り出した①を各 5 等分し、丸めて手のひらでつぶして円形にする。
- 黒皿にオープンシートを敷き、②を並べる。
- テーブルプレートを取り外し、③を中段に入れ **スイーツ/パン** **81 らくらくクッキー** (→P.41) で加熱する。

手動 マドレーヌ



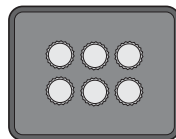
手動	使用付属品
オープン 予熱 約 9 分 150℃ 24 ~ 28 分	黒皿 中段

材料 (直径8cmの金属製マドレーヌ型6個分)

小麦粉 (薄力粉)	60g
砂糖	60g
バター	60g
卵 (溶きほぐす)	1 1/2 個
④ レモン汁	大さじ 1/2
④ レモンの皮 (すりおろす)	1/2 個分

作りかた

- 型にバター (分量外) を塗って型紙を敷く。
- バターは容器に入れて **レンジ** **200W** **3 ~ 4 分** (→P.44~46) で加熱する。
- 卵をハンドミキサーで七分通り泡立て、砂糖を加え、もったりするまで泡立てる。④を加えて混ぜ、小麦粉をふるい入れ木しゃもじで、ねらないように混ぜ、②を加えて手早く混ぜる。
- ③を型に分け入れ、黒皿に並べる。
- テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに **オープン** **予熱有** **150℃** **24 ~ 28 分** (→P.49) で予熱する。
- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、④を中段に入れ、加熱する。



手動 マフィン



手動	使用付属品
オープン 150℃ 35 ~ 40 分	黒皿 中段

材料 (直径6cmのマフィン型9個分)

④ 小麦粉 (薄力粉)	250g
ベーキングパウダー	小さじ 3
砂糖	100g
バター (室温に戻す)	150g
卵 (溶きほぐす)	2 個
牛乳	100mL
バニラエッセンス	少々

作りかた

- バターはハンドミキサーでよくねり、砂糖を加えてよく混ぜる。
- 卵を加え、クリーム状になるまでよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて混ぜる。
- ④をふるい入れ、木しゃもじで、さっくり混ぜ、牛乳を入れてさらに混ぜる。
- ③をマフィン型に分け入れ、黒皿に並べる。
- テーブルプレートを取り外し、④を中段に入れ **オープン** **予熱無** **150℃** **35 ~ 40 分** (→P.50) で加熱する。

シュークリームのコツ

- バターと水は十分に沸とうさせる
沸とうが足りないと焼き色が濃く、ふくらみが悪くなります。
- 卵は生地の熱いうちに混ぜる
生地が冷めると卵の入る量が少なくなり、上手に焼き上がりません。
- 加える卵の量は
少な過ぎると、形が小さく、焼き色も濃くなります。逆に多いとふくらまず、平べったい仕上がりになります。生地のかたさは作りかた⑤を参照し、最後の調整は卵を数滴ずつ加えて行います。(卵が残る場合があります。)
- 生地に霧を吹く
予熱が終了するまでの間に、生地の表面の乾燥を防ぐために、霧を吹いておきます。
- 焼きむらが気になるときは
残り時間 8 ~ 10 分で黒皿の前後を入れかえます。

⚠ 注意

バターと水を加熱するとき飛び散ることがあります

バターを大きなかたまりのまま加熱すると飛び散ります
深めの耐熱容器を使い、バターは3~4個に切って水と一緒にに入れて、小麦粉小さじ1をふり入れて加熱すると飛び散りを防ぐことができます

オート 79 シュークリーム



加熱時間の目安

予熱 約 16 分
約 30 分

1 回に作れる分量

8 個分

使用付属品



黒皿 中段



給水タンク 満水

材料	8 個分
小麦粉 (薄力粉、ふるっておく)	40g
① バター (3~4個に切る)	40g
② 水	75mL
卵 (溶きほぐす)	3個
カスタードクリーム	適量
ホイップクリーム、 粉砂糖	各適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 深めの耐熱容器に①を入れ、小麦粉小さじ1 (分量外) をふるい入れ、おおいをしないで **レンジ** 600W 3分30秒~4分30秒 (→P.43~46) で加熱し、十分沸とうさせる。
- ③ 材料の飛び散りに注意して小麦粉を一度に加え、木しゃもじでよく混ぜて **レンジ** 600W 約1分 で加熱する。

- ④ 卵 1/3 量を加え、よく混ぜてもち状にねり上げる。

- ⑤ 残りの卵を少しずつ加えてよくねる。木しゃもじで生地をすくい上げたとき、2~3秒後にゆっくり落ちてくるかたさになったら卵を入れるのをやめる。


カスタードクリーム

手動

レンジ

600W

6分40秒~10分

使用付属品



テーブルプレート

材料 (シュークリーム8個分)

牛乳	カップ1
小麦粉 (薄力粉)	大さじ1
① コーンスターチ	大さじ1
砂糖	40g
卵黄 (溶きほぐす)	2個分
② バター	25g
バニラエッセンス	少々

作りかた

- ① 深めの耐熱容器に①を合わせて入れ、牛乳を少しずつ加えながら泡立て器でかき混ぜる。
- ② ①に卵黄を少しずつ加えてよく混ぜ **レンジ** 600W 6分40秒~10分 (→P.43~46) で途中よくかき混ぜながら加熱する。手早く②を加えて混ぜ、冷ます。

【ひとくちメモ】

加熱直後は柔らかめでも、冷めるとかたさが出てきます。

応用 79 エクレア



加熱時間の目安

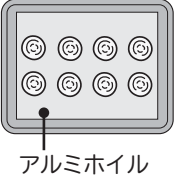
予熱 約 16 分/約 30 分

1 回に作れる分量

7 個分

材料	7 個分
小麦粉 (薄力粉、ふるっておく)	60g
バター (3~4個に切る)	50g
① 水	100mL
卵 (溶きほぐす)	3個
カスタードクリーム	適量
ホイップクリーム	適量
チョコレート (溶かしておく)	適量

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② 深めの耐熱容器に①を入れ、小麦粉小さじ1 (分量外) をふるい入れ、おおいをしないで **レンジ** 600W 3~4分20秒 (→P.43~46) で加熱し、十分沸とうさせる。
- ③ 材料の飛び散りに注意して小麦粉を一度に加え、木しゃもじでよく混ぜて **レンジ** 600W 約1分 で加熱する。
- ④ 卵 1/3 量を加え、よく混ぜてもち状にねり上げる。
- ⑤ 残りの卵を少しずつ加えてよくねる。木しゃもじで生地をすくい上げたとき、2~3秒後にゆっくり落ちてくるかたさになったら卵を入れるのをやめる。
- ⑥ 直径1cmの口金をつけた絞り出し袋に入れる。黒皿にアルミホイルを敷き、薄くバター (分量外) を塗り、直径3~4cmの大きさを8個絞り出す。

- ⑦ テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに **スイーツ/パン** 79 シュークリーム (→P.42) で予熱する。
- ⑧ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑥を中段に入れ、加熱する。
- ⑨ 加熱後、すぐにアルミホイルから外し、十分に冷まして上から約1/3で切り目を入れ、カスタードクリームとホイップクリームを詰め、仕上げに溶かしたチョコレートを塗る。

手動

アップルパイ



手動

オーブン

予熱 約 15 分
190℃
36 ~ 42 分

使用付属品



黒皿 下段

材料 (直径21cmの金属製パイ皿1枚分)

小麦粉 (強力粉)	100g
小麦粉 (薄力粉)	100g
バター (2cm角に切る、冷たい物)	140g
冷水	90 ~ 110mL
りんごのプリザーブ	適量
〈つやだし用卵〉 卵 (溶きほぐす)	½ 個
塩	小さじ ¼

作りかた

- ① ボウルに小麦粉を合わせてふるい入れ、バターを加えて指先で混ぜ、冷水を加えてねらないように混ぜる。



- ② バターの形が残っている状態でひとまとめにし、ラップで包み、冷蔵庫で約1時間休ませる。



- ③ かるく打ち粉 (薄力粉・分量外) をしたのし台にのせ、めん棒で長方形にのばす。

- ④ ③を3つ折りにして合わせ面を下にし、めん棒で再び長方形にのばし、これを2 ~ 3回くり返す。



- ⑤ 3mm厚さの25 × 40cmの長方形にのばした上にパイ皿をふせて型よりひと周り大きく切り、残りで2cm幅のテープを8本切り取る。



- ⑥ パイ皿に生地をのせてぴったりと敷き、まわりの生地は切り落とす。



- ⑦ 底全体にフォークで穴をあける。



- ⑧ りんごのプリザーブを詰めてから、つやだし用卵をパイの周囲に塗り、テープを組んで端を貼りつける。



- ⑨ 周囲にもテープをのせ、フォークで押さえ、つやだし用卵をさらに全体に塗り、黒皿にのせる。



- ⑩ テーブルプレートを取り外し、食品を入れずに **オーブン** 予熱有 **190℃** **36 ~ 42 分** (→P.49) で予熱する。

- ⑪ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑨を下段に入れ、加熱する。

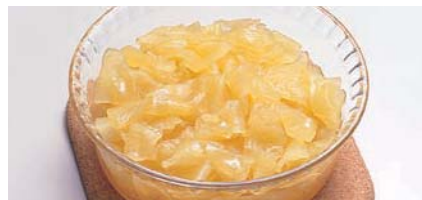
アップルパイのコツ

- 型は金属製の物を
耐熱ガラス製の型では熱伝導率が低い
ため、上手に焼けないことがあります。
- 生地が扱いにくいときは
バターが溶けて生地が柔らかくなるので
冷蔵庫で20 ~ 30分休ませると作り
やすくなります。

- 冷凍パイシートを使うと便利
直径21cmのパイを焼くには、市販
のパイシート (1枚・約100gの物)
4枚が必要です。2枚ずつ重ねてのば
し、型に敷く分とテープを取る分として
使います。
- 焼きむらが気になるときは
残り時間10 ~ 15分でパイ皿の前後
を入れかえます。

手動

りんごのプリザーブ



手動

レンジ

600W
9 ~ 12 分

使用付属品



テーブルプレート

材料 (直径21cmのアップルパイ・1個分)

りんご (紅玉またはふじ)	3個
① 砂糖	80 ~ 120g
② レモン汁	大さじ1
シナモン	少々

作りかた

- ① りんごは皮をむいて、タテ4つ割りにして5mm厚さのいちよう切りにし、塩水につけてからかるく水洗いをして、水けを切る。
- ② 大きめの耐熱容器に①と②を入れてかき混ぜ **レンジ** **600W** **9 ~ 12 分** (→P.43~46) で加熱する。
- ③ ②のアクを取って混ぜ、**レンジ** **600W** **6 分 30 秒 ~ 9 分** で加熱する。シナモンを加えて混ぜ、冷めてからザルに上げて汁けを切る。

手動

焼きりんご



手動

オーブン

180℃
55 ~ 65 分

使用付属品



黒皿 下段

材料

4個分

りんご (紅玉)	4個
砂糖	60g
① バター	40g
シナモン	少々
ホイップクリーム	適量

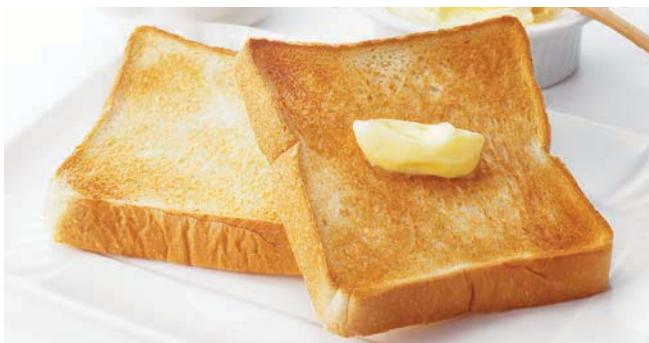
作りかた

- ① りんごは洗ってから底を抜かないようにして芯をくり抜く。
- ② ①を合わせてよくねり混ぜ、りんごの穴に等分して詰め、浅めの耐熱容器に入れて、黒皿にのせる。
- ③ テーブルプレートを取り外し、②を下段に入れ **オーブン** 予熱無 **180℃** **55 ~ 65 分** (→P.50) で加熱する。
- ④ 冷めてからホイップクリームを飾る。

パン・ピザ

手動

トースト (裏返し)



手動

オープン
210℃

黒皿のみで
7～10分
食パンを入れて
5～8分
裏返して
2～5分

使用付属品



黒皿 上段

トーストはトースターで焼くよりも時間がかかります。

材料

1～2人分

食パン(6枚切りの厚さ1.5～3cmの物) 1～2枚

作りかた

- ① テーブルプレートを取り外し、食パンをのせずに黒皿を上段に入れ[オープン] [予熱無] [210℃] [7～10分] (→P.50)で、加熱室と黒皿をあたためる。
- ② 終了音が鳴ったら、やけどに注意して、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使って黒皿をドアの上に取り出す。
- ③ 黒皿の中央に食パンを並べ、上段に入れ[オープン] [予熱無] [210℃] [5～8分] (→P.50)で焼き、裏返して[オープン] [予熱無] [210℃] [2～5分] 焼く。

トーストのコツ

■ パンの厚さや種類によって焼け具合が違います
様子を見ながら時間を調節してください。

■ 連続して焼くときは

表を[オープン] [予熱無] [210℃] [4～6分]、裏返して[オープン] [予熱無] [210℃] [1～3分]で様子を見ながら焼きます。



注意



バター、ジャム等を多量に塗ったパンを焼かない
火災の原因になります

ピザ (パン生地) のコツ

■ 焼き上がったピザを切り分けるときは

キッチンばさみを使うと便利です。

■ 焼きが足りなかったときは

[オープン] [予熱無] [200℃] (→P.50)で様子を見ながら焼きます。

■ 冷凍ピザは

市販のピザを参照して焼きます。

オート
84

ピザ (パン生地)



加熱時間の目安

予熱 約 19 分
約 22 分

1 回に作れる分量

表示の分量

使用付属品



黒皿 中段



給水タンク 満水

材料

直径24cmのピザ1枚分

小麦粉(強力粉)	100g
小麦粉(薄力粉)	50g
砂糖	10g
塩	2g
ドライイースト	2g
ぬるま湯(約 40℃)	100mL
オリーブ油	15mL
ピザソース(市販の物)	適量
玉ねぎ(薄切り)	75g
ベーコン(たんざく切り)	50g
サラミソーセージ(薄切り)	8枚
ピーマン(輪切り)	2個
マッシュルーム(缶詰、薄切り)	小 1/2 缶(約 25g)
塩、こしょう	各少々
スタッドオリーブ(薄切り)	4個
ピザ用チーズ	100g

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ポリ袋(市販)に①とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- ③ ②に③を入れてポリ袋に少し空気を入れて口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせ、約 5 分十分にこねる。
- ④ ③を 2～3cm の厚さに整え、テーブルプレートの中央に置き[スチームレンジ発酵] [約 10 分] 仕上がり調節 [中] (→P.53) で発酵をする。
- ⑤ 打ち粉(強力粉・分量外)をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- ⑥ 生地をのし台で表面がなめらかになるように丸め、ラップがかたく絞ったぬれふきんをかけて、生地の温度が下がらないようにして約 15 分休ませる。(ベンチタイム)
- ⑦ ⑥を直径約 24cm の円形にのばして黒皿上にセットしたオープンシートにのせ、生地の全体にフォークで穴をあける。
- ⑧ 生地にもちを約 1cm 残してピザソースを塗り④を並べて塩、こしょうをし、スタッドオリーブとピザ用チーズを全体に散らす。
- ⑨ テーブルプレートを取り外し[スイーツ/パン] [84 ピザ (パン生地)] (→P.42) で予熱する。
- ⑩ ⑧を中段に入れ、加熱する。

市販のピザを焼くときは、手動調理で様子を見ながら焼く。

オーブン 200℃ で予熱の有無と冷凍・冷蔵によって下の表を参照して時間をかえ、中段にセットして焼く。

	予熱無	予熱有
冷凍	23～30分	10～18分
冷蔵	15～28分	10～15分

「オーブン加熱する(手動調理) 予熱無」の
使いかた (→P.50)

「オーブン加熱する(手動調理) 予熱有」の
使いかた (→P.49)

オート
82 **バターロール** (ロールパン)



加熱時間の目安	使用付属品
予熱 約 12 分 約 18 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量 10 個分	 給水タンク 満水

材料		10個分
	小麦粉（強力粉）	240g
①	砂糖	25g
	塩	3g
	ドライイースト	3.5g
	ぬるま湯（約 40℃）	40mL
②	卵（溶きほぐす）	大 ½ 個
	牛乳（室温に戻す）	90mL
	バター（室温に戻す）	35g
〈つやだし用卵〉		
	卵（溶きほぐす）	½ 個
	塩	少々

バターロールのコツ

- **こねあげた生地**の温度は
25～27℃が最適です。夏場のように室温が高いときは多少低めにします。
- **発酵温度は**
バターロールは40℃が基本です。生地の温度、季節、分量などによって温度(30～45℃(5℃単位))を使い分けます。
- **発酵の仕上がり具合は**
イーストの種類や室温、季節によって多少違います。発酵不足の場合は様子を見ながら時間を追加してください。発酵途中で生地の表面が乾いているときは、スチームショット(→P.54)で水分を補ってください。
- **ベンチタイム中や予熱中に生地が乾燥しないように**
生地表面が乾燥するとくづらみが悪くなります。ラップかかたく絞ったぬれびんをかけたり、表面に霧を吹きます。
- **生地の扱い**はていねいに
手のひらでかるく扱います。ちぎったり、形が悪くてやり直したりするとくづらみが悪くなります。
- **つやだし用卵**は薄くていねいに
なでるように表面に塗ります。たっぷり塗るとパンの底に流れ、焦げてしまいます。
- **焼きむら**が気になるときは
加熱時間の%～%が経過してから黒皿の前後を入れかえます。
- **手動調理で焼くときは**(→P.56)

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
 - ② ボウルに④とドライイーストをふりい入れ、⑤を加えて手でかるく混ぜ、バターを少しずつ加え、よく混ぜてひとまとめにする。
 - ③ 生地がベトつかなくなり、ボウルからくると離れるまでよくこね、台にたたきつけてのばしたり、半分に折って押ししたりしながら約15分こね、生地を丸める。
 - ④ テーブルプレートを取り外し、バター(分量外)を薄く塗ったボウルに③を入れ、黒皿にのせて下段に入れ スチームオーブン発酵 予熱無 40℃ 50～70分 (→P.52)で1次発酵をする。
 - ⑤ 生地が2～2.5倍に発酵していれば十分。(指に小麦粉(分量外)をつけ、生地の中央を指してみて、指の穴がそのままだ状態。) 
 - ⑥ 打ち粉(強力粉・分量外)をしたのし台に、ボウルをふせて生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。 
 - ⑦ 生地をスケッパー(または包丁)で10個(1個約45g)に切り分ける。手でちぎると生地が傷んでふくらみが悪くなる。 
 - ⑧ 生地を手のひらひとつとつを手のひらか、のし台で表面がなめらかになるように丸め、ラップがかたく絞ったぬれぶきんをかけて、生地の温度が下がらないようにして約20分休ませる。(ベンチタイム) 
 - ⑨ 生地を手のひらに挟み、すり合わせるようにしながら円すい形にし、さらにめん棒で細長い三角形にのばす。 
 - ⑩ 三角形の底辺からクルクルと巻き、オープンシートを敷いた黒皿に巻き終わりを下にして並べ、黒皿を下段に入れ スチームオーブン発酵 予熱無 40℃ 25～35分 で2次発酵する。終了音が鳴ったら、発酵具合を確認し、2～2.5倍になれば、発酵は十分。  
 - ⑪ 発酵後、黒皿を取り出し スイーツ/パン 82 バターロール (→P.42)で予熱をする。
 - ⑫ ⑩の表面に、つやだし用卵を薄くていねいに塗る。
 - ⑬ 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑫を下段に入れ、加熱する。

手動

オープン

予熱約 15 分

190℃

30 ~ 40 分

使用付属品



黒皿 下段



給水タンク 満水

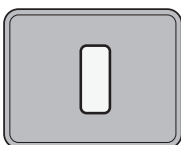
材料(19×10cm、高さ8.5cmの金属製パウンド型1個分)

小麦粉(強力粉)	220g
④ 砂糖	12g
塩	2.5g
ドライイースト	5g
ぬるま湯(約 40℃)	140mL
バター(室温に戻す)	10g



作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ボウルに④とドライイーストをふるい入れ、ぬるま湯を加えて手でかるく混ぜ、バターを少しずつ加え、よく混ぜてひとまとめにする。
- 生地がベトつかなくなり、ボウルからくると離れるまでよくこね、台にたたきつけてのばしたり、半分に折って押したりしながら約 15 分こね、生地を丸める。
- テーブルプレートを取り外し、バター(分量外)を薄く塗ったボウルに③を入れ、黒皿にのせて下段に入れ **スチームオープン発酵 予熱無 40℃ 50 ~ 80 分** (→P.52) で1次発酵をする。
- 生地が 2 ~ 2.5 倍に発酵していれば十分。(指に小麦粉(分量外)をつけ、生地の中央を刺してみ、指の穴がそのまま残る状態。)
- 打ち粉(強力粉・分量外)をしたのし台に、ボウルをふせて生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- 生地をスクッパー(または包丁)で3個(1個約130g)に切り分けて丸め、ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけ、生地の温度が下がらないようにして約20分休ませる。(ベンチタイム)
- 生地のひとつひとつをタテ20cm、ヨコ10cmの長方形にのばしてタテの方から巻き、巻き終わりを下にして両端をげんこつでかるくたたき、形を整える。
- バター(分量外)を塗った型に⑧を並べ、型を黒皿に図のようにのせて下段に入れ **スチームオープン発酵 予熱無 40℃ 50 ~ 80 分** で2次発酵する。終了音が鳴ったら発酵具合を確認し、2 ~ 2.5 倍になれば発酵は十分。
- 発酵後、**オープン 予熱有 190℃ 30 ~ 40 分** (→P.49) で加熱をする。



山形食パンのコツ

- **こね上げた生地の温度は**
25 ~ 27℃が最適です。夏場のように室温が高いときは、多少低めにします。
- **発酵温度は**
山形食パンは40℃が基本です。生地の温度、季節、分量などによって温度(30 ~ 45℃(5℃単位))を使い分けます。
- **発酵の仕上がり具合は**
イーストの種類や室温、季節によって多少違います。発酵不足の場合は様子を見ながら時間を追加してください。発酵途中で生地の表面が乾いているときは、スチームショット(→P.54)で水分を補ってください。
- **ベンチタイムや予熱中に生地が乾燥しないように**
生地の表面が乾燥するとふくらみが悪くなります。ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけたり、表面に霧を吹きます。
- **生地の扱いはいじらない**
手のひらでかるく扱います。ちぎったり、形が悪くてやり直したりすると、ふくらみが悪くなります。
- **焼き上げの途中で表面の焼き色が濃くなったときは**
表面にアルミホイルをのせます。
- **焼きむらが気になるときは**
残り時間 5 ~ 9 分で型の前後を入れかえます。

オート 83 簡単パン

加熱時間の目安	使用付属品
約 29 分	 黒皿 下段
1 回に作れる分量	 給水タンク 満水
8 個分	

材料	8個分
小麦粉(強力粉)	150g
④ 砂糖	9g
塩	2g
ドライイースト	3g
水	カップ 1/2 (約 100mL)
バター(室温に戻す)	12g



作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ポリ袋(市販)に④とドライイーストを入れて混ぜ合わせる。
- ③ バターを容器に入れ[レンジ]500W 約 30 秒 (→P.43~46) で加熱して溶かし、水を加える。
- ④ ③を②に入れてポリ袋に少し空気を入れて口を閉じ、振って粉と水分をよく混ぜ合わせる。



- ⑤ ④を約 10 分十分にこねる。

- ⑥ ⑤を 2~3cm の厚さに整え [スチームレンジ発酵] 8~12 分 仕上がり調節 [中] (→P.53) で 1 次発酵をする。
- ⑦ 打ち粉(強力粉・分量外)をしたのし台に生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- ⑧ 生地をスクッパー(または包丁)で 8 個(1 個約 33g)に切り分ける。手でちぎると生地が傷んでふくらみが悪くなる。



- ⑨ 生地のひとつひとつを手のひらで丸めてオープンシートを敷いたテーブルプレートの中央に写真のように並べる。



- ⑩ ⑨を加熱室底面にセットし [スチームレンジ発酵] 8~12 分 仕上がり調節 [中] で 2 次発酵する。
- ⑪ 発酵後、テーブルプレートを取り外し、生地をのせたオープンシートの両端を引いてすべらせながら黒皿に移す。
- ⑫ ⑪を下段に入れ [スイーツ/パン] 83 簡単パン (→P.41) で加熱する。

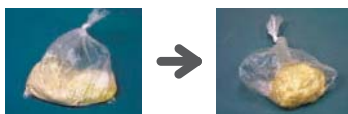
簡単パンのコツ

- 使えるポリ袋は
市販の 25 × 35cm ほどの大きさで、穴のあいていない電子レンジで使える半透明の袋か、透明なポリ袋です。
- 発酵の時間は様子を見て加減
季節や室温、テーブルプレートの冷え具合によって違います。1 次発酵は 8~12 分発酵させ、2 次発酵で調節します。

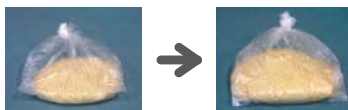
	ふくらみが小さい	ふくらみが大きい
2 次発酵	12~20 分	6~8 分

- 生地が乾燥しないように
生地表面が乾燥するとふくらみが悪くなります。ラップかかたく絞ったぬれ布きんをかけたり、表面に霧を吹きます。
- 生地の丸めかた(成形)は
なめらかな面を表にして切り口を中にかくように丸め、裏側の開いている部分を指でつまんで閉じます。
- パンの表面につやを出したいときは
焼く直前に、生地の表面に塩少々を加えた溶き卵を薄く塗ります。

- こねあげの目安は
粉のかたまりがなくなり、粘りけが出て、ガムのようにのびようになって、生地が袋から離れて 1 つになるのが目安です。



- 発酵の仕上がり目安は
室温やイーストの種類によって多少異なります。
- 1 次発酵は生地が 1.2~1.5 倍になり、のばしたときに網目状になるのが目安です。



- 2 次発酵は生地が 1.5 倍くらいになるのが目安です。



応用 83 簡単レーズンパン



加熱時間の目安	約 29 分
1 回に作れる分量	8 個分

材料(8個分)

簡単パンの材料を参照し、レーズン(30g)を加える。

作りかた

- ① 簡単パンの作りかたを参照し、作りかた⑤で、こねあげた生地にレーズンを加え [スイーツ/パン] 83 簡単パン (→P.41) で加熱する。

加熱時間の目安

予熱 約 16 分
約 45 分

1 回に作れる分量

表示の分量

使用付属品



黒皿 下段



給水タンク 満水



材料 (バタール1本、クーペ2本分)

A	小麦粉 (強力粉)	300g
	小麦粉 (薄力粉)	70g
	砂糖	5g
	塩	8g
ドライイースト (顆粒状で予備発酵 不要の物)		5g
B	ぬるま湯 (約 30℃)	210mL
	レモン汁	6mL



作りかた

- 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ボウルにAとドライイーストをふり入れ、Bを加え、よく混ぜてひとまとめにする。
- 生地がベトつかなくなり、ボウルからくると離れるまでよくこね、台にたたきつけてのばしたり、半分に折って押しやりしながら約15分こね、生地を丸める。

- テーブルプレートを取り外し、バター (分量外) を薄く塗ったボウルに③を入れ、黒皿にのせて下段に入れ **スチームオープン発酵** **予熱無** **35℃** **30 ~ 60 分** (→P.52) で1次発酵をする。
- 生地が2倍に発酵していれば十分。(指に小麦粉 (分量外) をつけ、生地の中央を刺してみ、指の穴がそのまま残る状態。)
- 打ち粉 (強力粉・分量外) をしたのし台に、ボウルをふせて生地を取り出し、手でかるく押して中のガスを抜く。
- 生地をスケッパー (または包丁) でバタール (1個 約 340g) とクーペ 2個 (1個 約 130g) に切り分ける。手でちぎると生地が傷んでふくらみが悪くなる。
- 生地のひとつひとつを手のひらか、のし台で表面がなめらかになるように丸め、ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけ、生地の温度が下がらないようにして約20分休ませる。(ベンチタイム)
- バタールの生地は、タテに20cmの棒状にのばし、ベンチタイムのときに下になっていた方を上にして、めん棒で30cmのだ円形にのばす。
- タテ 1/3 ずつ内側に折り、それを右手の手のひらで押さえ込むようにタテ2つ折りにして合わせ目をしっかり閉じたら、黒皿の対角線の長さに細長くのばす。

- クーペの生地は、15cmの円形にのばし、生地の向こう側 1/3 を残して手前から折りたたむ。残った 1/3 の生地を上にかぶせるように折りたたみ、合わせ目を閉じる。
- 両端をとがらせるように手のひらで転がして、なまこのような形に整える。
- バター (分量外) を薄く塗った黒皿に、⑨~⑫で成形した生地を閉じ口が下になるようにのせ、黒皿を下段に入れ **スチームオープン発酵** **予熱無** **35℃** **20 ~ 40 分** で2次発酵する。終了音が鳴ったら、発酵具合を確認し、2~2.5倍になれば、発酵は十分。
- 発酵後、黒皿を取り出し **スイーツ/パン** **85 フランスパン** (→P.42) で予熱をする。
- 予熱をしている間、生地にはラップか、かたく絞ったぬれぶきんをかけて室温で発酵させる。予熱終了 (約 6 分) の直前に、生地にかみそり (または包丁) でクーペ (切り目) をバタールは3~4本、クーペは1本入れる。

- 予熱終了音が鳴ったら、やけどに注意して、⑬を下段に入れ、加熱する。
- 焼き上がったら、室温であら熱が取れるまで放置する。

フランスパンのコツ

- こねあげた生地の温度**
25 ~ 27℃が最適です。夏場のように室温が高いときは、多少低めにします。
- 発酵温度は**
フランスパンは35℃が基本です。生地の温度、季節、分量などによって温度 (30 ~ 45℃ (5℃単位)) を使い分けます。
- 発酵の仕上がり具合は**
イーストの種類や室温、季節によって多少違います。発酵不足の場合は様子を見ながら時間を追加してください。発酵途中で生地の表面が乾いているときは、スチームショット (→P.54) で水分を補ってください。
- ベンチタイム中や予熱中に生地が乾燥しないように**
生地表面が乾燥するとふくらみが悪くなります。ラップかかたく絞ったぬれぶきんをかけたたり、表面に霧を吹きます。
- 生地の扱いはていねいに**
手のひらでかるく扱います。ちぎったり、形が悪くてやり直したりするとふくらみが悪くなります。
- 手動調理で焼くときは (→P.56)**

ゆで物

応用
17

ほうれん草のおひたし



加熱時間の目安

約 2 分

1 回に作れる分量

2 ~ 4 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

ほうれん草
糸がつお、しょうゆ

4人分

200g
各適量

作りかた

- ① ほうれん草は洗って水けを切らずに、根元の太い物は十文字に切り込みを入れる。



- ② 葉先と根元を交互にしてラップで、ぴったりと包む。



- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き17 下ゆで葉・果菜 (→P.39、40) で加熱し、水に取ってアク抜きと色止めをする。

- ④ 器に盛り、糸がつおのをせ、しょうゆを添える。

応用
18

イタリアンサラダ



加熱時間の目安

約 8 分

1 回に作れる分量

2 ~ 4 人分

使用付属品



テーブルプレート

材料

さやいんげん	200g
じゃがいも	大2個(約400g)
サラミソーセージ(薄切り)	12枚
プロセスチーズ(1cm角切り)	60g
スタッドオリーブ(薄切り)	12個
アンチョビ(みじん切り)	8枚
玉ねぎ(みじん切り)	¼個(約50g)
④ パセリ(みじん切り)	大さじ1
レモン汁	大さじ1
こしょう	少々
オリーブ油	カップ ½
レモン(くし形切り)	適量

作りかた

- ① さやいんげんは筋を取り、レンジ600W約2分20秒 (→P.43~46) で加熱し、さっと冷水をかけて色止めをし、半分に切る。
- ② じゃがいもは、きれいに洗い、水けを切らずに、皮ごとラップで、ぴったりと包む。
- ③ ②をテーブルプレートの中央に置き18 下ゆで根菜 (→P.39、40) で加熱し、熱いうちに皮をむき、厚さ1cmの半月切りにする。
- ④ ボウルに④を合わせて入れ、かき混ぜながらオリーブ油を加えてドレッシングを作る。
- ⑤ 材料すべてを④のドレッシングであえて皿に盛り、レモンを飾る。



ゆで物のコツ

■料理に合わせた下ごしらえを

葉菜、果菜、花菜類の根元の太い物には、十文字の切り目を入れたり、房になっている物は小房に分けます。根菜類は、同じ大きさに切りそろえたり、なるべく同じ大きさの物を選びます。



■材料に合ったアク抜きを


ほうれん草などは、加熱後すぐに水に取ります。なすや、カリフラワーなどは、加熱前に薄い塩水や酢水にさらしてアク抜きをします。

- 水けを切らずにラップで、ぴったり包み、テーブルプレートに直接のせて加熱する
皿などは使いません。

あたため (あたためは一部のオートメニューを記載しています。)

オート 4 牛乳のあたため





加熱時間の目安	使用付属品
約 1 分 30 秒 (200mL)	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
200 ~ 800mL	

作りかた

- ① 牛乳はマグカップまたはコップに入れてテーブルプレートの中央に置き **4 飲み物・牛乳** (→P.32、33) であたためる。

オート 7 スチームあたため

加熱時間の目安	使用付属品
下記参照	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
下記参照	 給水タンク 満水

ごはんのあたため (スチーム)

加熱時間の目安	表示の分量
約 1 分 40 秒 (150g)	
1 回に作れる分量	
材料	1 人分 (1 杯)
冷やごはん	1 杯 (150g)

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ラップなどのおおいをしないでテーブルプレートの中央に置き **7 スチームあたため** (→P.34、35) であたためる。

お総菜のあたため (スチーム)

加熱時間の目安	約 1 分 40 秒 (150g)
1 回に作れる分量	表示の分量

材料	1 ~ 5 人分
シューマイや 焼きそばなど	100 ~ 500g



作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ラップなどのおおいをしないでテーブルプレートの中央に置き **7 スチームあたため** (→P.34、35) であたためる。

スチームあたためのコツ (→P.35)

冷凍ごはんや冷凍の調理済みのお総菜は上手にあたたまりません
冷凍ごはんのあたためは **3 冷凍ごはん** (→P.30、31)、冷凍のお総菜のあたためは **5 解凍あたため** (→P.30、31) で加熱します。

オート 8 中華まんのあたため

加熱時間の目安	使用付属品
約 4 分	 テーブルプレート
1 回に作れる分量	
1 個 (100g) ~ 4 個 (400g)	 給水タンク 満水

材料	1 人分
中華まん (1 個約 100g の物)	1 個



作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ラップなどのおおいをしないでテーブルプレートの中央に置き **8 中華まんのあたため** (→P.34、35) であたためる。

中華まんのあたためのコツ (→P.35)

- あんまんは
仕上がり調節 **やや弱** または **弱** に合わせます。
- 食品メーカーや保存状態、形状によって仕上がり調節を上手に使い分けます
- 皿などの容器は使わない
加熱し過ぎの原因になります。
- 底に紙がついている物はそのまま紙をつけたまま加熱します。
- ラップなどのおおいはしない
スチームで食品の乾燥を防ぎながら、しっとりふっくらあたためます。

オート 9 揚げ物のあたため

加熱時間の目安	使用付属品
約 20 分 (200g)	 黒皿 上段
1 回に作れる分量	
表示の分量	 給水タンク 満水

材料	1 ~ 4 人分
天ぷらまたはフライ	100 ~ 500g

作りかた

- ① 給水タンクに満水ラインまで水を入れてセットする。
- ② ラップなどの包装を外し、黒皿の中央に重ならないように寄せて並べ、上段に入れ **9 揚げ物のあたため** (→P.34、35) で加熱する。

揚げ物のあたためのコツ (→P.35)

- 冷凍の揚げ物はあたためることができません
5 解凍あたため (→P.30、31) であたためます。
- 100g 未満のあたためはできません
100g 以上にするか、上段に黒皿を入れ **オーブン 予熱無 150℃** (→P.50) で様子を見ながら加熱します。
- 天ぷらなど加熱後に底面がベタつくときは
キッチンペーパーなどで油分を取ります。

さくいん (50音)

あ

アーモンドクッキー	111
揚げ物のあたため	121
あさりの酒蒸し	88
あじの開き	75
あじフライ	95
アップルパイ	114

い

イタリアンサラダ	120
煎りパン粉の作りかた	94

え

エクレア	113
えびの塩こうじいため	84
えびの天ぷら	96
えびのドリア	78
えびフライ	95

お

おこわ(赤飯)	104
お総菜のあたため(スチーム)	121
おでん	102

か

カスタードクリーム	113
型抜きクッキー	111
かつお昆布だし	103
かぼちゃの煮物	101
カルボナーラ	105
カレー(ポーク&ビーフ)	99
簡単肉じゃが	101
簡単パン	118
簡単レーズンパン	118
がんもどき	98

き

牛肉とピーマンの塩こうじいため	84
牛乳のあたため	121
魚介の天ぷら	97
きんぴらごぼう	101

く

クーペ・バタール(フランスパン)	119
くしカツ	93
クッキー	111

け

けんちん汁	103
-------	-----

こ

香味ソース	89
ゴーヤーチャンプルー	82
ごはん(炊飯)	104
ごはんのあたため(スチーム)	121

さ

桜えびのかき揚げ	96
さけのムニエル	73
さつま揚げ	97
里いもの煮物	101
さばの塩焼き	74
さばのみそ煮	101
山菜おこわ	104

し

塩ざけ	73
塩さば	74
市販のピザ	116
市販の冷凍グラタン	77
シフォンケーキ(プレーン)	108
絞り出しクッキー	111
シュークリーム	113

す

炊飯(ごはん)	104
スチームあたため	121
スフレチーズケーキ	107
スポンジケーキ(デコレーションケーキ)	106

せ

赤飯(おこわ)	104
---------	-----

ち

チキンカツ	94
チキン南蛮	97
筑前煮	100
茶わん蒸し	86
中華まんのあたため	121
チンジャオロウスー	81

て

デコレーションケーキ(スポンジケーキ)	106
手作り豆腐	87
手羽先のから揚げ	92

と

トースト(裏返し)	115
鶏ささみと豆腐のみぞれ煮	100
鶏のから揚げ	90
鶏の簡単蒸し	89
鶏の酒蒸し	88
鶏のしょうゆから揚げ	91
鶏の照り焼き	71
鶏のハーブ焼き	71
とんカツ	91
とん汁	103

な

なすときのこの蒸しサラダ	90
なすのみそいため	83

に

肉じゃが	98
肉シューマイ	87
肉豆腐	100
煮干し昆布だし	103
にらレバいため	85

は

梅肉ソース	89
パウンドケーキ(プレーン)	109
バタール・クーペ(フランスパン)	119
バターロール(ロールパン)	116
ハンバーグ	69

ひ

ビーフシチュー	99
ビーフハンバーグ	69
ピーマンの肉詰め	69
ピザ(パン生地)	115
ヒレカツ	93

ふ

豚肉とピーマンのみそそぼろ	82
豚のから揚げ	92
豚のしょうが焼き	70
フランスパン(バタール・クーペ)	119
ぶり大根	102
ぶりの照り焼き	74
プルコギ	85
ふろふき大根	102

へ	ベーكدポテト…………… 76	む	蒸し野菜のベーコン巻き…………… 89	り	りんごのプリザーブ…………… 114
	ペパロンチーノ…………… 105	め	明太子の塩こうじ焼きそば…………… 80	ろ	ローストチキン…………… 72
	ペパロンチーノ風野菜いため… 83	や	焼きいも…………… 76		ローストビーフ…………… 70
ほ	ホイコウロウ…………… 81		焼きうどん…………… 80		ロールキャベツ…………… 98
	ほうれん草のおひたし…………… 120		焼きそば…………… 79		ロールケーキ(プレーン)…………… 110
	ほうれん草のキッシュ…………… 79		焼きとり…………… 72		ロールパン(バターロール)… 116
	ほうれん草の塩こうじソテー… 86		焼き野菜…………… 75		
	ポテトコロッケ…………… 94		焼きりんご…………… 114		
	ホワイトソース…………… 77		野菜の天ぷら…………… 97		
ま	マカロニグラタン…………… 77		山形食パン…………… 117		
	マドレーヌ…………… 112		柔らかプリン…………… 110		
	マフィン…………… 112	ら	らくらくクッキー…………… 112		
			ラザニア…………… 78		

ホームページからレシピ集を見る

目的別にレシピを検索できる他、「取扱説明書」をご覧ください。

①コードを読み取る



②画面の案内に従って操作する



コードが読み取れない場合は、URL を入力して表示される画面の案内に従ってください。

- スマートフォン用 <https://kadenfan.hitachi.co.jp/range/recipe/mro-s8x/top.html?manual>
- パソコン用 <https://kadenfan.hitachi.co.jp/range/recipe/mro-s8x/index.html>

画面イラストはイメージです。
実際とは異なることがあります。

「日立の家電品お客様サポート」の利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- レシピ検索
- 家電品の登録※1
- お知らせ
- よくあるご質問
- お問い合わせ

①コードを読み取る



②画面の案内に従ってお客様サポートの利用や家電品の登録※1を行う



※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書に記載されている製造番号を入力してください。

- コードが読み取れない場合は、URL を入力して表示される画面の案内に従ってください。
<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>
- ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
- ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
- ホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

★本体内部には高圧配線がしてありますので、ご家庭での修理はおやめください。

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

尚、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げの後の取り付け場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。

●保証期間は、お買い上げの日から1年です。ただし、マグネトロンは2年です。

補修用性能部品の保有期間

過熱水蒸気オーブンレンジの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」(→P.125)にお問い合わせください。

ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

- この過熱水蒸気オーブンレンジは、電源周波数が50Hz・60Hzどちらの地域でもご使用になれます。（部品交換は必要ありません。）
- ご転居されたり、移動したりした場合には、販売店または電気工事店に依頼して、アースの取り付け直しを行ってからご使用ください。(→P.7)

修理を依頼されるときは 出張修理

「お困りのとき」「お知らせ表示が出たとき」(→P.62~65)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間中が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

連絡していただきたい内容

品名	日立過熱水蒸気オーブンレンジ
型式	(銘板に書いてあります)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※銘板は本体右側面にあります。

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料で構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



●長年ご使用の過熱水蒸気オープンレンジの点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ドアに著しいガタや変形がある。
- スタートボタンを押しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないときがある。
- 焦げくさい臭いがしたり。運転中に異常な音や火花（スパーク）が出る。
- 過熱水蒸気オープンレンジにさわるとビリビリと電気を感ずることがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

- お電話の前に！・「よくあるご質問」をホームページでご紹介しております。
- ・本取扱説明書の「お困りのとき」もご覧ください。

日立家電 よくあるご質問 **検索**

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHS から 050-3155-1111（有料）
(FAX) 0120-3121-34

■受付時間：9:00-17:30（月～土）、9:00～17:00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。
≪発信者番号通知のお願い≫
「非通知」設定をされているお客様は、
初めに「186」をダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る

② **出張修理のWeb 受付** ボタンから入力画面へ

③製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合や
パソコンからは

●検索からアクセス

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/repair.html>

日立家電修理 WEB **検索**

オペレータとの通話をご希望の場合は

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHS から 0570-0031-68（有料）
(FAX) 0120-3121-87

■受付時間：9:00-18:00（月～土）、9:00～17:00（日、祝日）
≪発信者番号通知のお願い≫
「非通知」設定をされているお客様は、
初めに「186」をダイヤルしておかけください。

- ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

部品のご購入は、商品お買い上げのお店、お近くの日立のお店（お取り寄せ）または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 <https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

保証とアフターサービス
のご相談窓口

MEMO

MEMO

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

仕 様

型	式	MRO-S8X
電	源	交流100V、50Hz－60Hz共用
電子レンジ	消 費 電 力	1,450W
	高 周 波 出 力	1,000W ^{※1} 、800W、600W、500W、200W相当、100W相当
	発 振 周 波 数	2,450MHz
グ リ ル		消費電力1,240W（ヒーターのみ1,210W）
オ ー ブ ン		消費電力1,240W（ヒーターのみ1,210W）
温 度 調 節 範 囲		発酵、100～210℃、250℃ 250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃に切りかわります。
外 形 寸 法		幅487×奥行430（465 ^{※2} ）×高さ365mm
加 熱 室 有 効 寸 法		幅401×奥行344×高さ218mm
総 庫 内 容 量		31L
質 量（重 量）		約15.5kg
電 源 コ ー ド の 長 さ		約1.4m
年間消費電力量の目安 ^{※3}		
区 分 名		E
電子レンジ機能の年間消費電力量		62.0kWh/年
オーブン機能の年間消費電力量		17.3kWh/年
年 間 待 機 時 消 費 電 力 量		0.0kWh/年 ^{※4}
年 間 消 費 電 力 量		79.3kWh/年

※1 高周波出力1,000Wは短時間高出力機能（最大3分間）です。この機能はオートメニューのあたためなどの限定したメニューにのみ働きます。

※2（ ）内は、ハンドルを含む奥行寸法です。

※3 年間消費電力量（kWh/年）は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。区分名も同法に基づいています。

※3 実際にお使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変わります。

※4 コンセントに電源プラグを差した状態で、表示部が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。（表示部「0」表示時約1W）



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950:2008による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい情報は、当社のホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/>

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話（ ）－

ご購入年月日

年 月 日



日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 3502-2111

1-E7258-1C

K19-CTT1

禁無断転載・不許複製 K9 (CR)